

**(次期) おびひろこども未来プラン  
策定にかかるアンケート調査結果**

**《 単純集計 》**

帯広市こども未来部

平成31年2月

# 目次

調査概要	1
------	---

## アンケート調査結果

A. お子さんと家族の状況	[問 1～問 4]	3
B. 子育ての環境について	[問 5～問 9]	5
C. 保護者の就労状況について	[問 10～問 17]	7
D. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	[問 18]	10
E. 土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所（園）などの利用希望について	[問 19～問 20]	21
F. 子どもの病気の際の対応について	[問 21]	24
G. 子どもの一時預かり等の利用について	[問 22～問 24]	27
H. 小学校に入学したときの放課後の過ごし方について	[問 25～問 27]	30
I. 地域の子育て支援事業の利用状況について	[問 28～問 29]	32
J. 子育てに関する公的支援について	[問 30～問 31]	35
K. 育児休業や短時間勤務制度などについて	[問 32～問 34]	37
L. 帯広市の子育て支援について	[問 35～問 40]	43

## 参考資料

(次期) おびひろ子ども未来プラン策定にかかるアンケート 調査票

## 調査概要

### 1 調査の目的

「子ども・子育て支援法」第61条第1項に基づき、2020年度（平成32年度）を始期とする「(次期)おびひろ子ども未来プラン」の作成にあたり、帯広市の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、確保を図るべき「量の見込み」を算出するための基礎資料を得ることを目的として実施。

### 2 調査の方法

- (1) 対象 2018年10月25日時点において、市内の就学前児童（0歳から5歳）のいる世帯1,000世帯（地区・年齢別人口に合わせて1,000件となるよう抽出）。
- (2) 調査方法 地区別に無作為に抽出した1,000世帯へ郵送により配布。
- (3) 期間 2018年11月2日（金）～11月22日（木）
- (4) 調査項目 国から示された考えや前回調査を基に、帯広市子ども・子育て会議（帯広市健康生活支援審議会児童育成部会）にて検討した40項目。

### 3 回収結果

年齢	地区別内訳(人)														市全体(人)		
	東		鉄南		西		川北		西帯広		南		農村				
0歳	人口	145		198		457		195		146		305		54		1,500	
	回収 配布	11	18	15	25	24	57	15	24	8	18	24	38	2	7	99	187
1歳	人口	114		167		359		176		133		265		61		1,275	
	回収 配布	4	14	7	20	22	45	9	22	11	17	18	33	4	8	75	159
2歳	人口	112		161		341		169		133		305		39		1,260	
	回収 配布	7	14	13	20	21	42	10	21	7	17	20	38	1	5	79	157
3歳	人口	122		158		355		184		148		317		52		1,336	
	回収 配布	9	15	7	20	22	44	11	23	6	18	21	39	1	6	77	165
4歳	人口	100		181		375		168		143		280		49		1,296	
	回収 配布	6	12	12	23	25	47	10	21	8	18	19	35	4	6	84	162
5歳	人口	134		149		357		196		150		325		54		1,365	
	回収 配布	11	17	8	19	19	44	8	24	8	19	20	40	4	7	78	170
不明	回収	1								1						2	
合計	人口	727		1,014		2,244		1,088		853		1,797		309		8,032	
	回収 配布	49	90	62	127	133	279	63	135	49	107	122	223	16	39	494	1,000
	回収率	54.44%		48.82%		47.67%		46.67%		45.79%		54.71%		41.03%		49.40%	

#### ○アンケートの精度について

本調査の回収数は494件あり、信頼度95%、標本誤差5%とした場合の統計学上の標本数368件を上回ることから、本調査から得られる分析結果は、帯広市の子育て世帯全体の意見を推計するに十分な精度を得られるといえる。

【算出式】  $n = N \div [ \{ (e \div 1.96)^2 \times (N - 1) \times 4 \} + 1 ]$

N = 母集団の数（2018年10月25日時点の0歳から5歳までの就学前児童数8,032人）

e = 標本誤差（=0.05）、n = 必要サンプル数、

※1.96は信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数  
計算の結果、n=367.083…となり、必要サンプル数は368件となる。

#### 4 調査の内容

A. お子さんと家族の状況	問 1～問 4
B. 子育ての環境について	問 5～問 9
C. 保護者の就労状況について	問 10～問 17
D. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	問 18
E. 土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所（園）などの利用希望について	問 19～問 20
F. 子どもの病気の際の対応について	問 21
G. 子どもの一時預かり等の利用について	問 22～問 24
H. 小学校に入学したときの放課後の過ごし方について	問 25～問 27
I. 地域の子育て支援事業の利用状況について	問 28～問 29
J. 子育てに関する公的支援について	問 30～問 31
K. 育児休業や短時間勤務制度などについて	問 32～問 34
L. 帯広市の子育て支援について	問 35～問 40

#### 5 本報告の基本的な事項について

(1) 回答率 (%) について

小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない設問もある。

(2) 図表等の記載について

設問や調査票の選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。

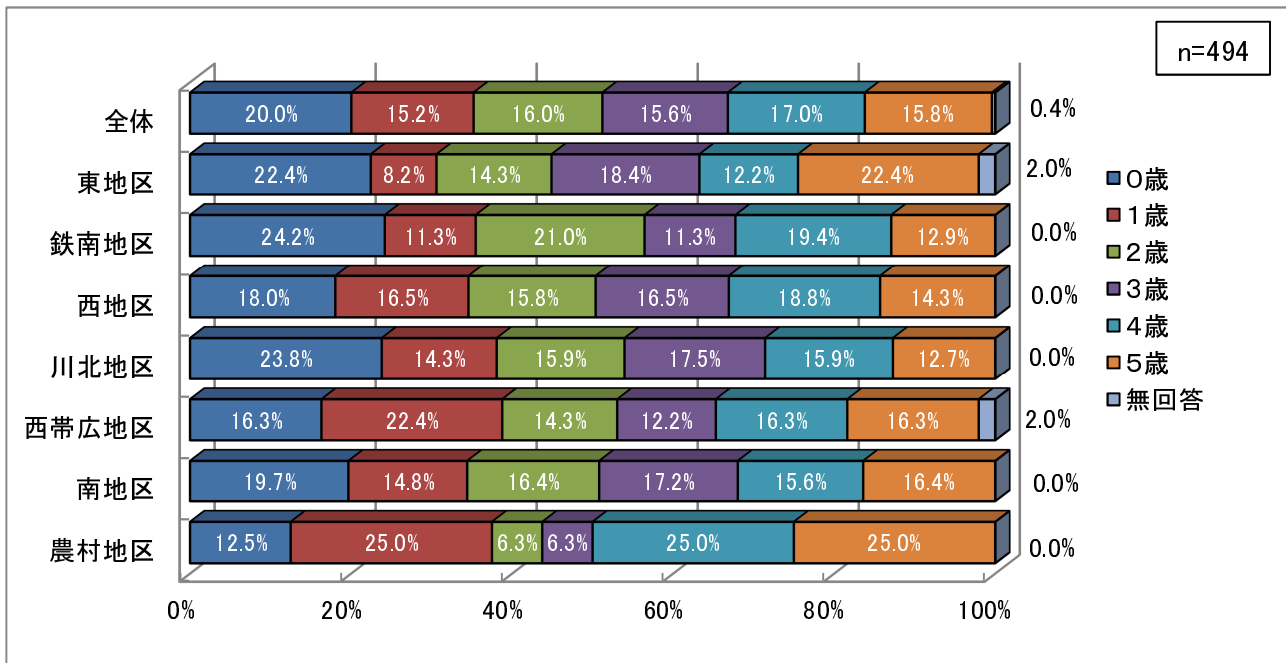
(3) 「n=」の表示について

グラフ内の「n=」は、当該設問における回答者数を表している。

## A. お子さんと家族の状況

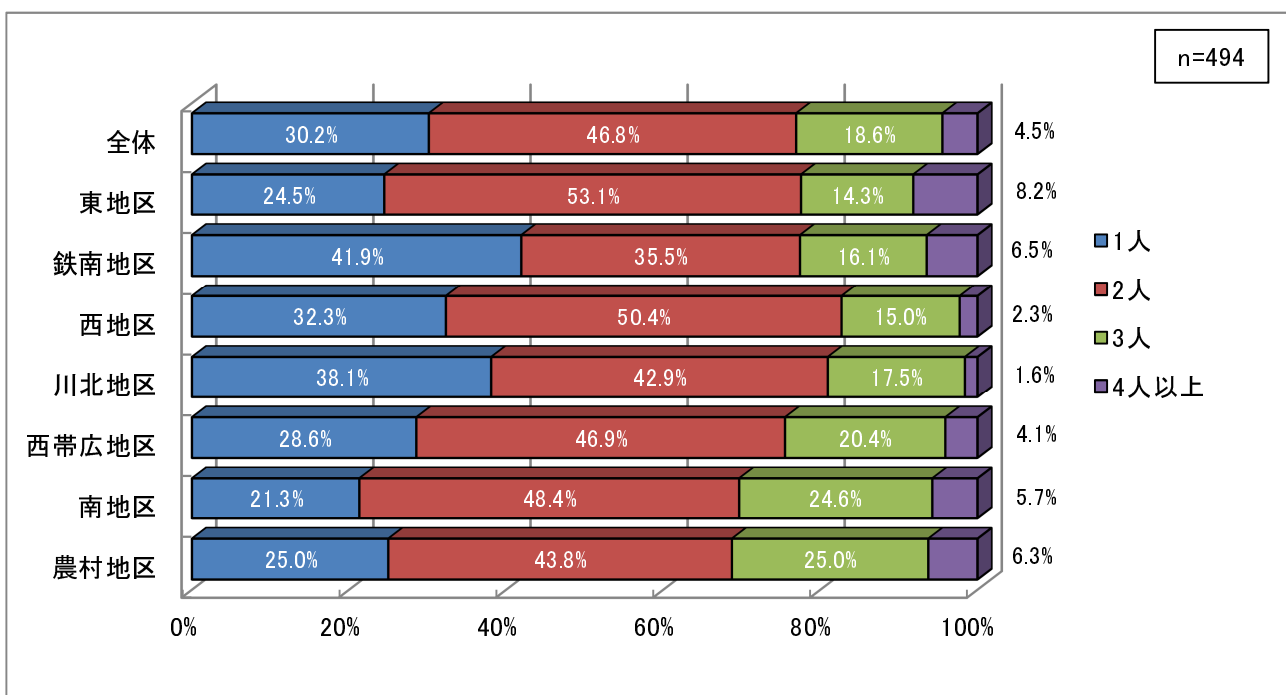
### 問1 調査対象のお子さんの年齢は？

各地区、各年齢でバランスの取れた回答数が得られた。



### 問2 お子さんの人数は？

各地区とも「2人」と回答した割合が高く、2人以上お子さんがいる割合が全体で7割程度となっている。

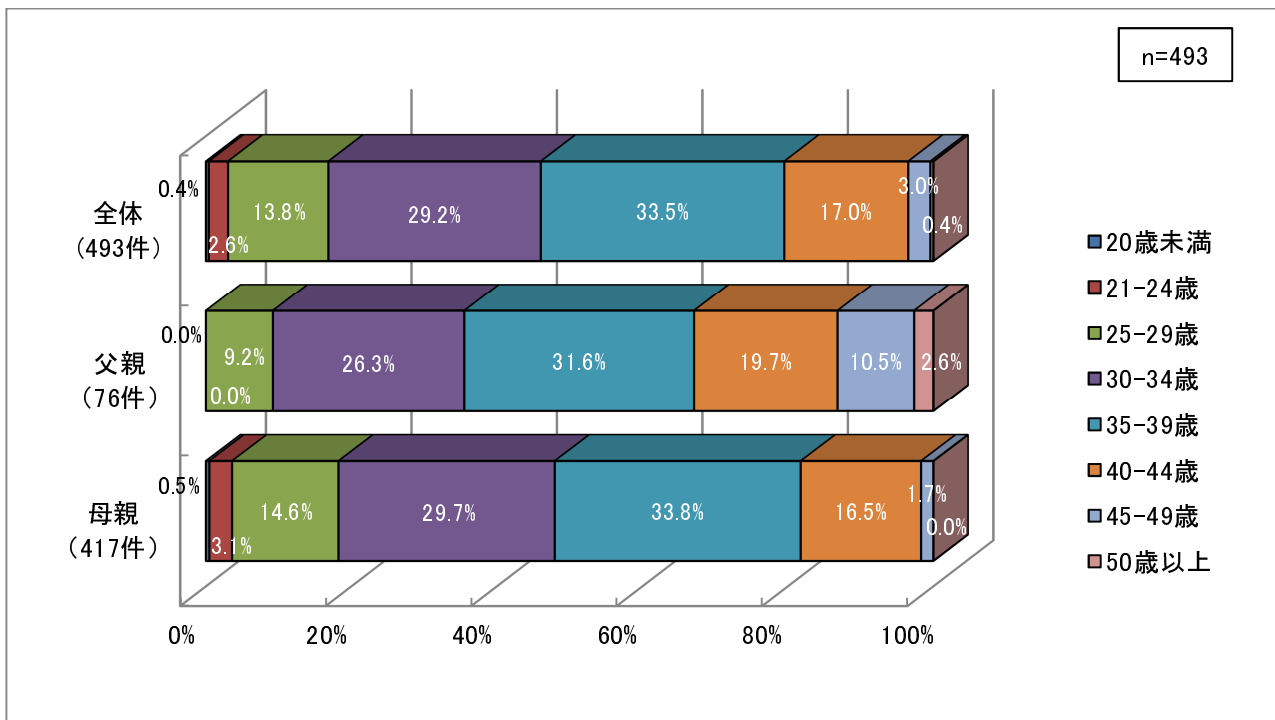


### 問3 アンケートに回答された方は？

回答者は、父親が15.4%（76件）、母親が84.6%（417件）となっている。無回答1件あり。

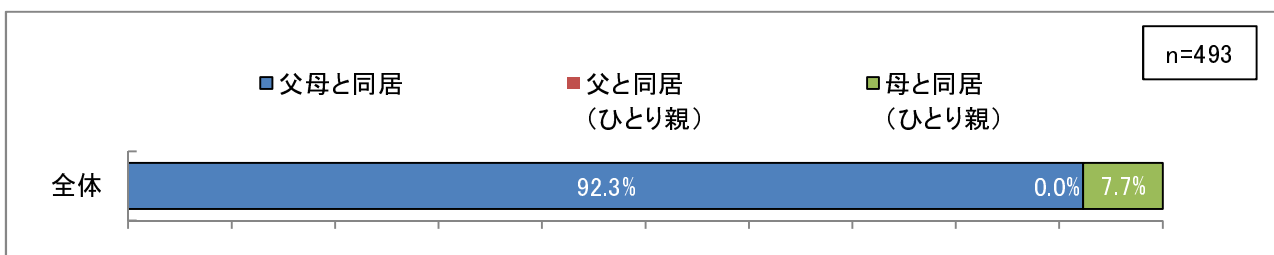
#### 問3-1 アンケートに回答された方の年代は？

回答者の年齢は、30歳代が62.7%を占めている。



### 問4 お子さんと同居されている家族の状況は？（複数回答）

回答者は、母と同居している世帯の祖父母と同居割合 26.3%となっており、市全体の 10.1%と比較し 16.2ポイント高くなっている。無回答が1件あり。



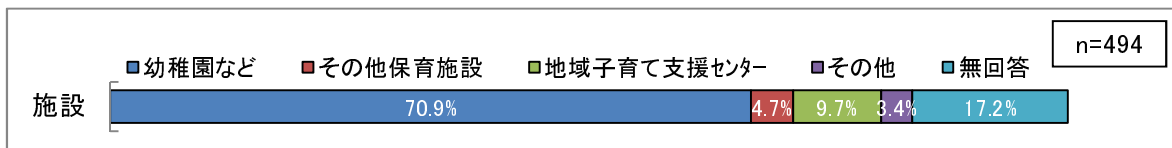
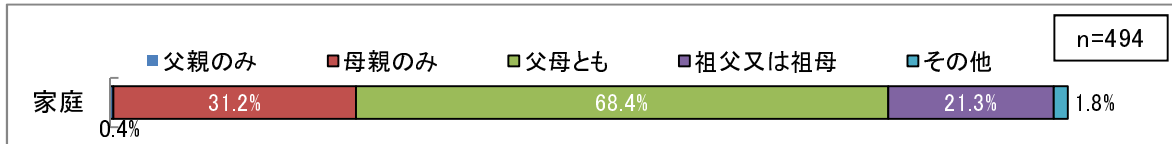
[単位: 世帯]

		父・母と同居		母と同居		計	
世帯数		455	92.3%	38	7.7%	493	100.0%
上記の内	祖父・祖母と同居	23		6		29	10.1%
	祖父と同居	2	8.8%	0	26.3%	2	
	祖母と同居	15		4		19	
	曾祖父母ほかと同居	3	0.7%	2	5.3%	5	

## B. 子育ての環境について

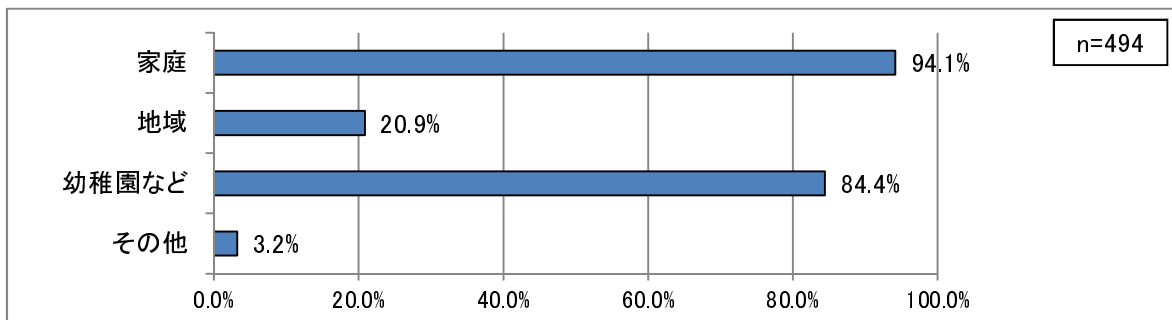
### 問5 お子さんの子育てに日常的に関わっている方は？（複数回答）

家庭では「父母ともに子育てに関わっている」と回答した人が68.4%、施設では「幼稚園や保育所など」が70.9%と高くなっており、施設のその他の意見では、児童発達支援施設などがあった。



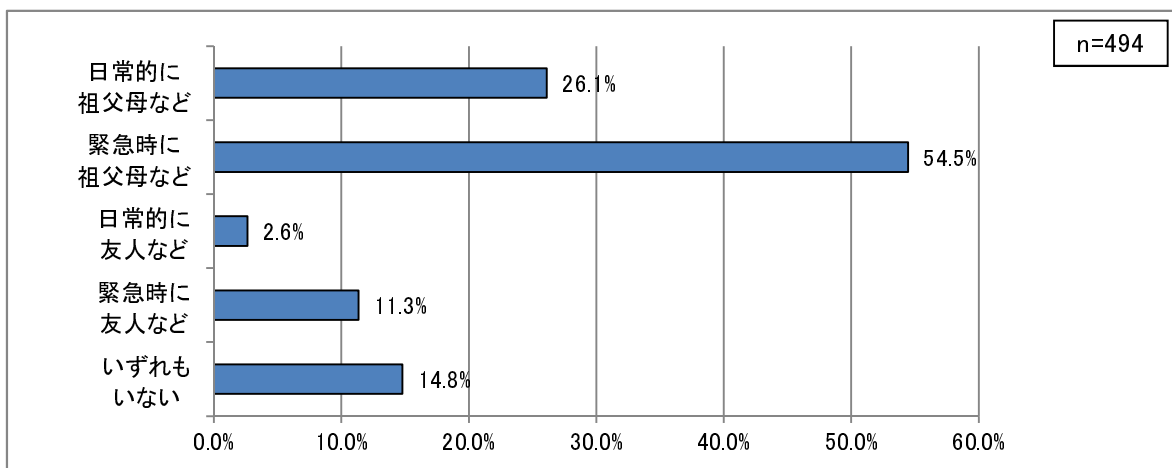
### 問6 お子さんの子育てや成長に影響が大きいと思われる関わりは？（複数回答）

家庭と回答した人が94.1%、幼稚園や保育所など回答した人が84.4%となっている。



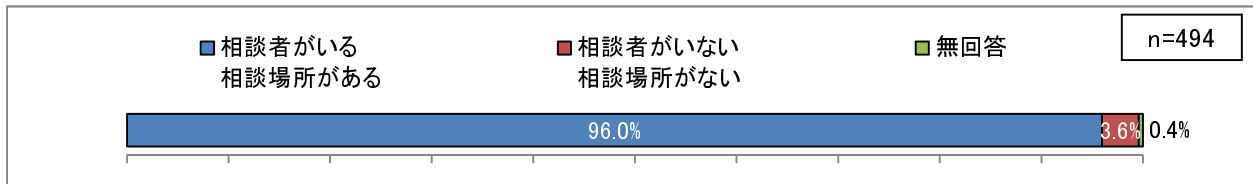
### 問7 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか？（複数回答）

「緊急時には祖父母などに預かってもらえる」と回答した人は54.5%あるが、「誰にも預けることができない」と回答した人は14.8%となっている。



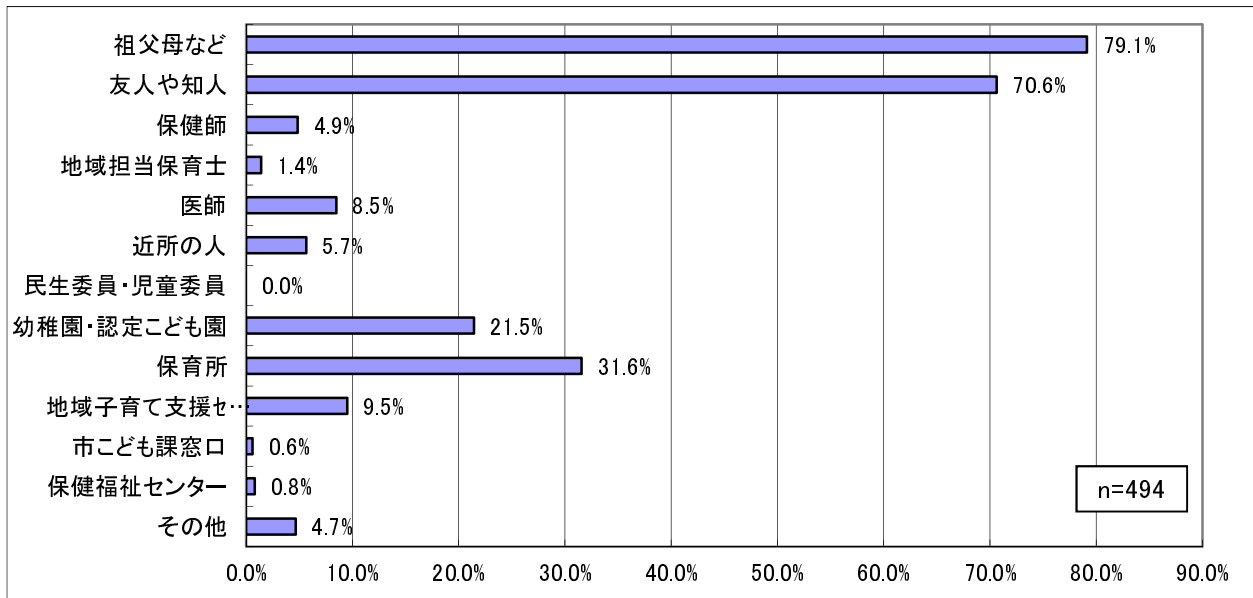
## 問8 気軽に相談できる人、または相談できる場所がありますか？

相談者がいる、または相談場所があると回答した人が96.0%となっている。



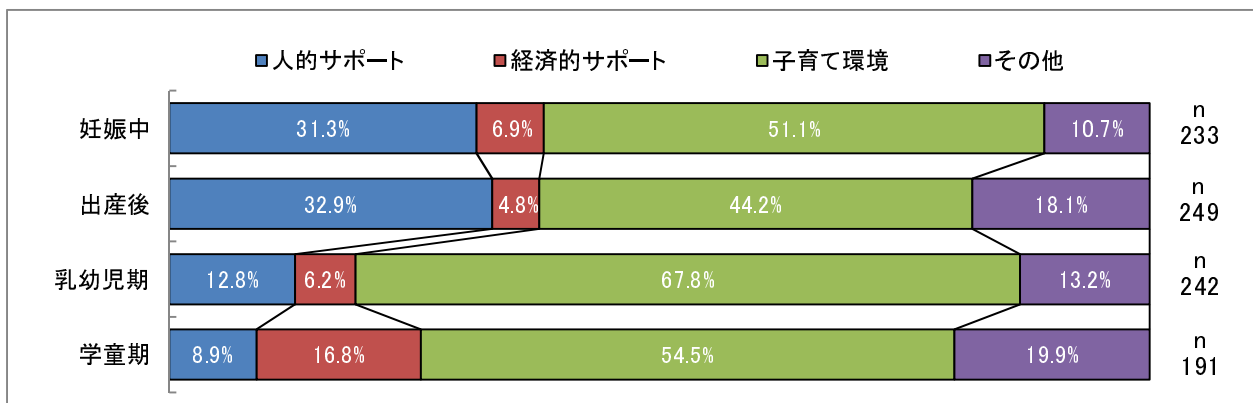
### 問8-1 気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか？（複数回答）

祖父母と答えた人は79.1%、友人や知人と答えた人は70.6%と多く、次に保育所や幼稚園・認定こども園となっている。その他は児童発達支援施設や同僚などとなっている。



## 問9 子育てをするうえで、周囲からどのようなサポートがあればよいと考えますか？

妊娠中、出産後、乳幼児期、学童期のいずれにおいても、子どもを預ける場所や親の交流・相談場所など「子育て環境」を求める割合が高く、妊娠中と出産後では、第三者による家事や育児支援など「人的サポート」の割合が高くなっている。

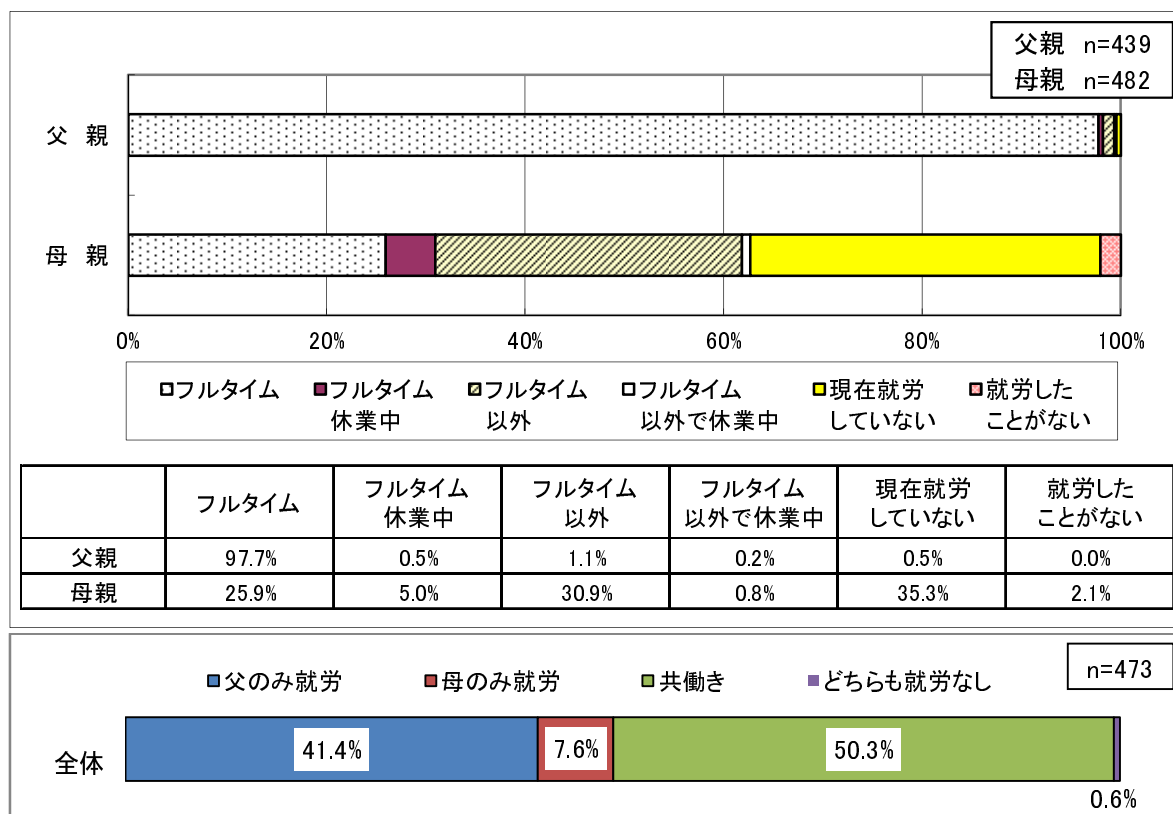




## C. 保護者の就労状況について

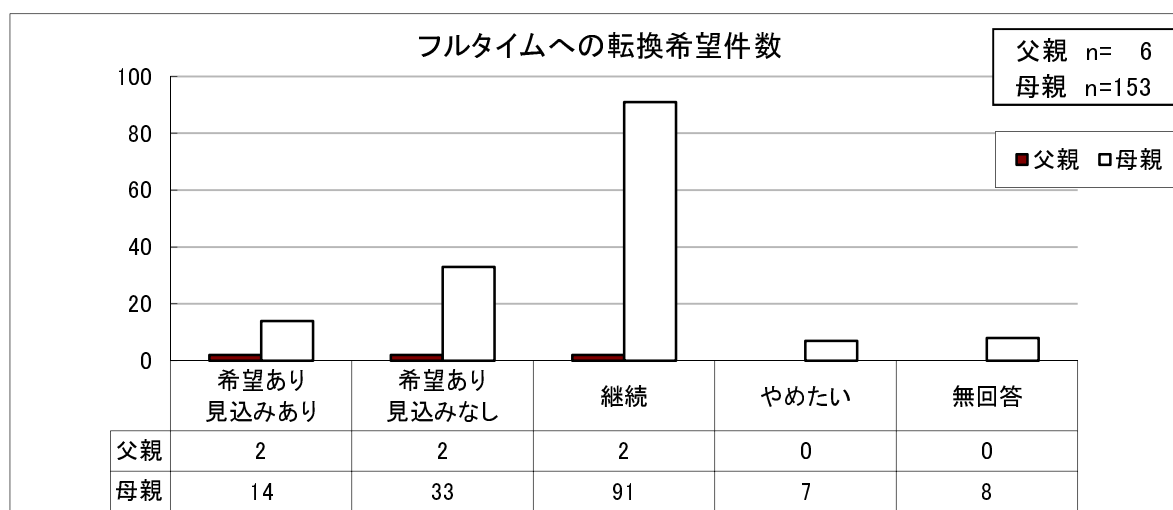
### 問 10、14 保護者（父親、母親）の就労の状況は？

父親では「フルタイムで就労している」が 97.7%と最も多く、母親では「現在就労していない」が 35.3%となり、次に「フルタイム以外で就労している」が 30.9%と続いている。また、共働きが 48.2%と最も多く、次に父のみ就労が 39.7%となっている。



### 問 11、15 フルタイム以外の就労中の人へ、フルタイムへの転換希望は？

母親では、現在の就労を継続したいと答えた人が 91 人、フルタイムへの転換希望はあるが見込みがないと答えた人が 33 人となっている。



## 問 12、16 父親、母親の週の就労日数及び一日の就労時間は？

就労日数は父母共に4～6日が最も多く、就労時間は父親が9～12時間の50.5%、母親が5～8時間の77.9%と最も多くなっている。また、家を出る時間は父母共に7～8時台が最も多く、帰宅時間は父親が19～20時台の44.3%、母親が17～18時台の50.7%と最も多くなっている。

### ○週の就労日数

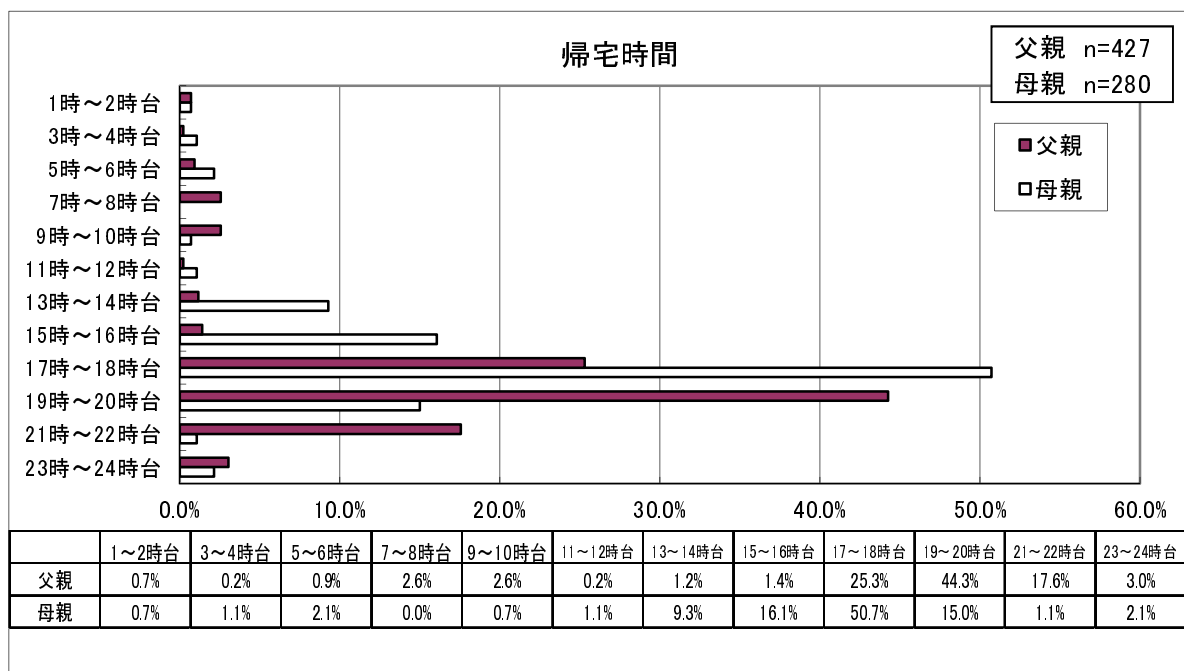
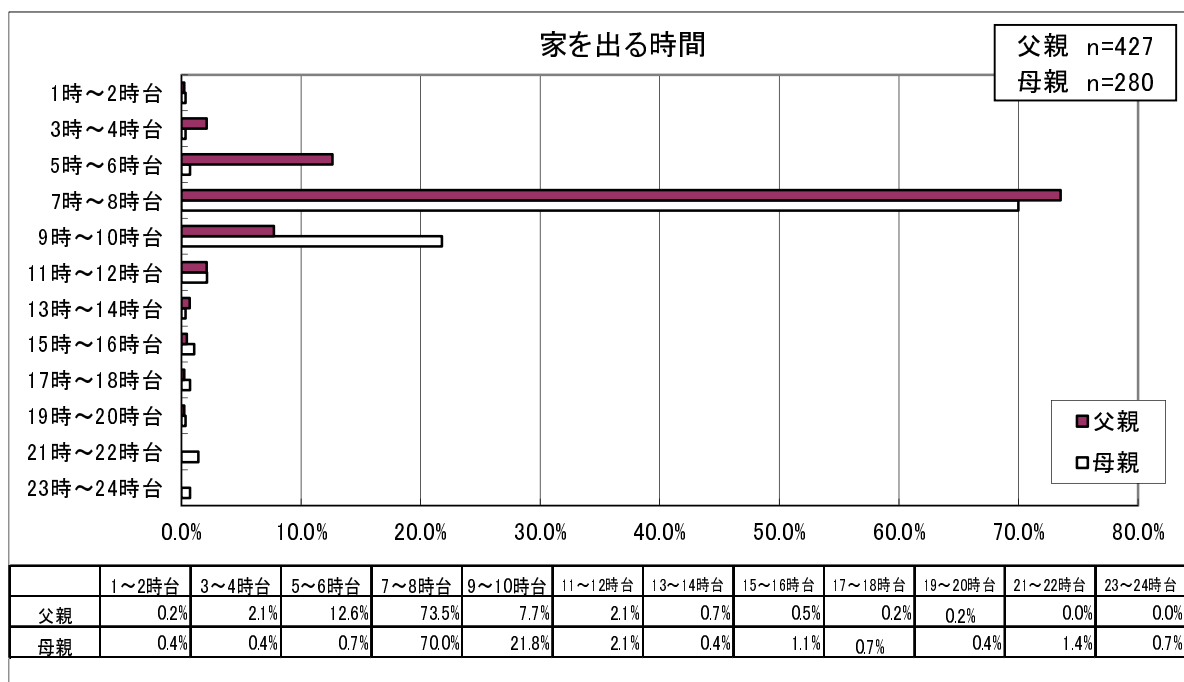
	1日～3日	4日～6日	7日
父親	2.1%	84.6%	13.3%
母親	9.3%	81.4%	9.3%

父親 n=421  
母親 n=279

### ○一日の就労時間

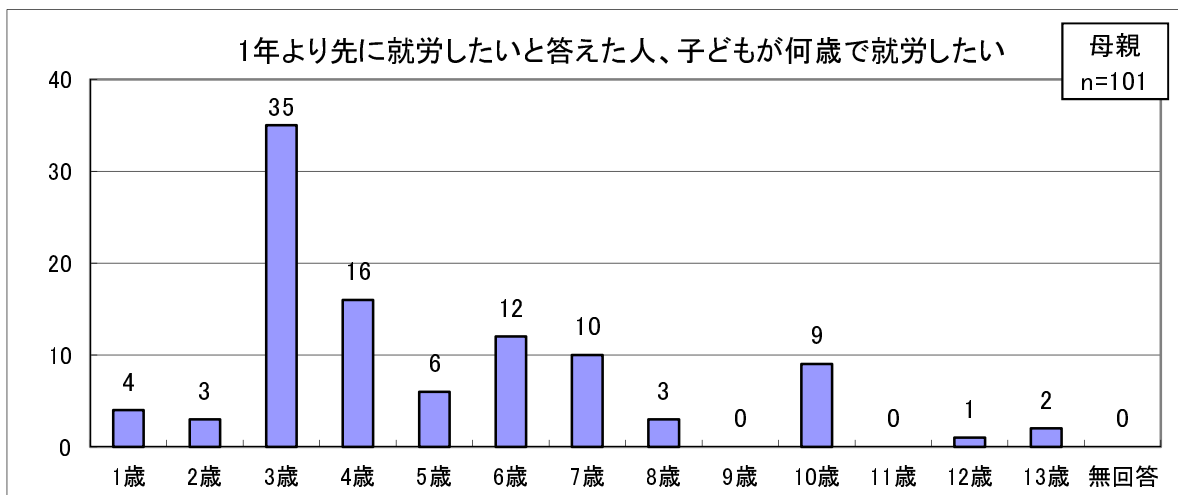
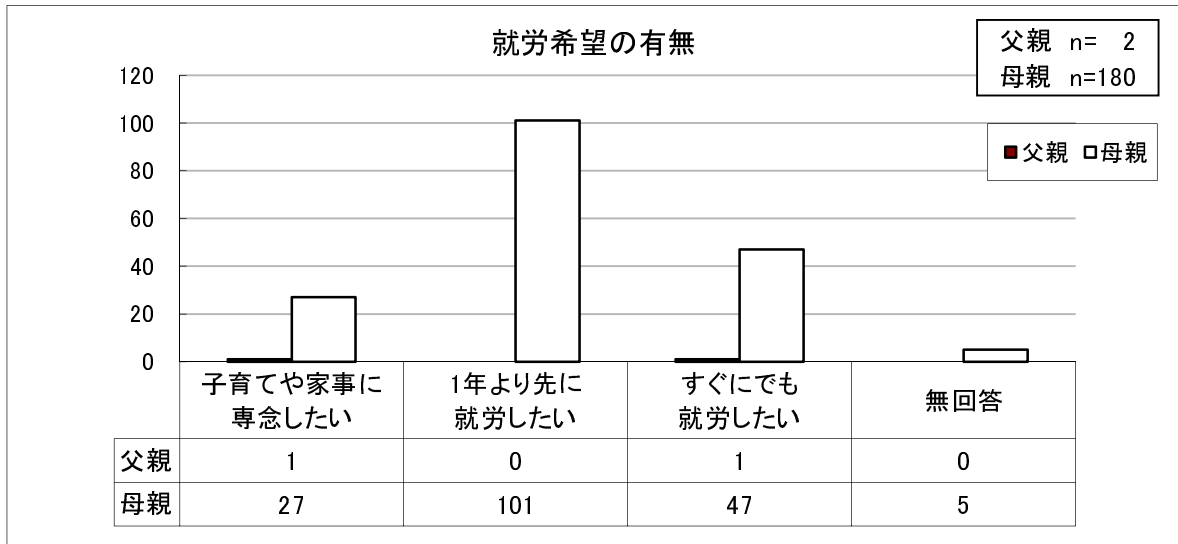
	1～4時間	5～8時間	9～12時間	13時間以上
父親	0.2%	39.4%	50.5%	10.0%
母親	12.5%	77.9%	9.6%	0.0%

父親 n=432  
母親 n=280

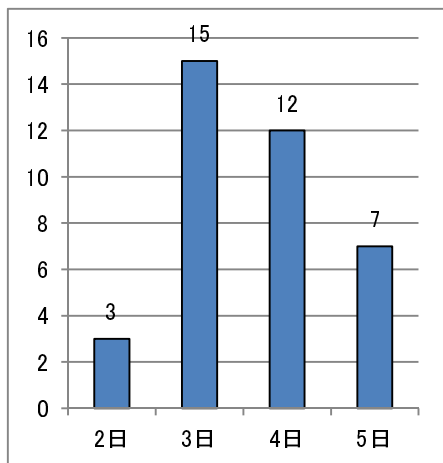


### 問 13、17 現在就労していない人へ、就労の希望は？

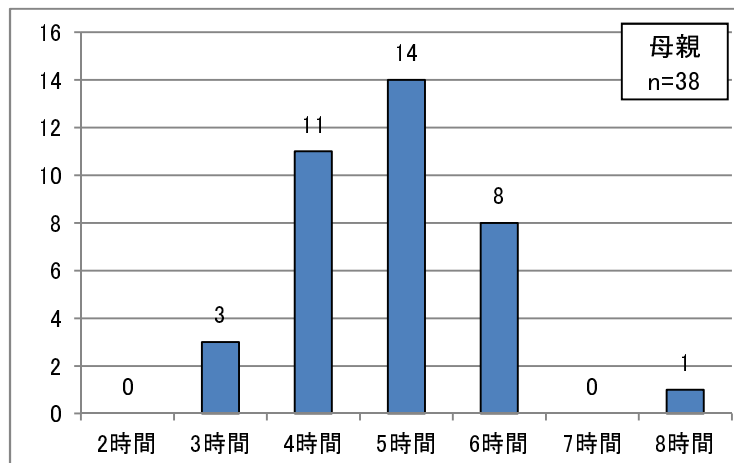
「就労したい」と回答した人は182名、そのうち「1年より先に就労したい」と回答した人が101名となっている。



すぐにも、もしくは1年以内に就労したいと回答した人のうち、フルタイム以外を希望する就労形態  
〔フルタイムを希望9名、フルタイム以外を希望38名（内無回答1名）〕



一週当たりの就労希望日数

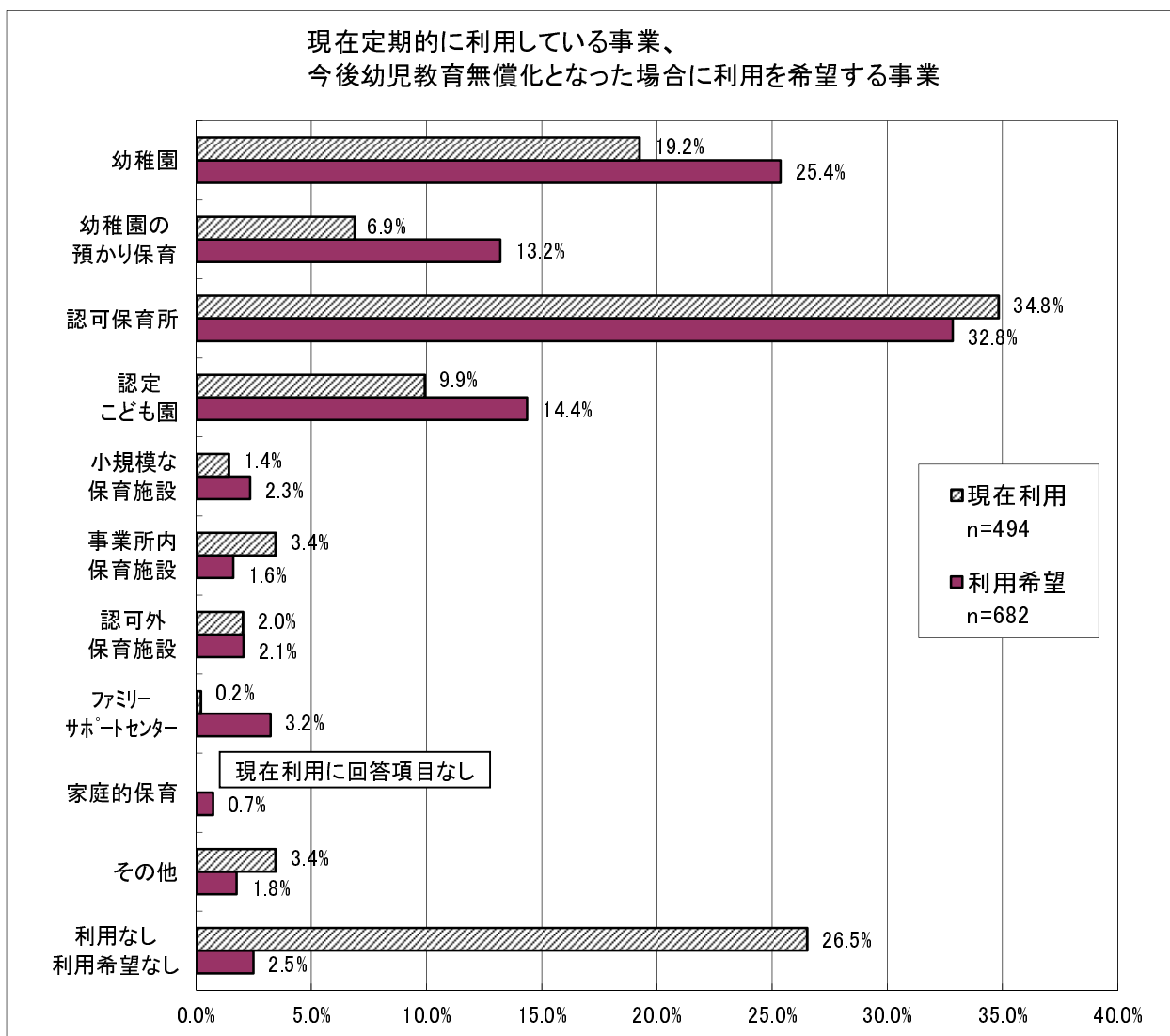


一日当たりの就労希望時間

## D. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

### 問 18 定期的に利用する教育・保育の事業及び今後の利用を希望する事業は？（複数回答）

現在利用と利用希望とも幼稚園や認可保育所が多くなっている。また、現在は利用していないが、幼稚園や認定こども園などの事業を今後利用希望する回答が多くなっている。



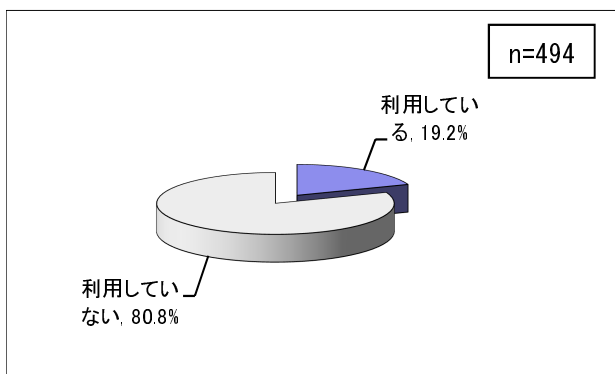
	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	認可外保育施設	ファミリーサポートセンター	家庭的保育	その他	利用なし希望なし
現在利用	95	34	172	49	7	17	10	1	—	17	131
	19.2%	6.9%	34.8%	9.9%	1.4%	3.4%	2.0%	0.2%	—	3.4%	26.5%
利用希望(無償化後)	173	90	224	98	16	11	14	22	5	12	17
	25.4%	13.2%	32.8%	14.4%	2.3%	1.6%	2.1%	3.2%	0.7%	1.8%	2.5%

※ 今後の利用希望の割合は、利用を希望しない17名を加えた682名に対するものとする。

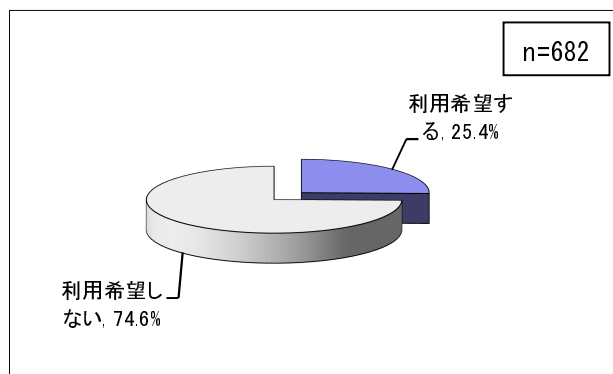
※ 家庭的保育事業は、現在帯広市にはありません。

ア. 幼稚園

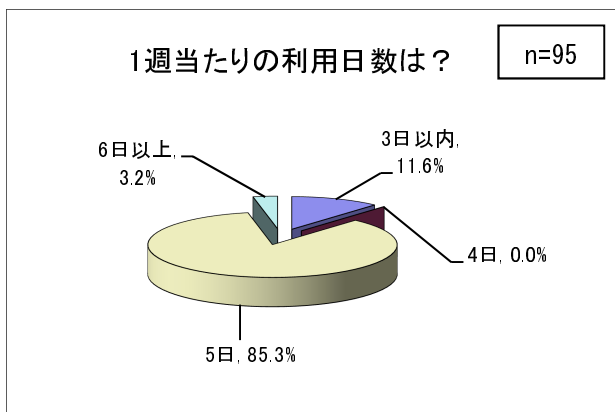
現在の利用



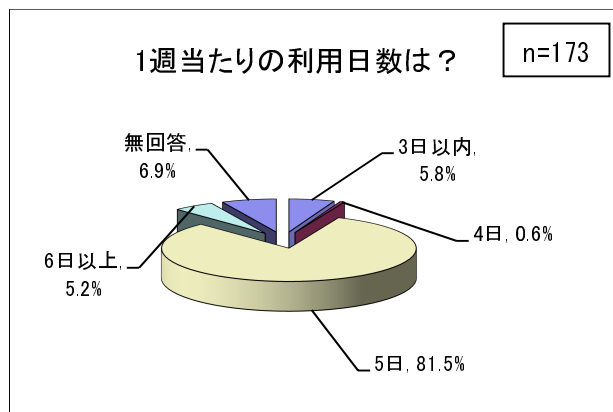
利用の希望（幼児教育無償化後）



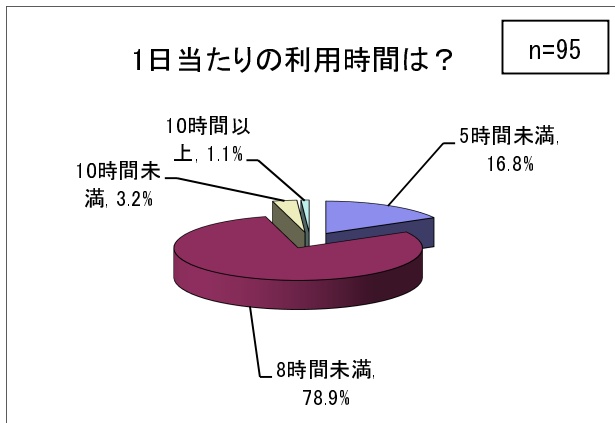
1週当たりの利用日数は？



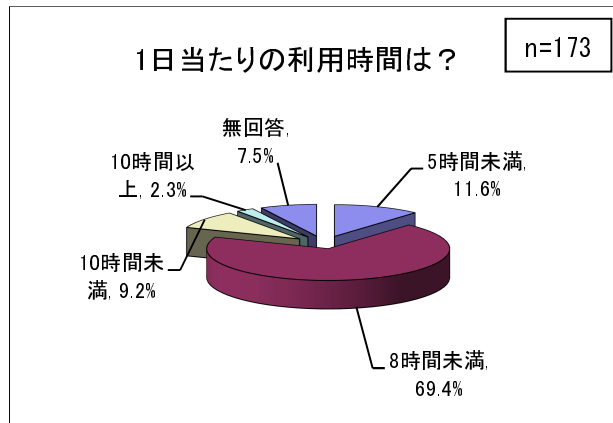
1週当たりの利用日数は？



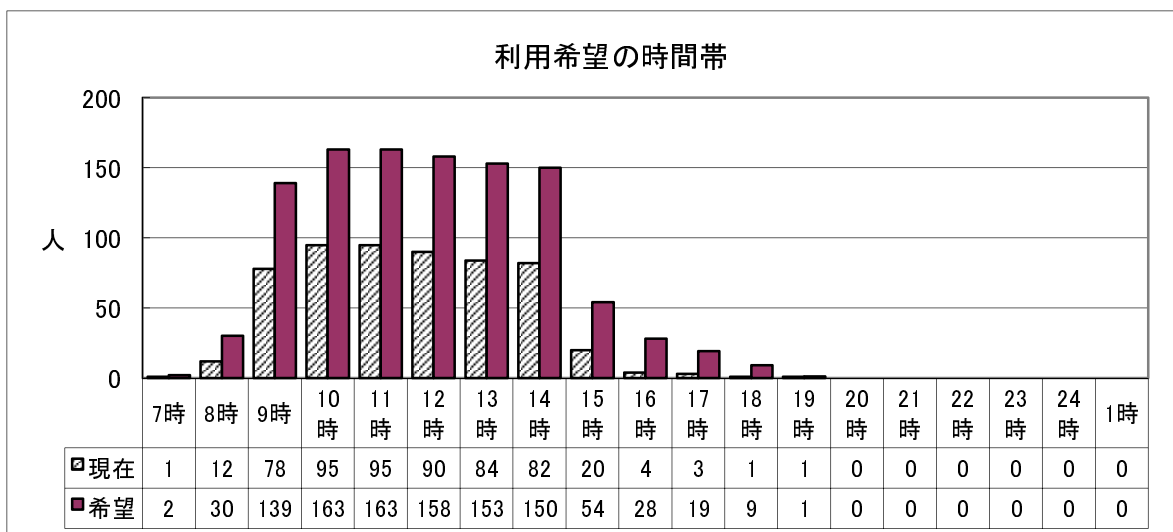
1日当たりの利用時間は？



1日当たりの利用時間は？

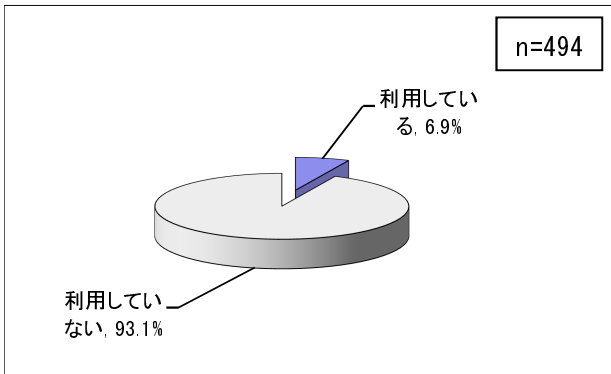


利用希望の時間帯

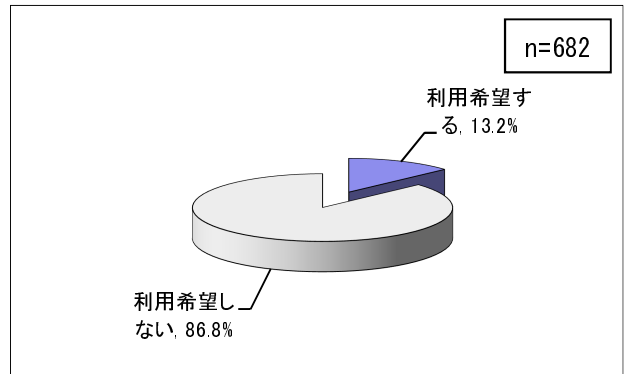


イ. 幼稚園の預かり保育

現在の利用

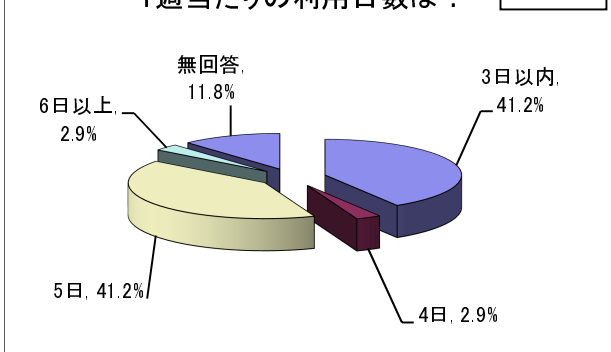


利用の希望（幼児教育無償化後）



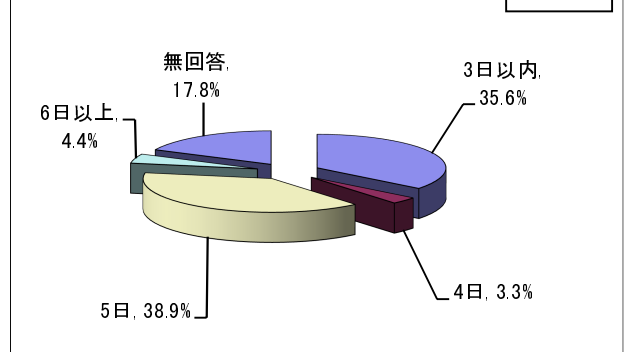
1週当たりの利用日数は？

n=34



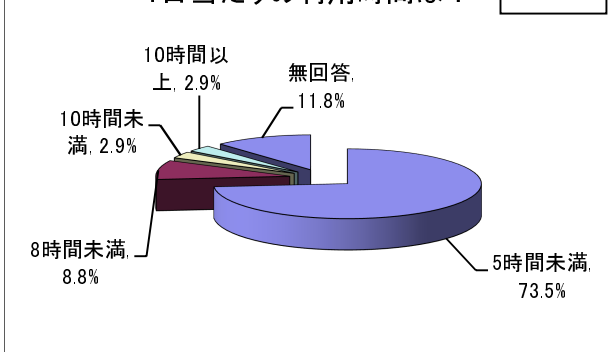
1週当たりの利用日数は？

n=90



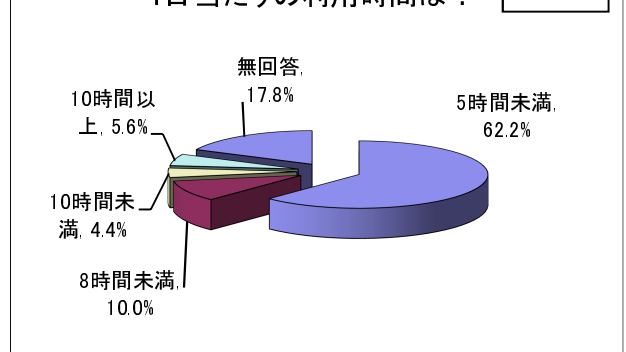
1日当たりの利用時間は？

n=34

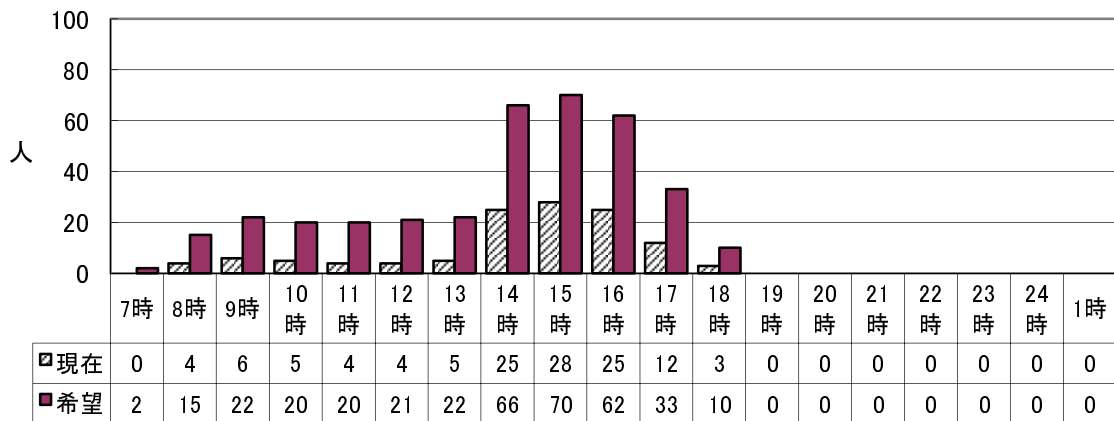


1日当たりの利用時間は？

n=90

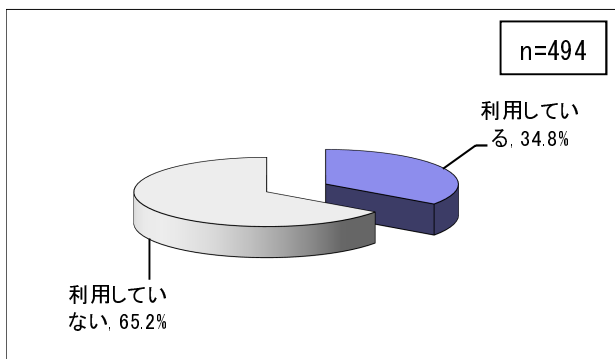


利用希望の時間帯

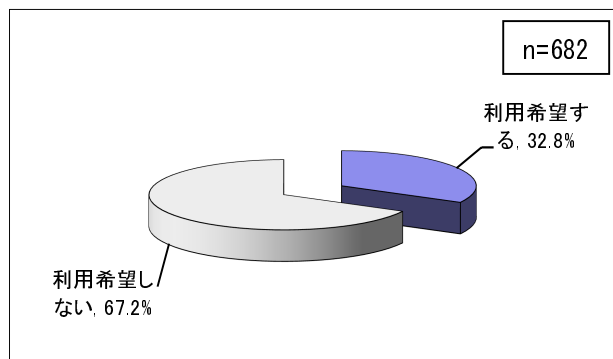


ウ. 認可保育所

現在の利用

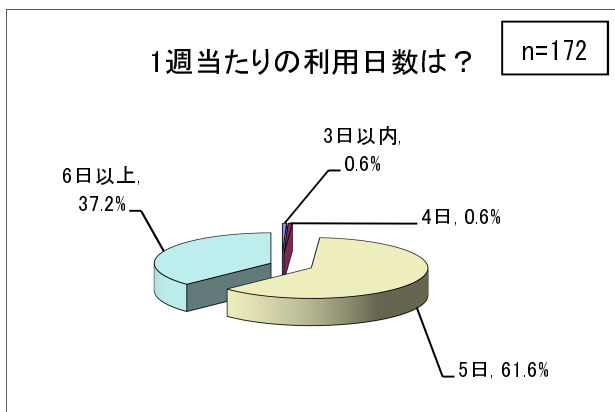


利用の希望（幼児教育無償化後）



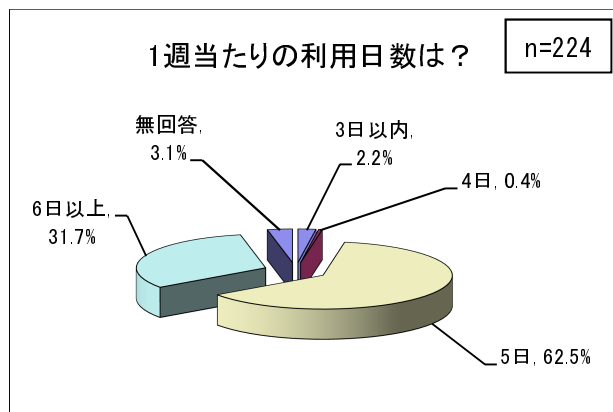
1週当たりの利用日数は？

n=172



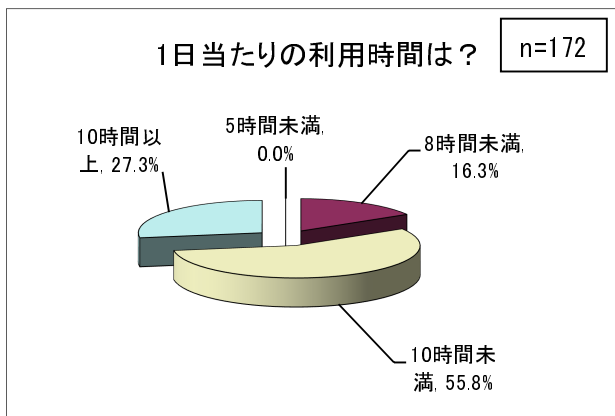
1週当たりの利用日数は？

n=224



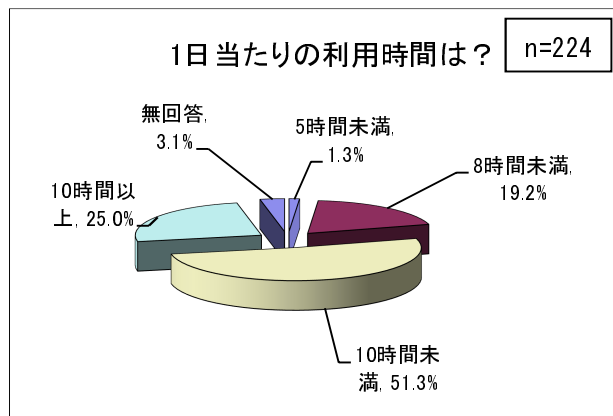
1日当たりの利用時間は？

n=172

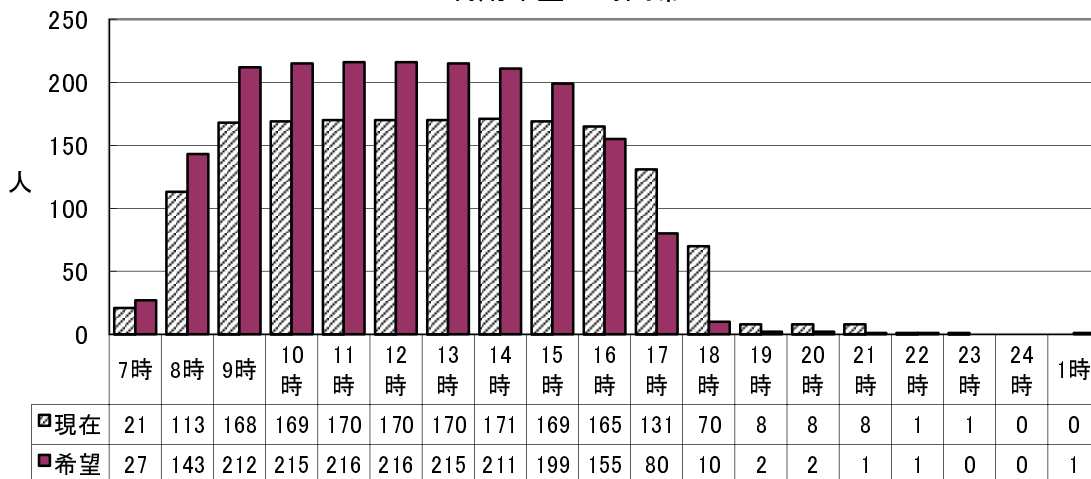


1日当たりの利用時間は？

n=224

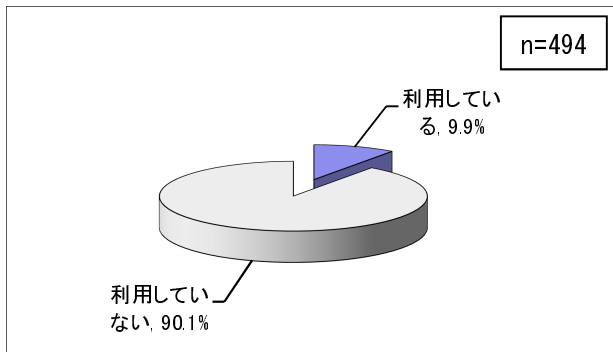


利用希望の時間帯

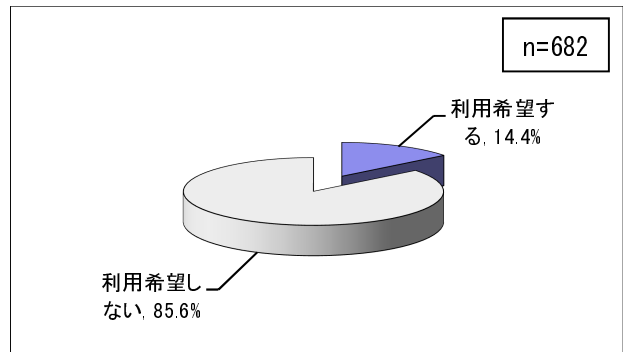


エ. 認定こども園

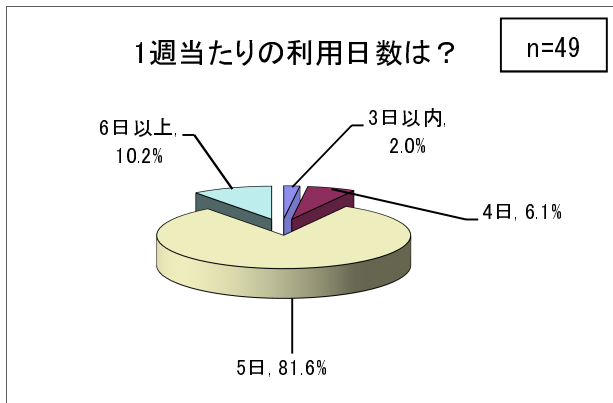
現在の利用



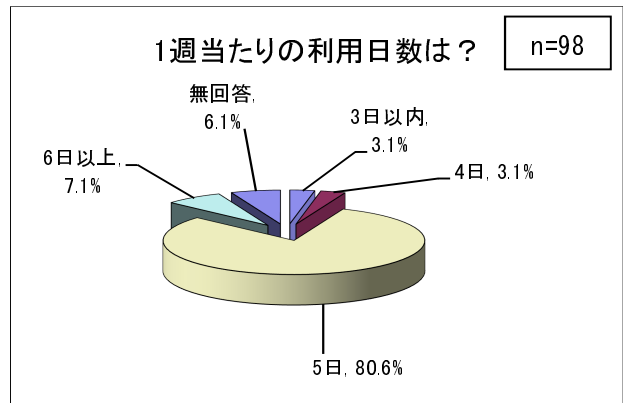
利用の希望（幼児教育無償化後）



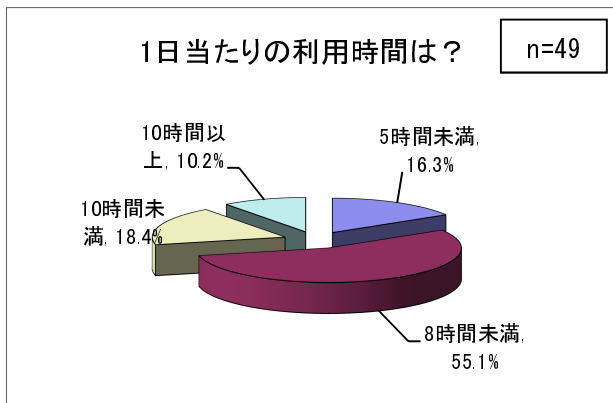
1週当たりの利用日数は？



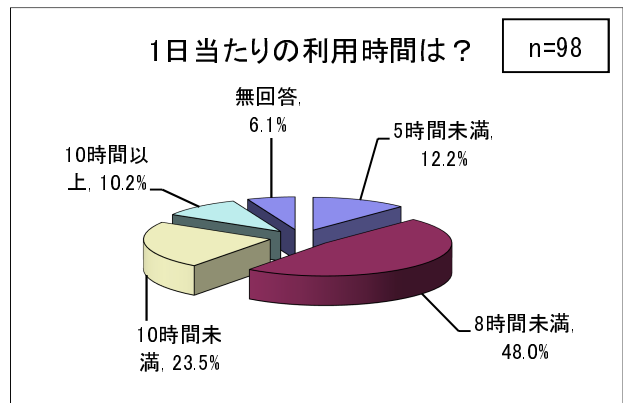
1週当たりの利用日数は？



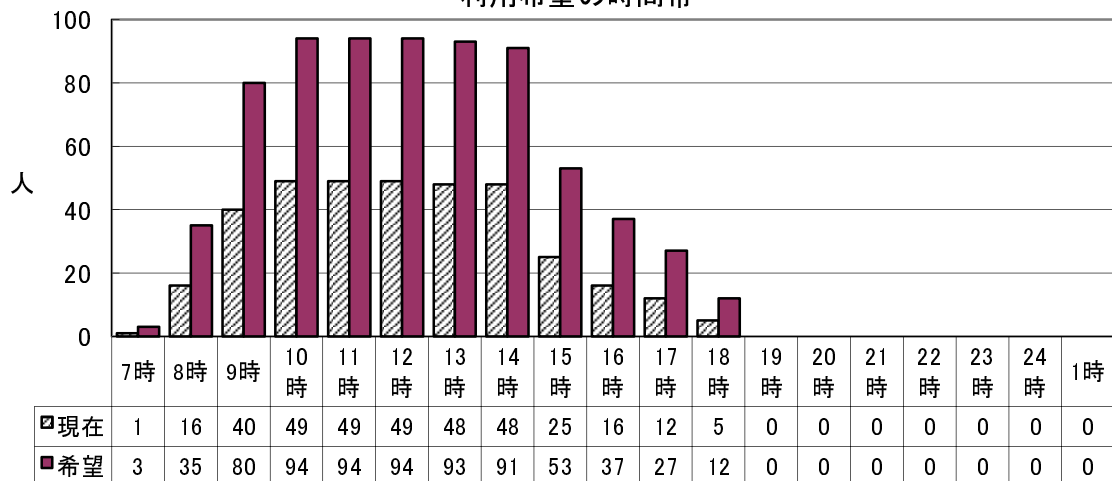
1日当たりの利用時間は？



1日当たりの利用時間は？



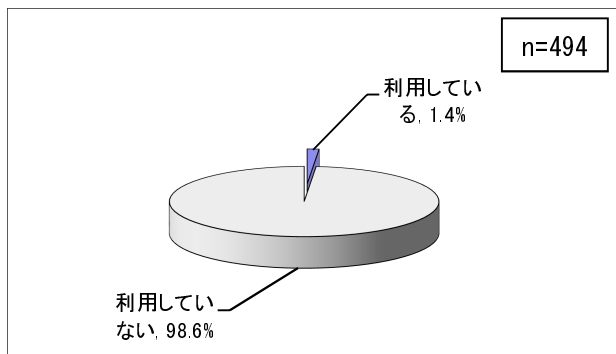
利用希望の時間帯



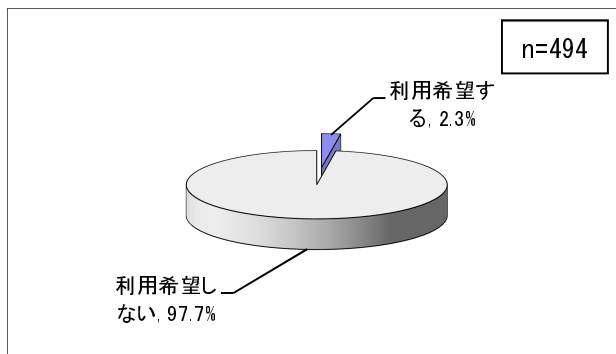


オ. 小規模な保育施設

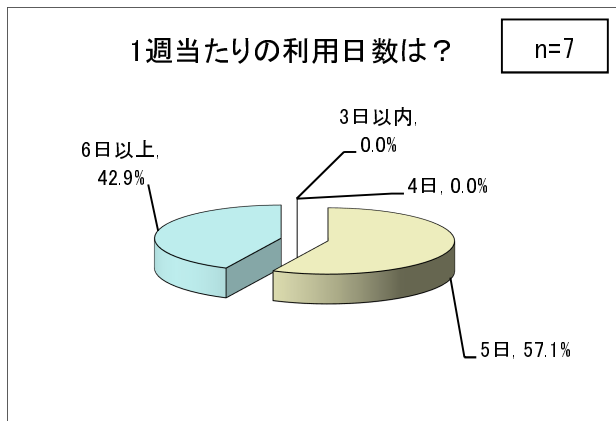
現在の利用



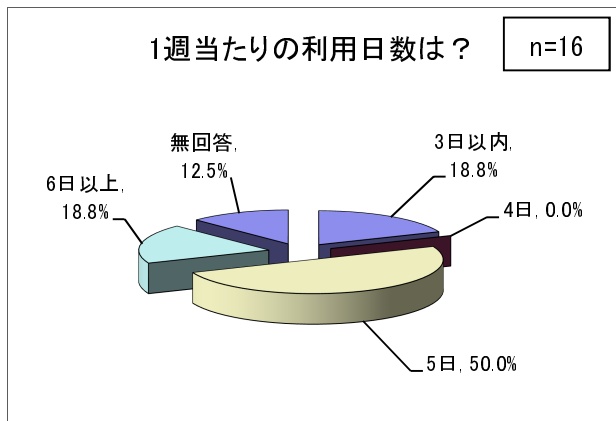
利用の希望（幼児教育無償化後）



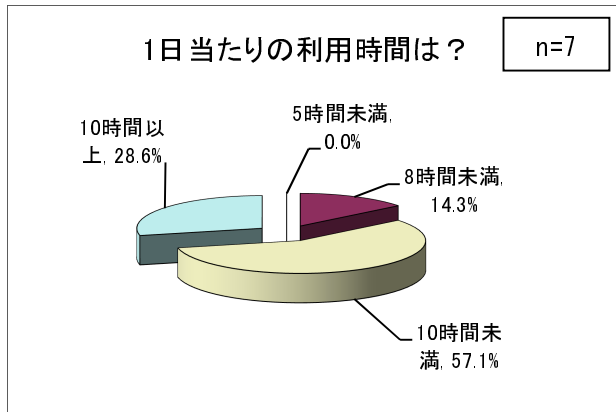
1週当たりの利用日数は？



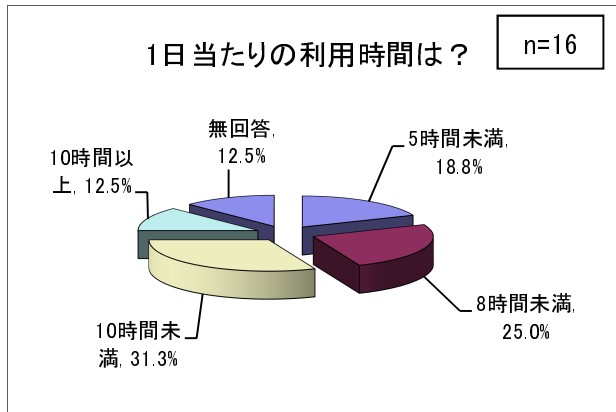
1週当たりの利用日数は？



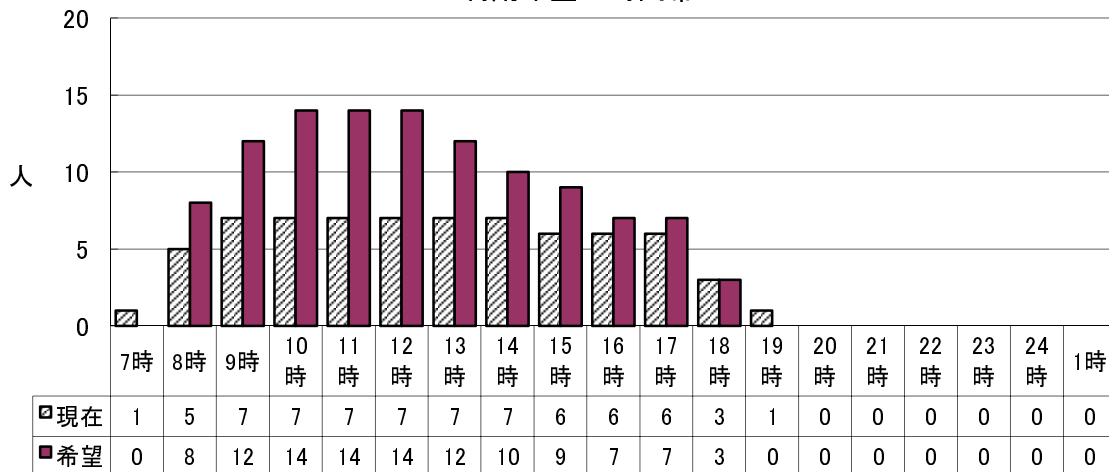
1日当たりの利用時間は？



1日当たりの利用時間は？

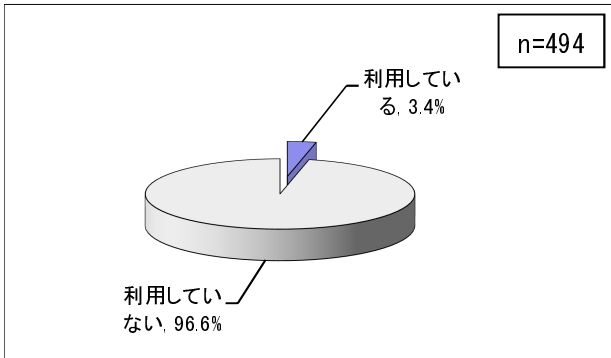


利用希望の時間帯

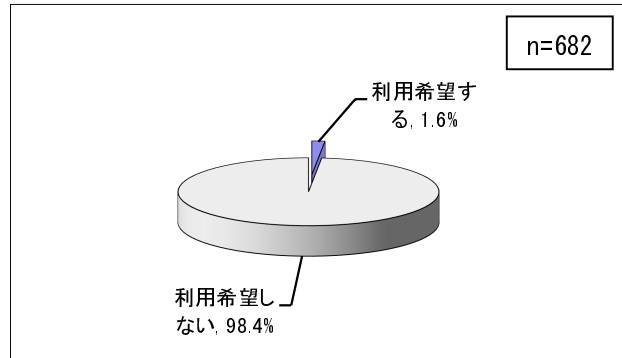


カ. 事業所内保育施設

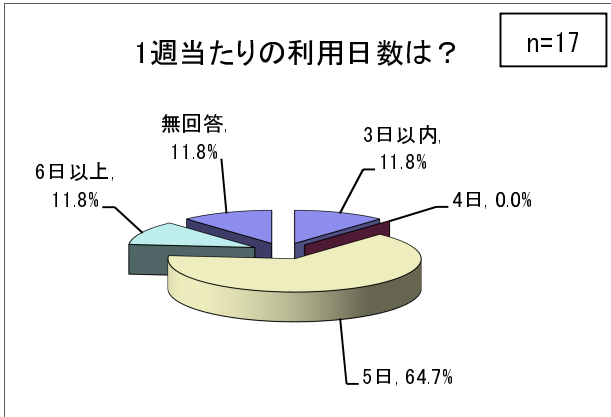
現在の利用



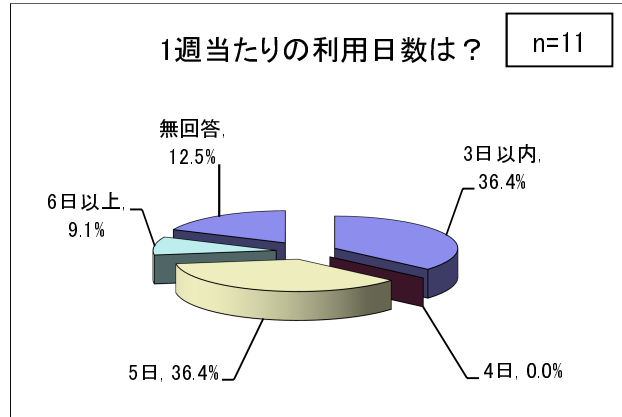
利用の希望（幼児教育無償化後）



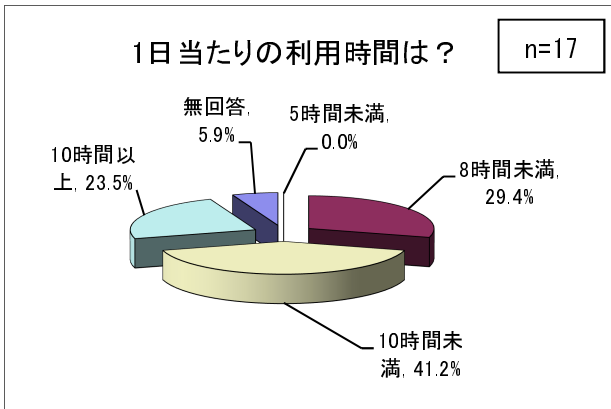
1週当たりの利用日数は？



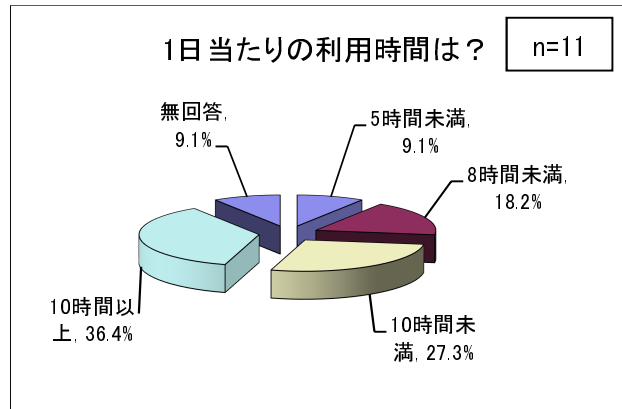
1週当たりの利用日数は？



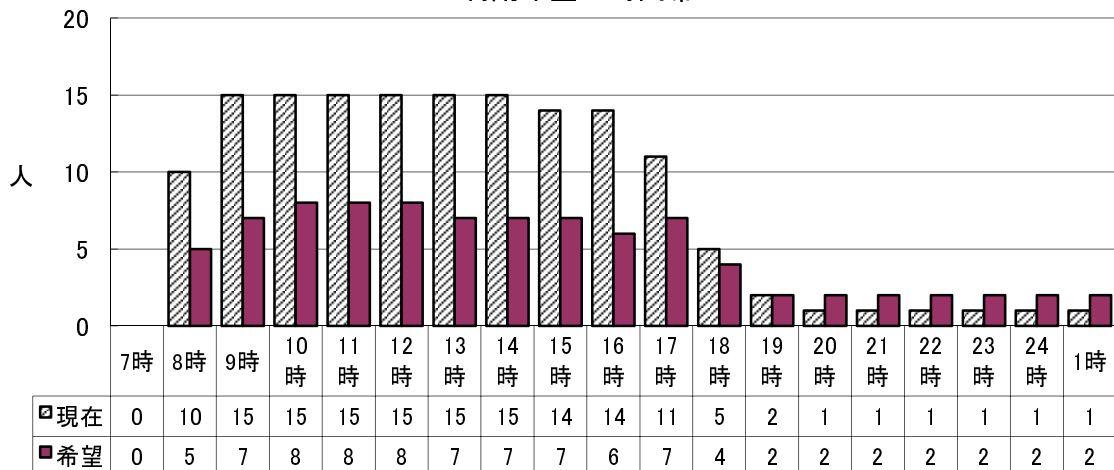
1日当たりの利用時間は？



1日当たりの利用時間は？

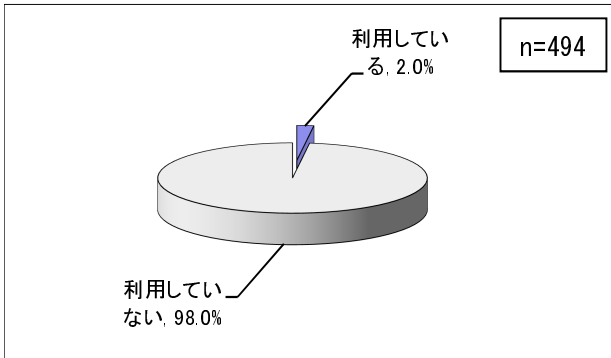


利用希望の時間帯

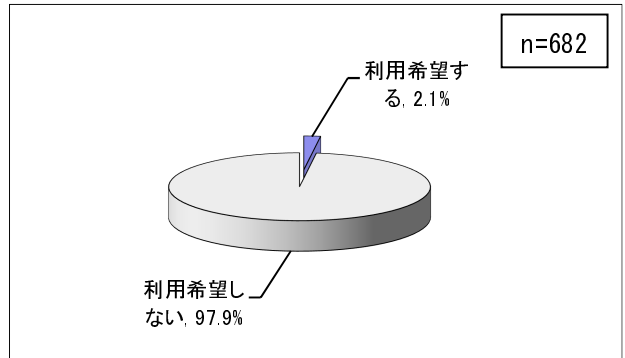


キ. 認可外保育施設

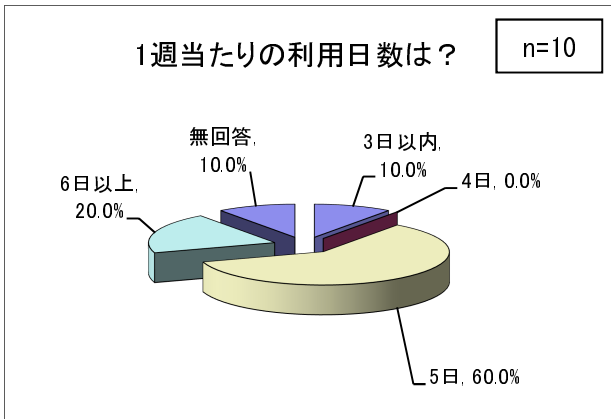
現在の利用



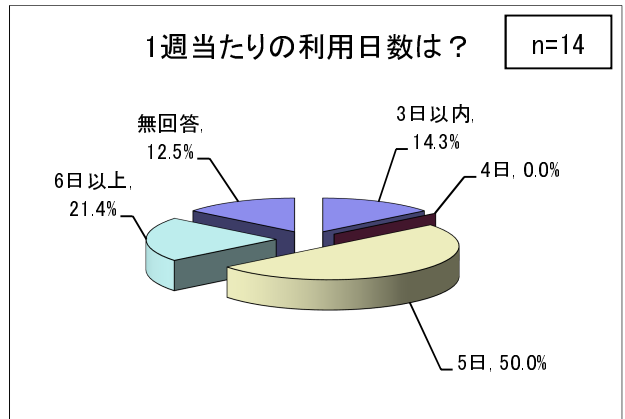
利用の希望（幼児教育無償化後）



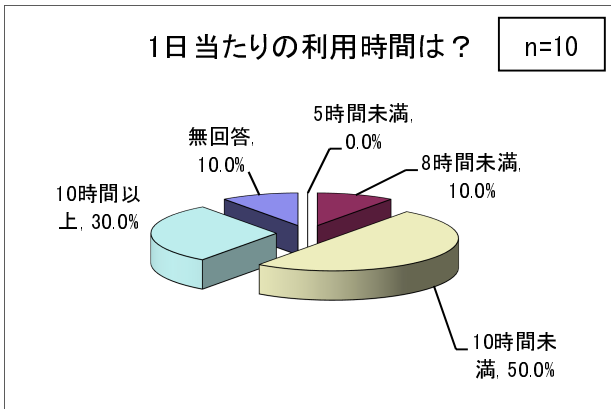
1週当たりの利用日数は？



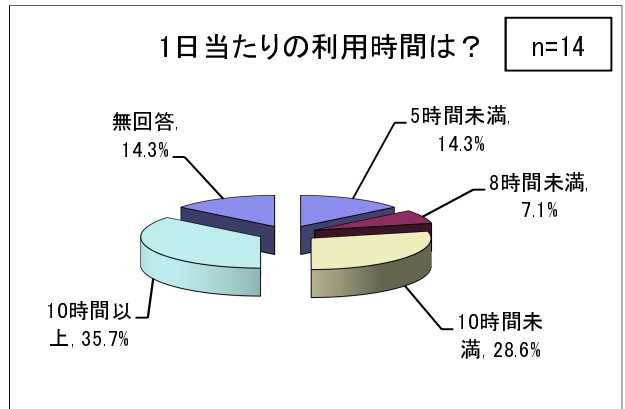
1週当たりの利用日数は？



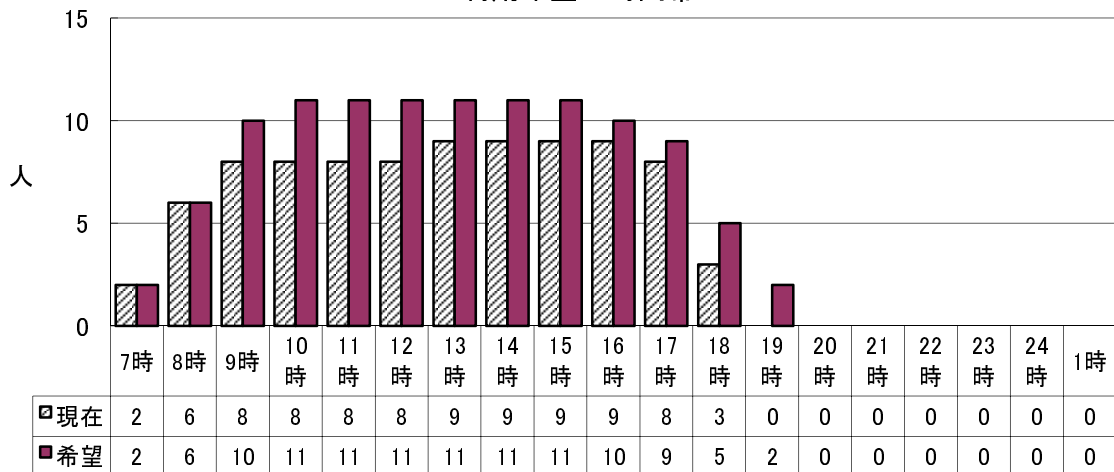
1日当たりの利用時間は？



1日当たりの利用時間は？

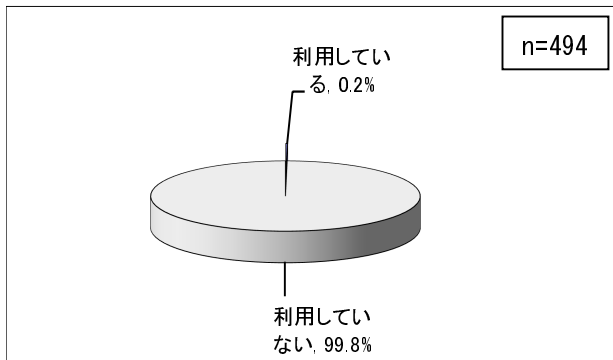


利用希望の時間帯

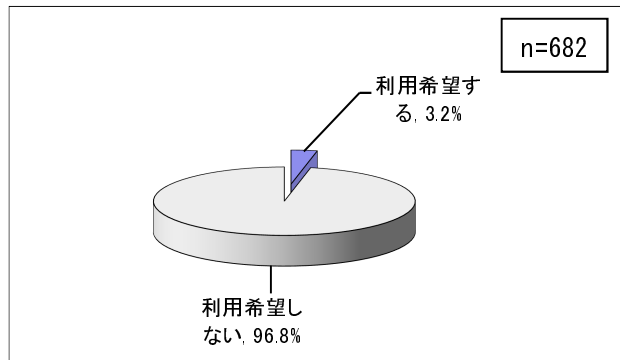


ク. ファミリーサポートセンター

現在の利用



利用の希望（幼児教育無償化後）



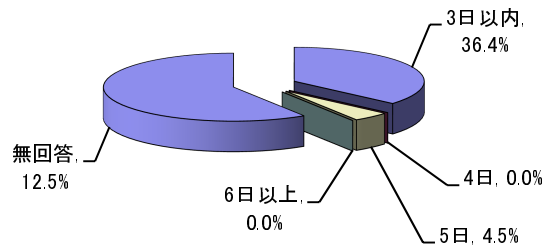
1週当たりの利用日数は？

n=1

無回答

1週当たりの利用日数は？

n=22



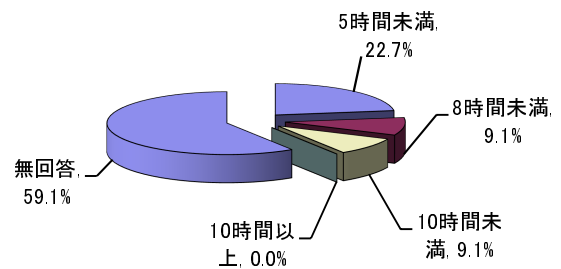
1日当たりの利用時間は？

n=1

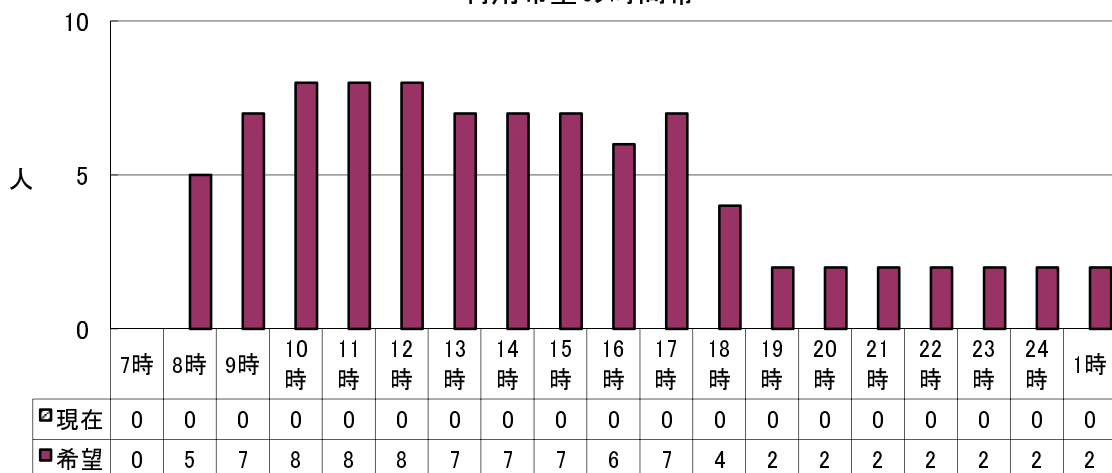
無回答

1日当たりの利用時間は？

n=22

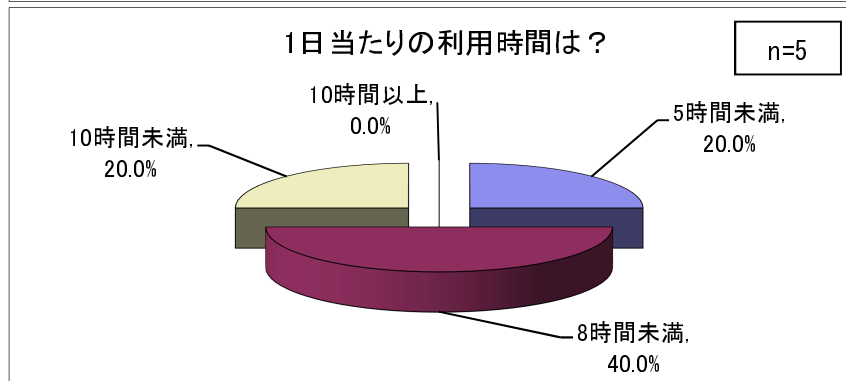
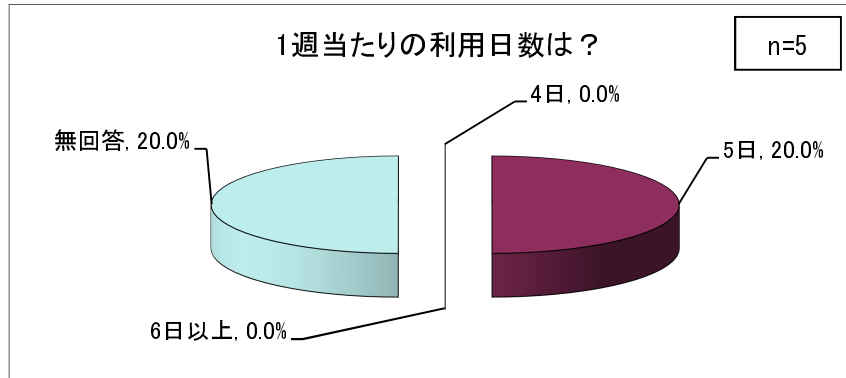
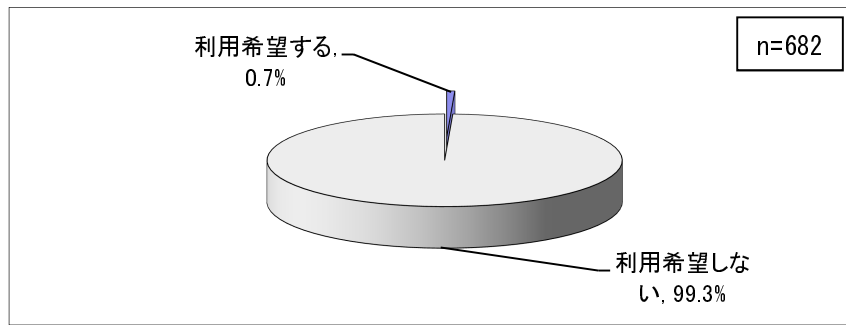


利用希望の時間帯

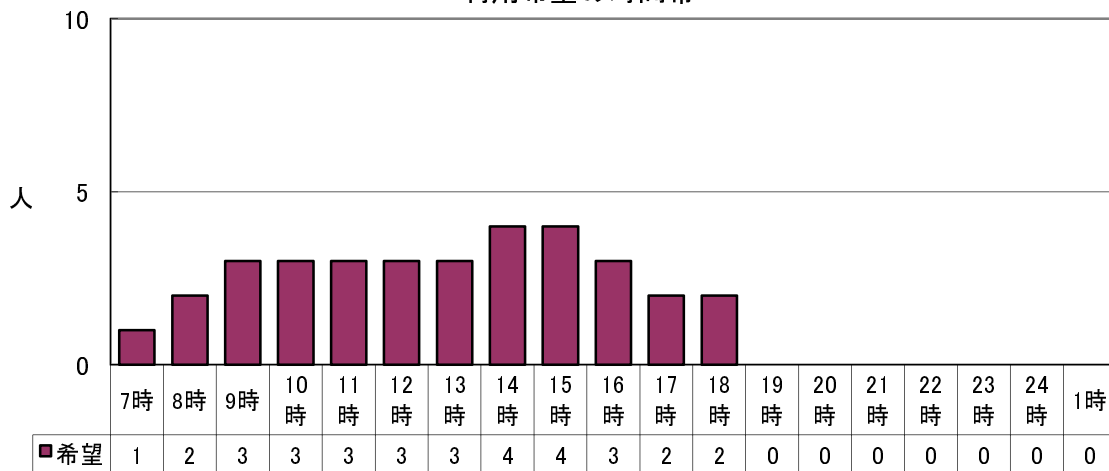


ケ. 家庭的保育

利用の希望（幼児教育無償化後）

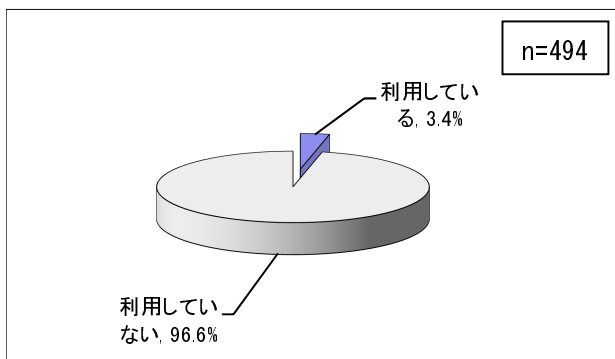


利用希望の時間帯

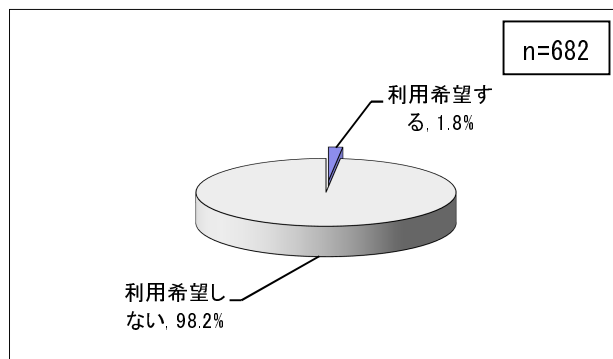


コ. その他

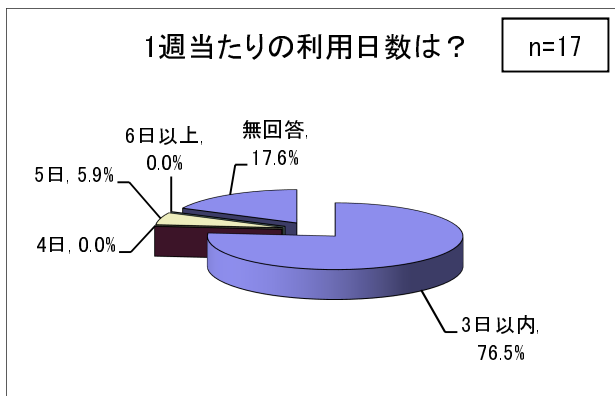
現在の利用



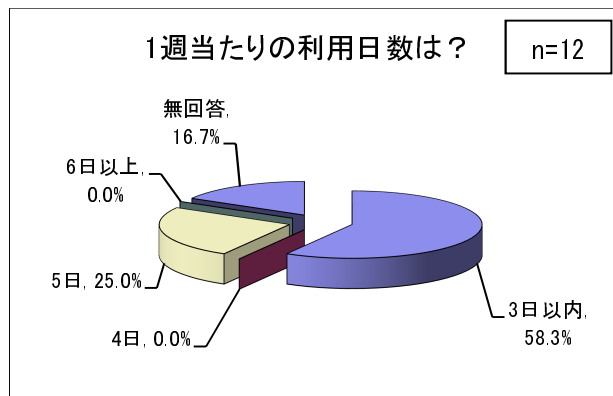
利用の希望（幼児教育無償化後）



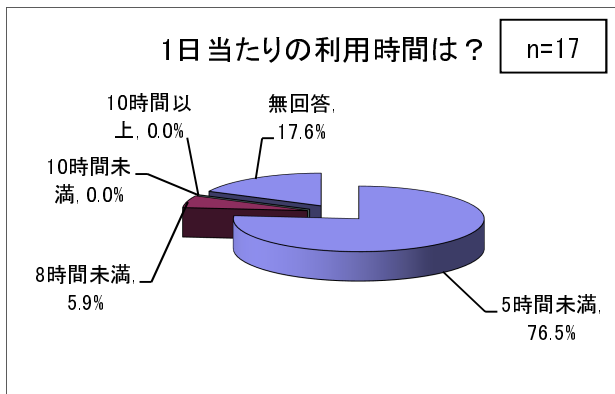
1週当たりの利用日数は？



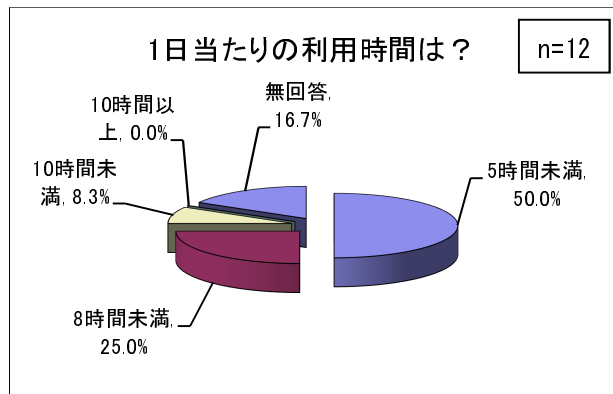
1週当たりの利用日数は？



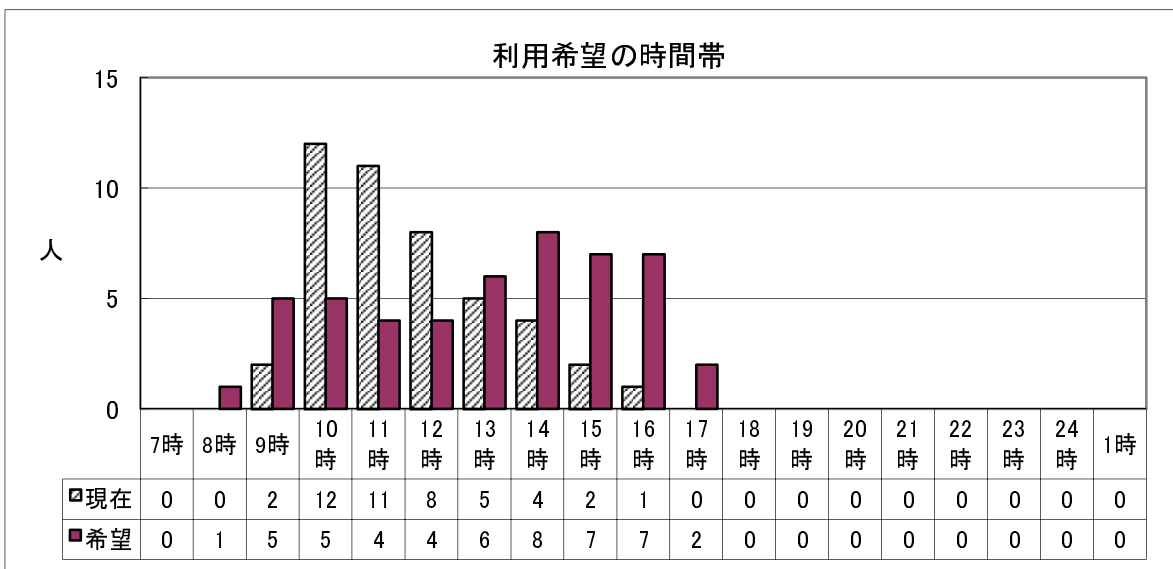
1日当たりの利用時間は？



1日当たりの利用時間は？



利用希望の時間帯



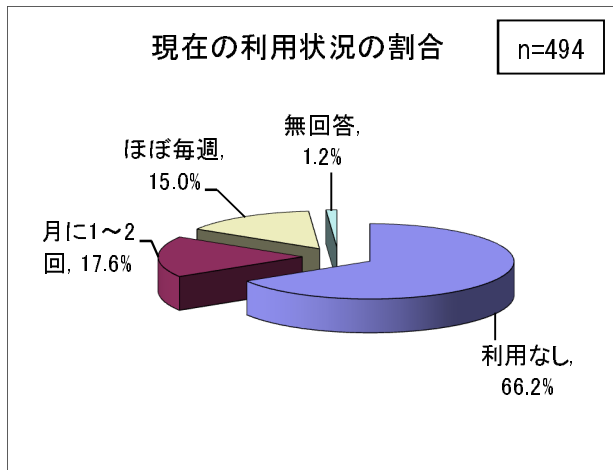
## E. 土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所（園）などの利用希望について

### 問 19 お子さんの土曜と日曜・祝日、長期休業中における幼稚園や保育所の利用希望について

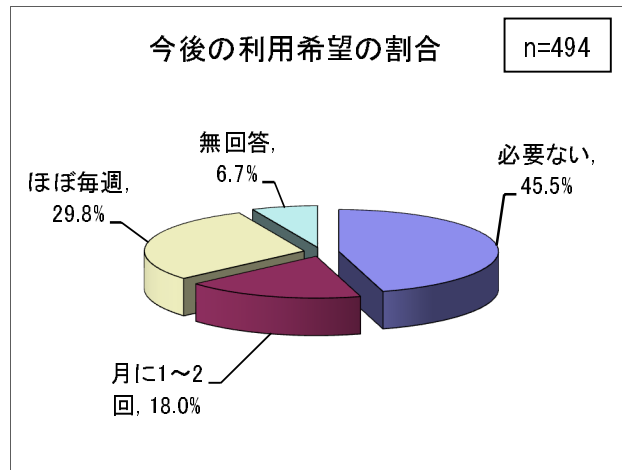
土曜日の保育サービスの利用希望は 47.8%、日曜日・祝日の保育サービスは 16.6%、長期休暇中は 29.5%となっている。

《土曜日》

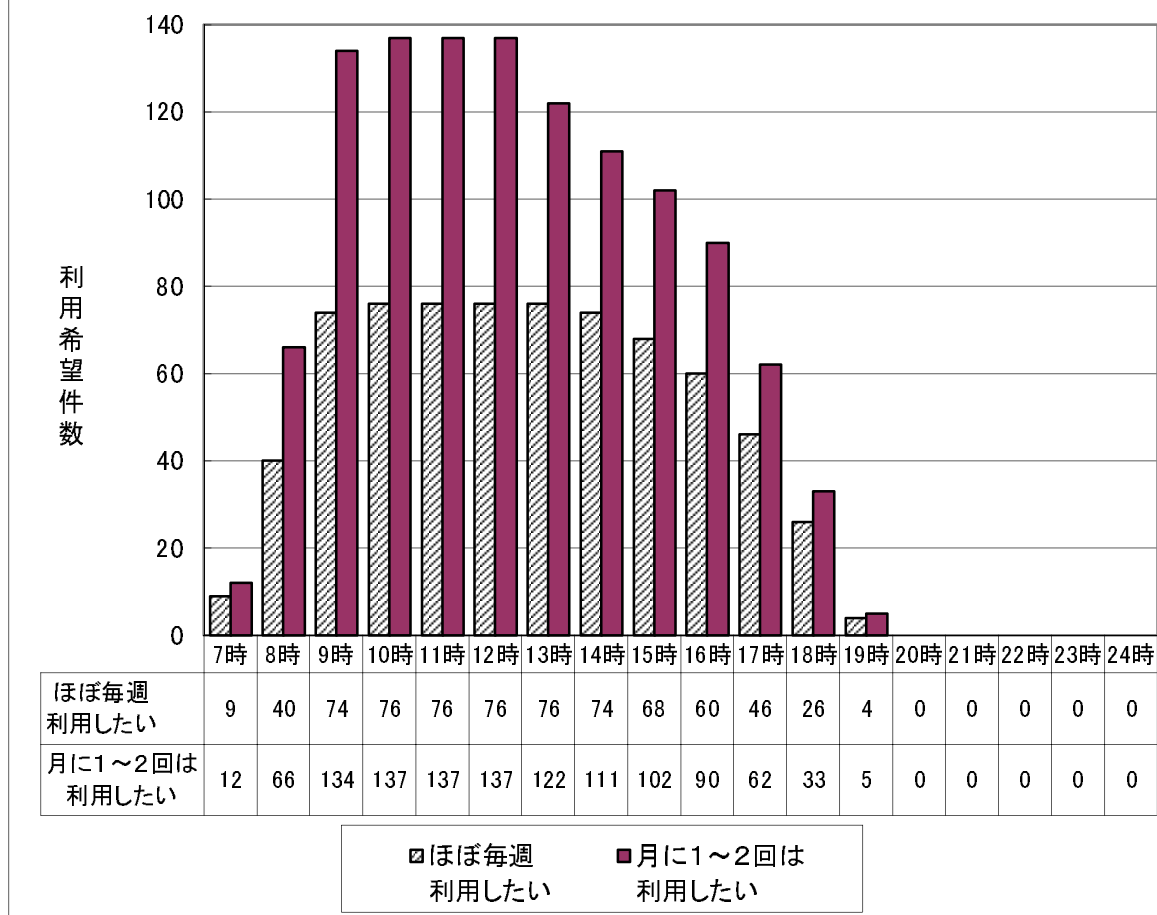
現在の利用



利用の希望

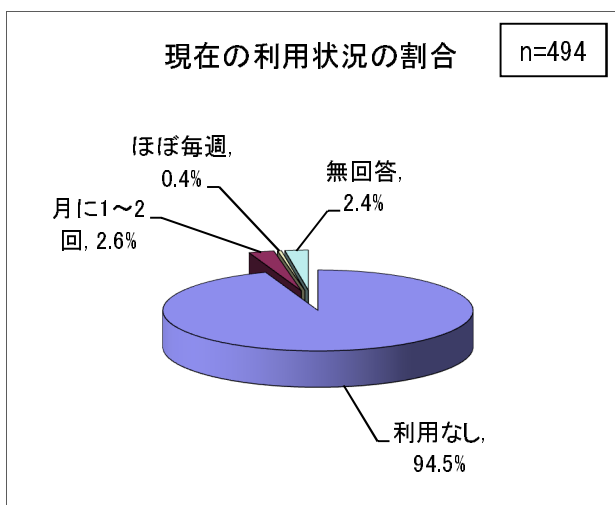


土曜日の幼稚園や保育所の利用希望の時間帯

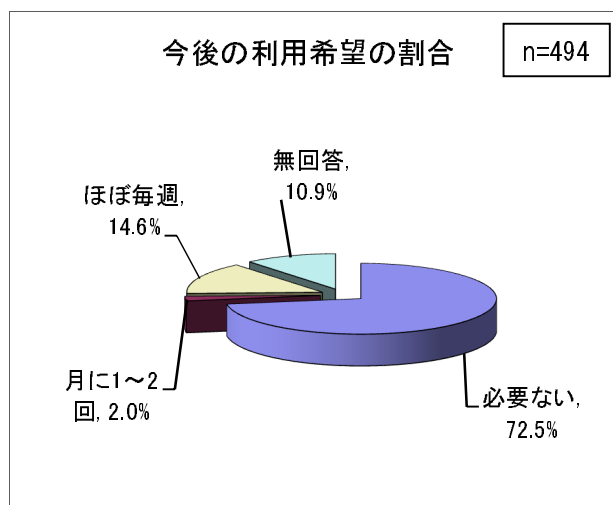


《日曜日・祝日》

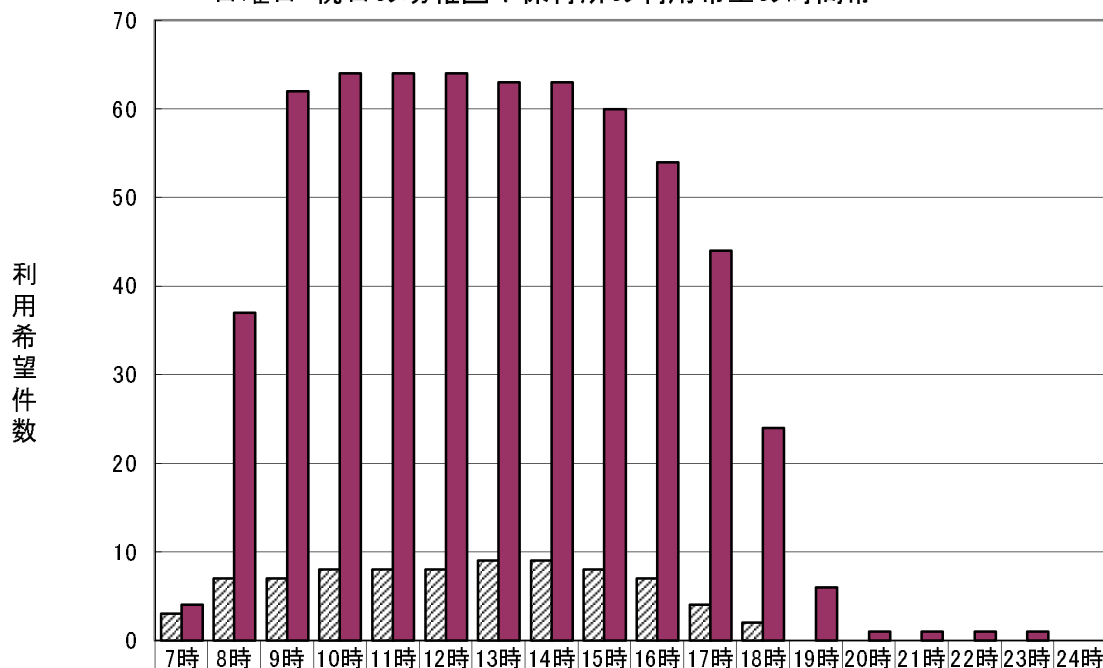
現在の利用



利用の希望



日曜日・祝日の幼稚園や保育所の利用希望の時間帯



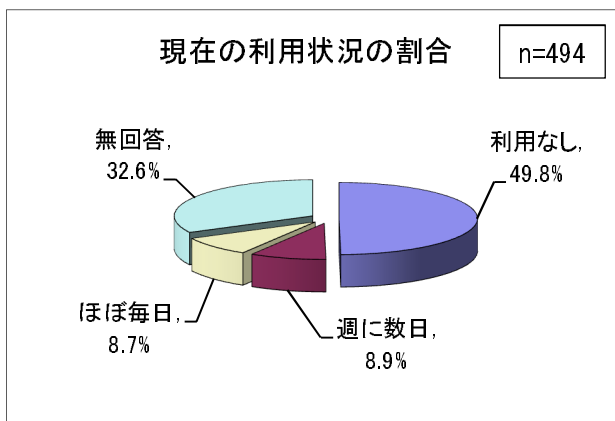
ほぼ毎週利用したい	3	7	7	8	8	8	9	9	8	7	4	2	0	0	0	0	0
月に1~2回は利用したい	4	37	62	64	64	64	63	63	60	54	44	24	6	1	1	1	1

▨ ほぼ毎週利用したい      ■ 月に1~2回は利用したい

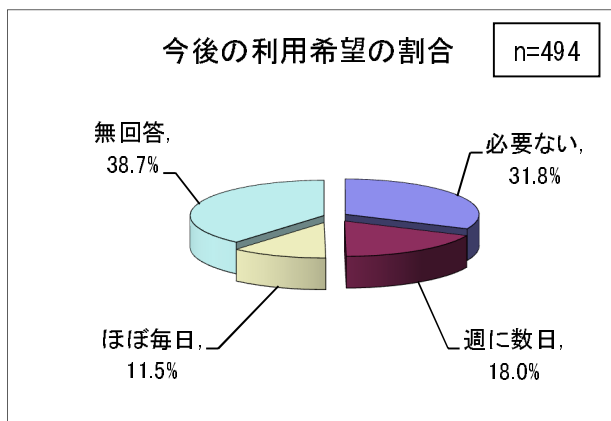


《長期休暇中》

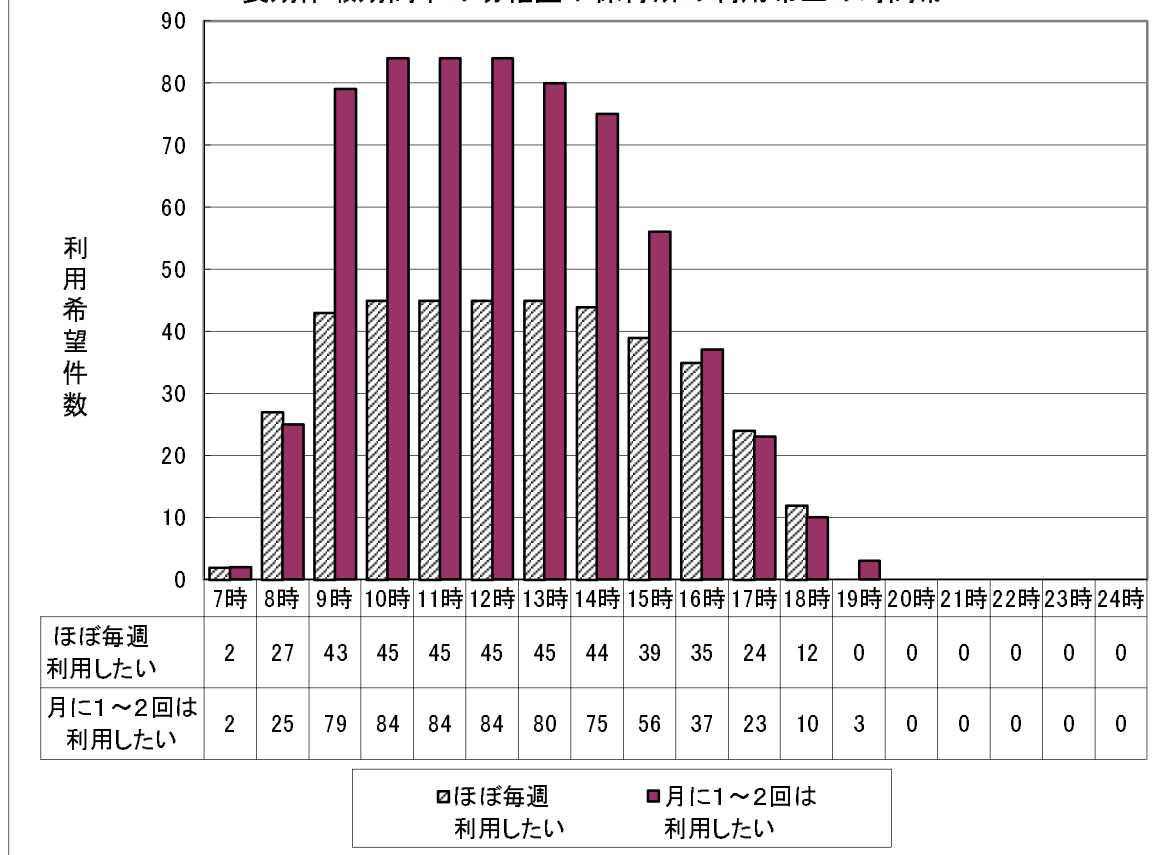
現在の利用



利用の希望

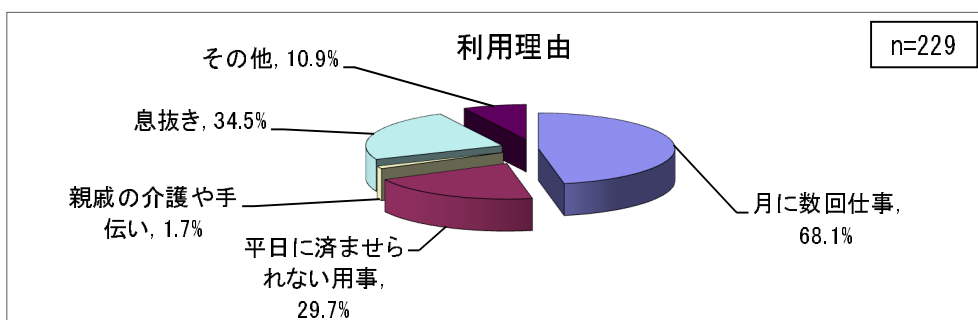


長期休暇期間中の幼稚園や保育所の利用希望の時間帯



問 20 毎週あるいは毎日ではなく、たまに利用したい理由は？

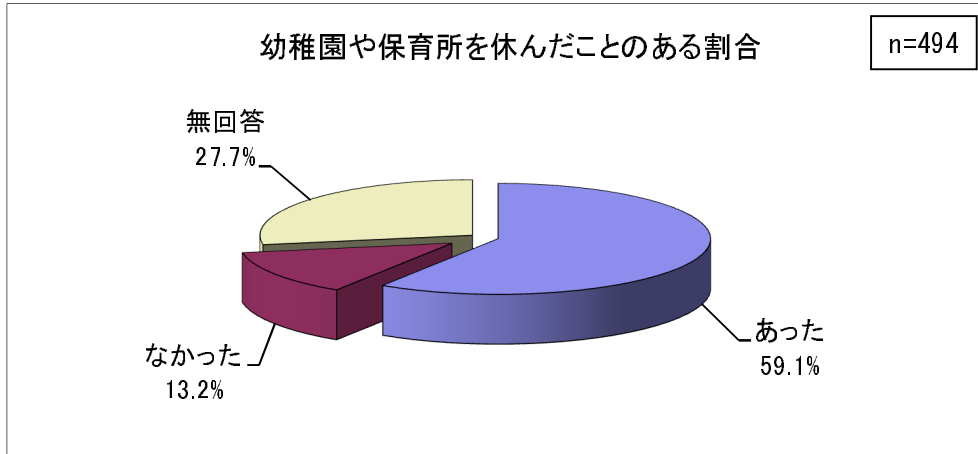
「月に数回仕事」が68.1%と最も多く、「平日に済ませられない用事」が29.7%と続く。



## F. 子どもの病気の際の対応について

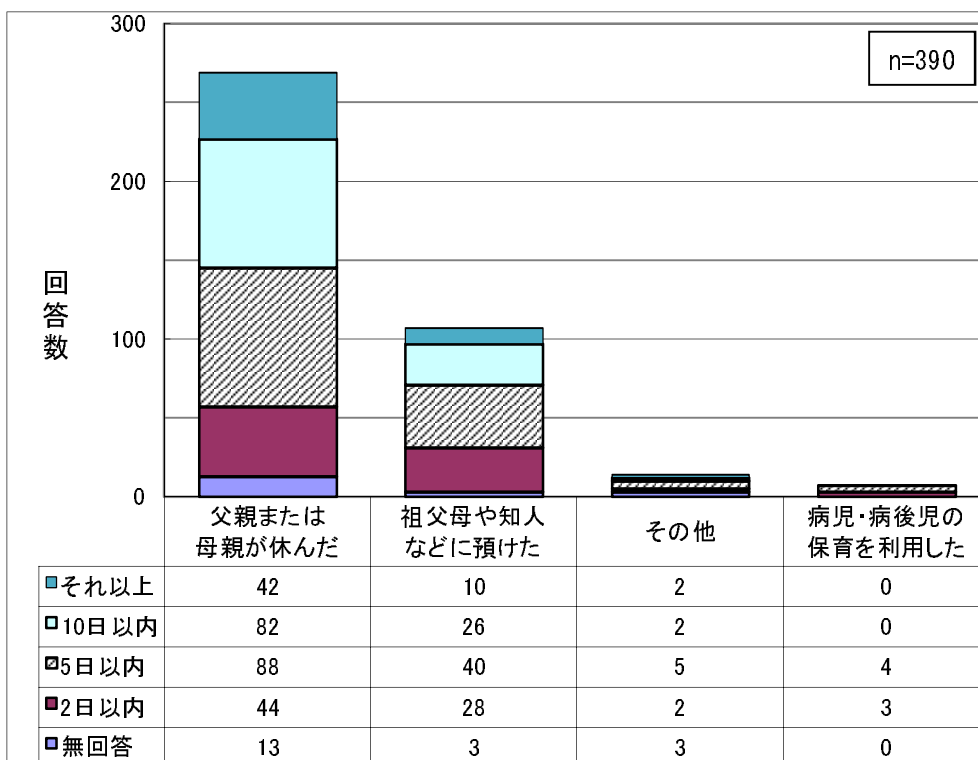
問 21 この1年間、お子さんが病気やケガで幼稚園等などを利用できなかったことがありますか？

「あった」と回答した人の割合が 59.1%あり、「なかった」と回答した 13.2%を上回った。



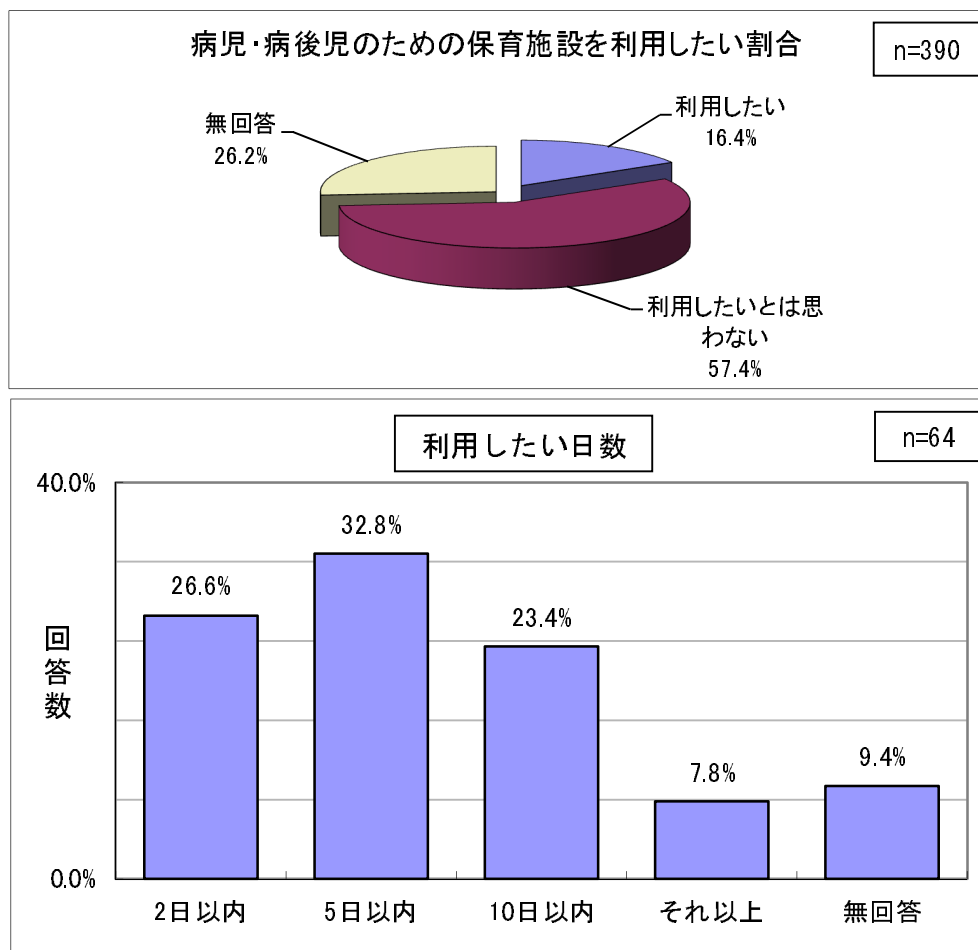
問 21-1 幼稚園などを休んだ場合に、この1年間に行った対処法と概ねの日数はどれくらいですか？  
(複数回答)

「父親または母親が休んだ」と回答した人が 269 件と最も多く、次いで「祖父母や知人に預けた」と回答した人が 107 件と続く。



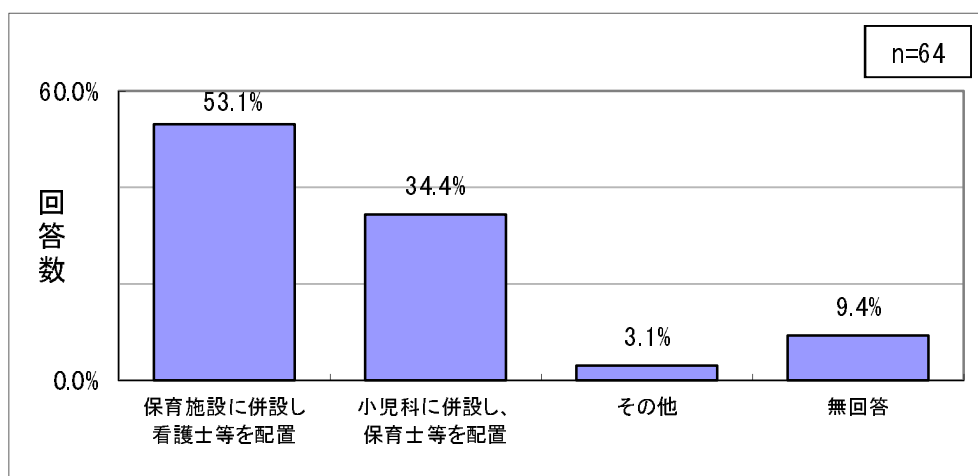
問 21-2 できれば病児・病後児のための保育施設を利用したいと思われましたか？  
 思われた日数はどれくらいありましたか？

「利用したい」と回答した人が 16.4%、「利用したいとは思わない」と回答した人が 57.4%あった。利用したい日数は「5日以内」と答えた割合が 32.8%と最も多い。



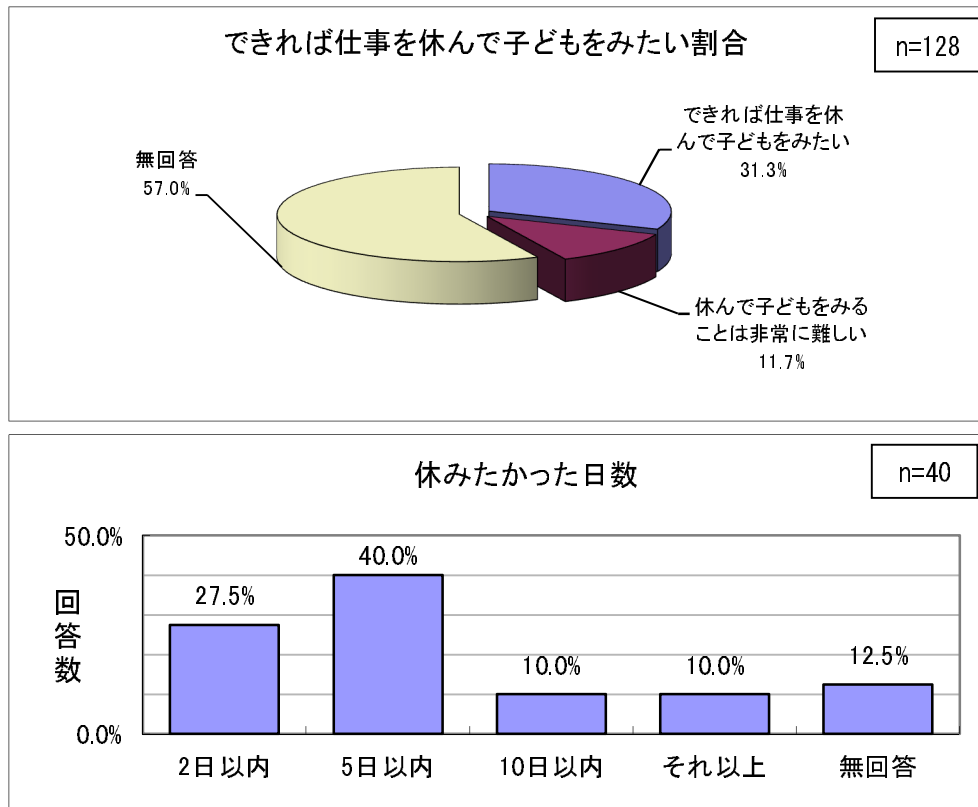
問 21-3 子どもを預ける場合望ましいと思われる方法は？

「保育施設に併設し、看護師等の配置を希望する」と回答した人は 53.1%、「小児科に併設し、保育士等の配置を希望する」と回答した人は 34.1%となっている。



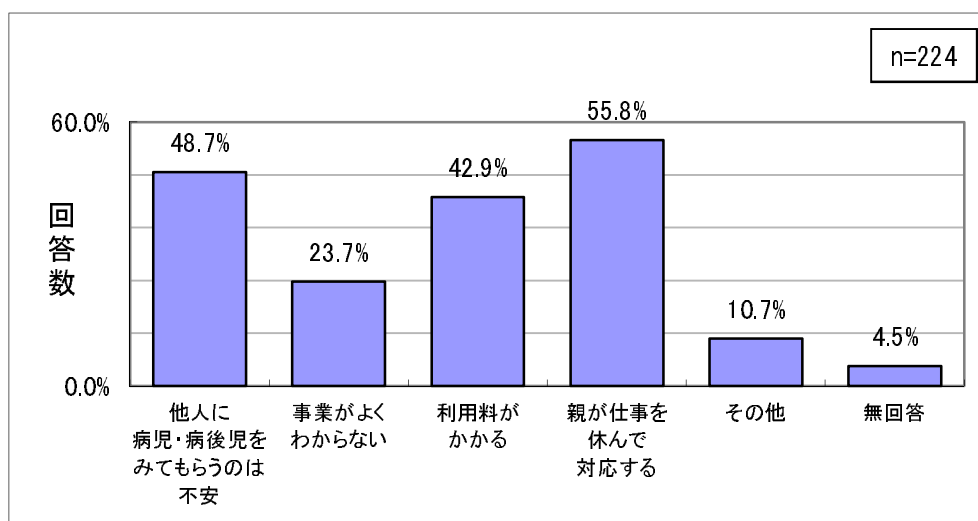
#### 問 21-4 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか？

「できれば仕事を休んで子どもをみたい」と回答した人が 31.3%あり、休みたかった日数については「5日以内」が 40.0%と最も多くなっている。



#### 問 21-5 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由は？

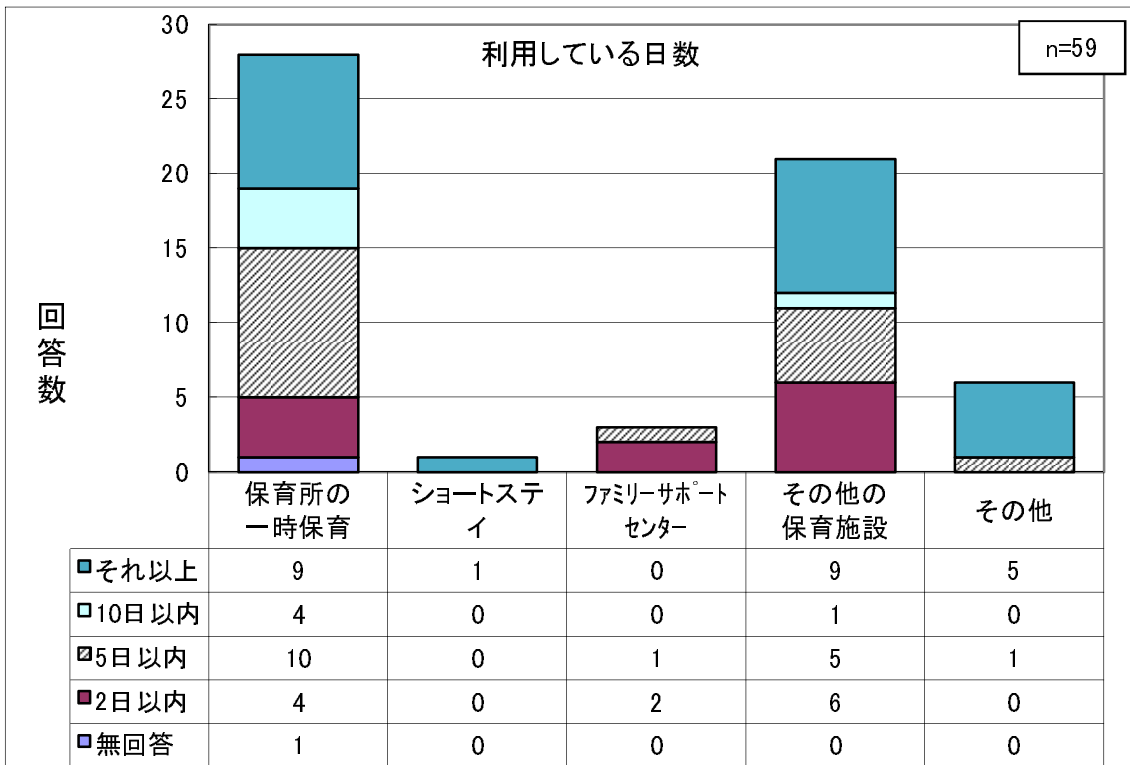
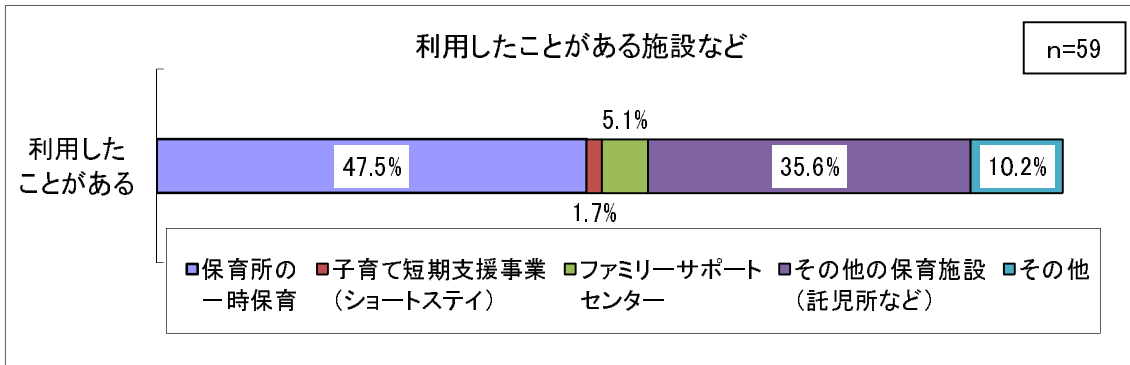
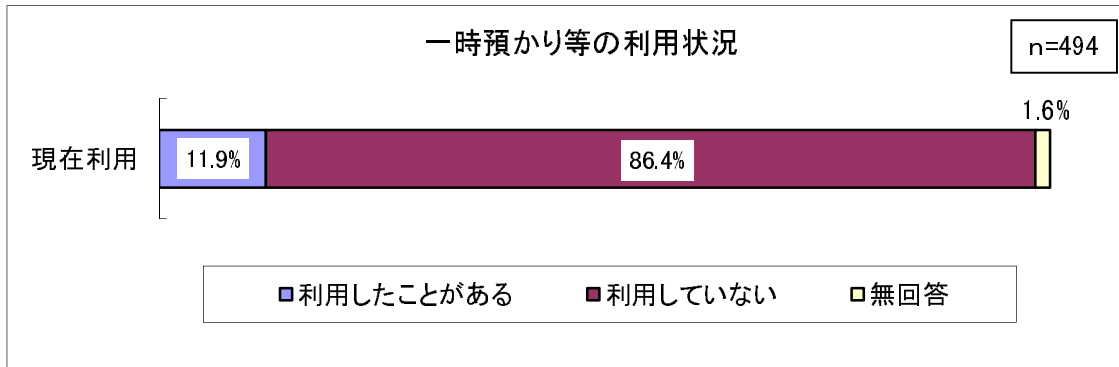
「親が休んで対応する」と回答した人が 55.8%と最も多く、「他人に病児・病後児をみてもらうのは不安」と回答した人が 48.7%と続いている。



## G. 子どもの一時預かり等の利用について

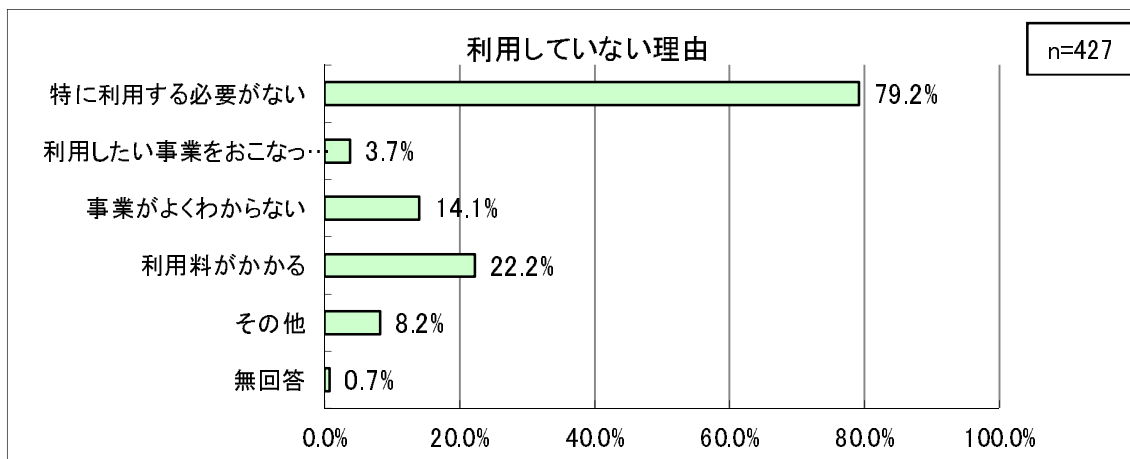
### 問 22 定期的な幼稚園や保育所の利用以外に、不定期に利用している事業とその日数は？ (複数回答)

「利用したことがある」と回答したのが 11.9% (59 件) で、その内「保育所の一時保育」と回答した人が 47.5% (28 件) と最も多くなっている。



## 問 22-1 利用していない理由は？（複数回答）

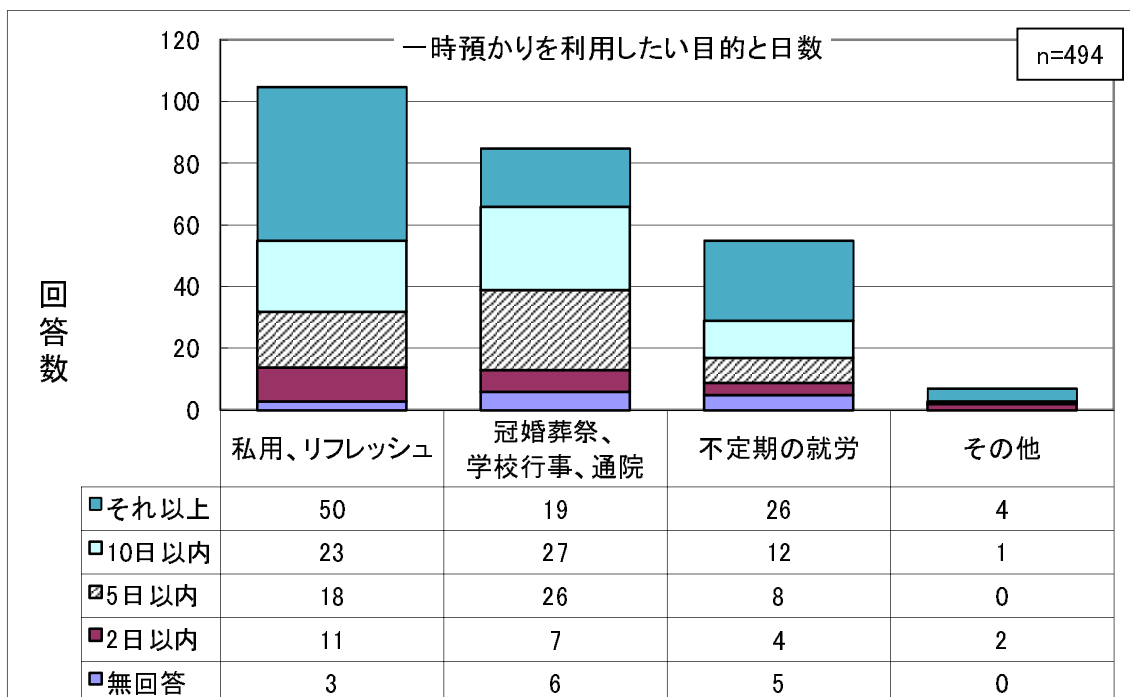
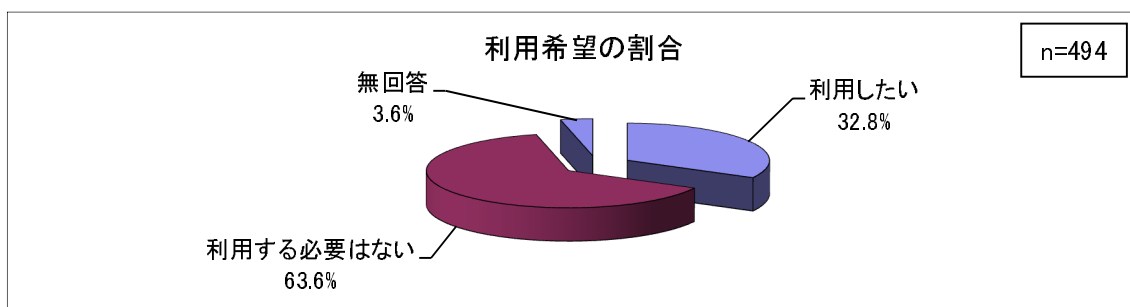
「特に利用する必要がない」が79.2%、次に「利用料がかかる」が22.2%となっている。



## 問 23 保護者の都合で一時預かりを利用する必要がありますか？目的と利用日数は？

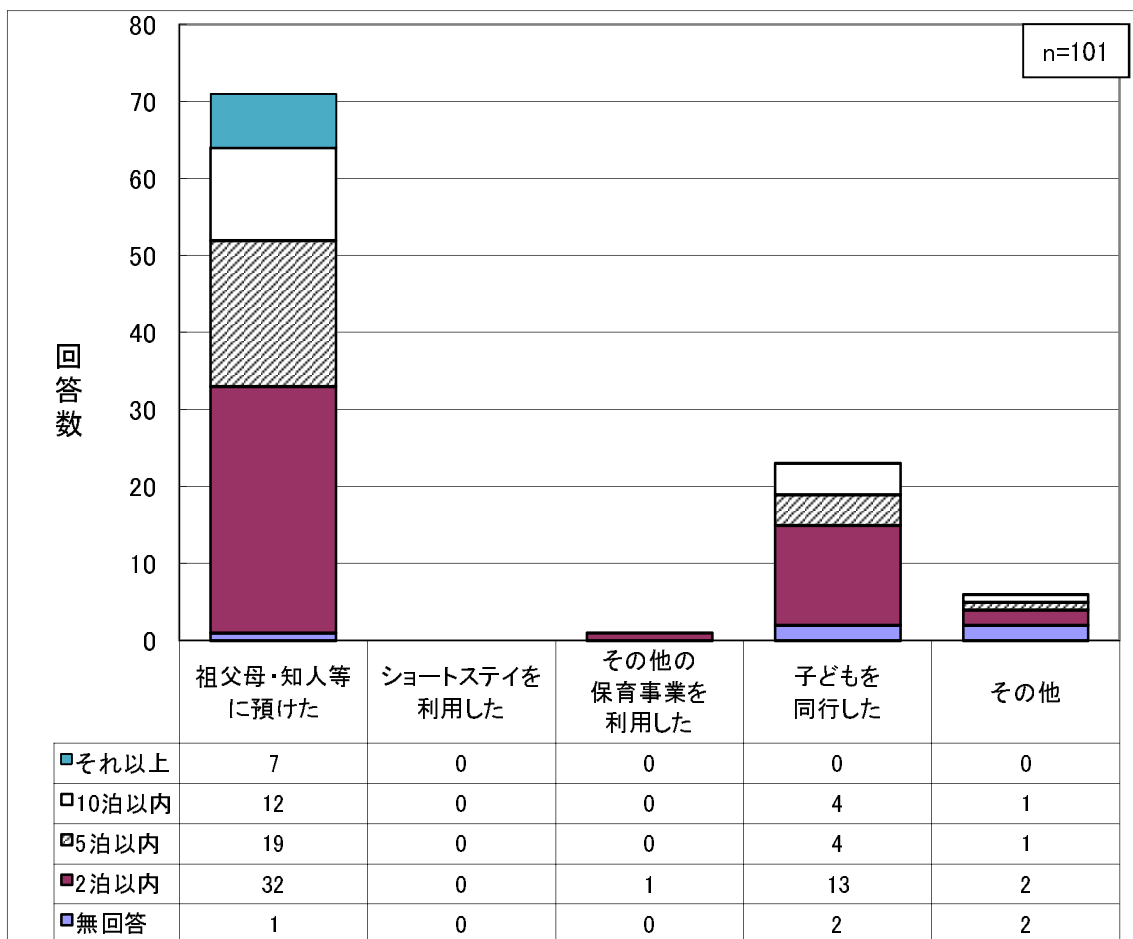
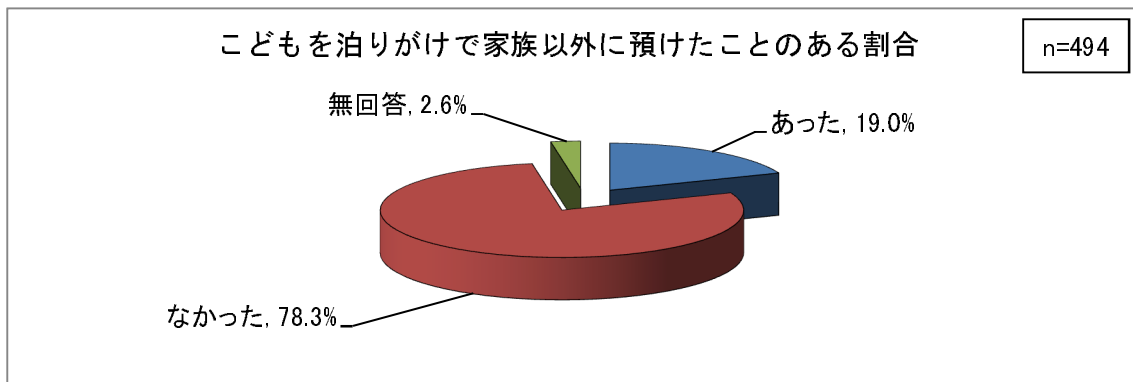
（複数回答）

「利用したい」は32.8%（162件）となり、「私用、リフレッシュ」では10日以上が50人、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など」では10日以内が27人と多くなっている。



問 24 この1年間に、お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったことはありましたか？

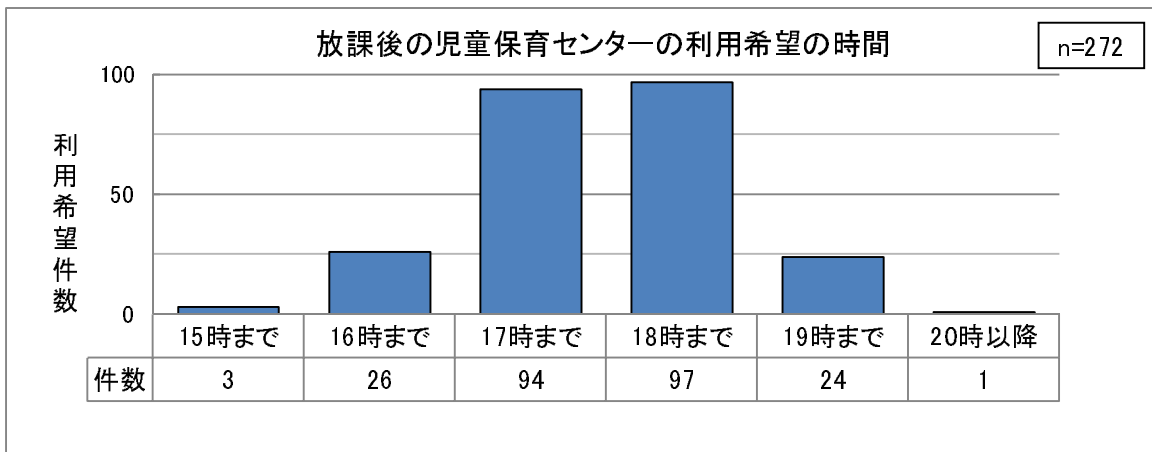
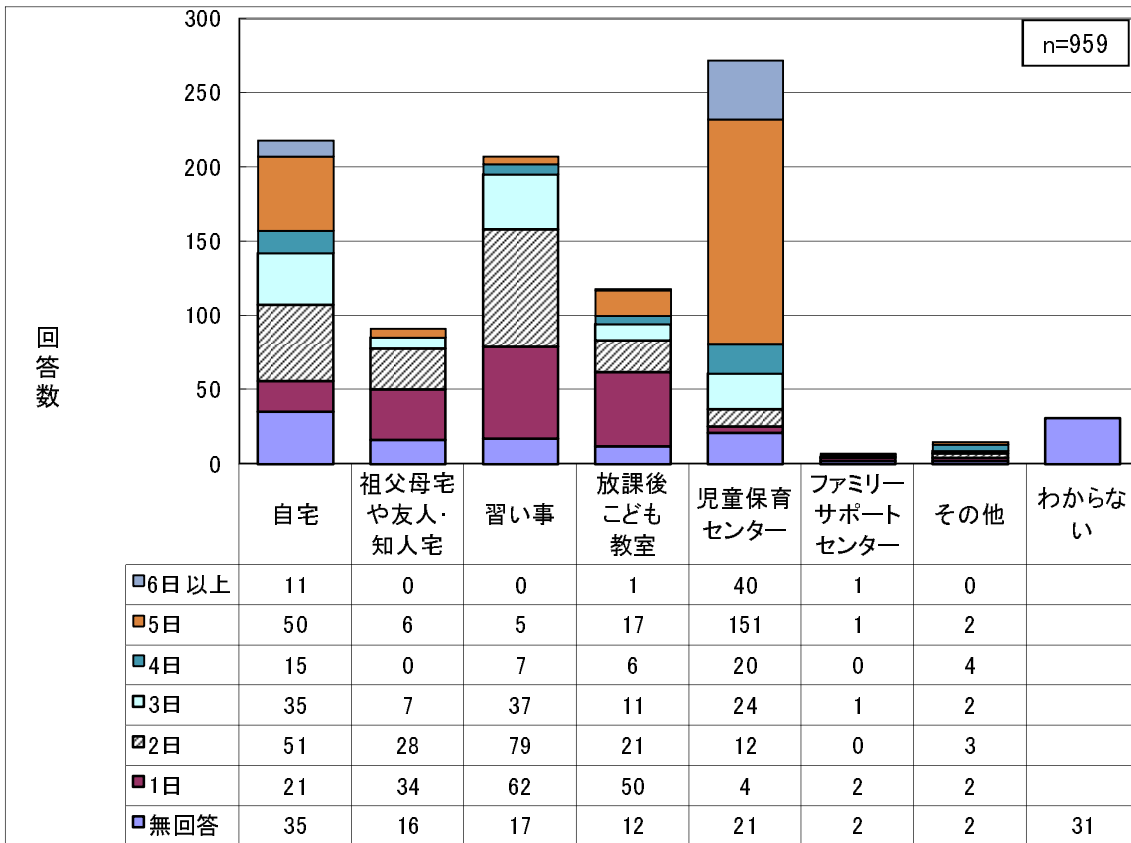
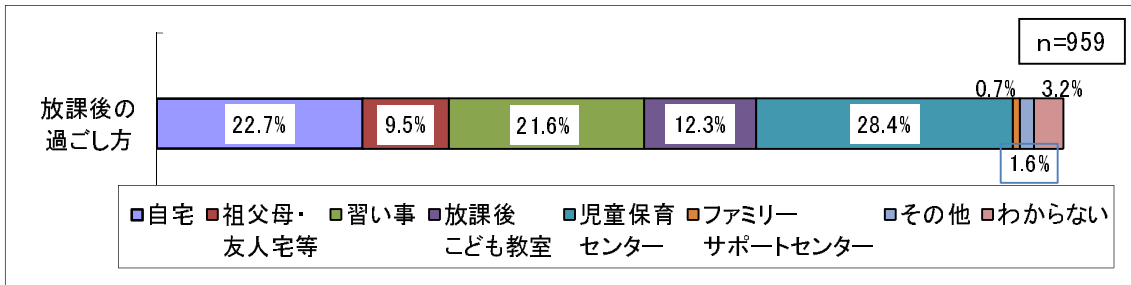
「あった」と回答した人が 19.0% (94 人) あり、その内「祖父母・知人等に預けた」が 71 件と最も多くなっている。



## H. 小学校に入学したときの放課後の過ごし方について

### 問 25 小学校に入学したとき放課後をどのように過ごさせたいですか？（複数回答）

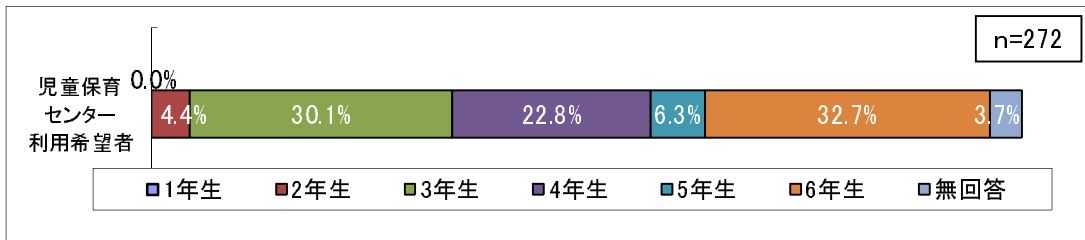
「児童保育センター」を利用したいと回答した人が28.4%（272人）と最も多く、利用日数については「週5日」と回答した人が151人と最も多くなっている。





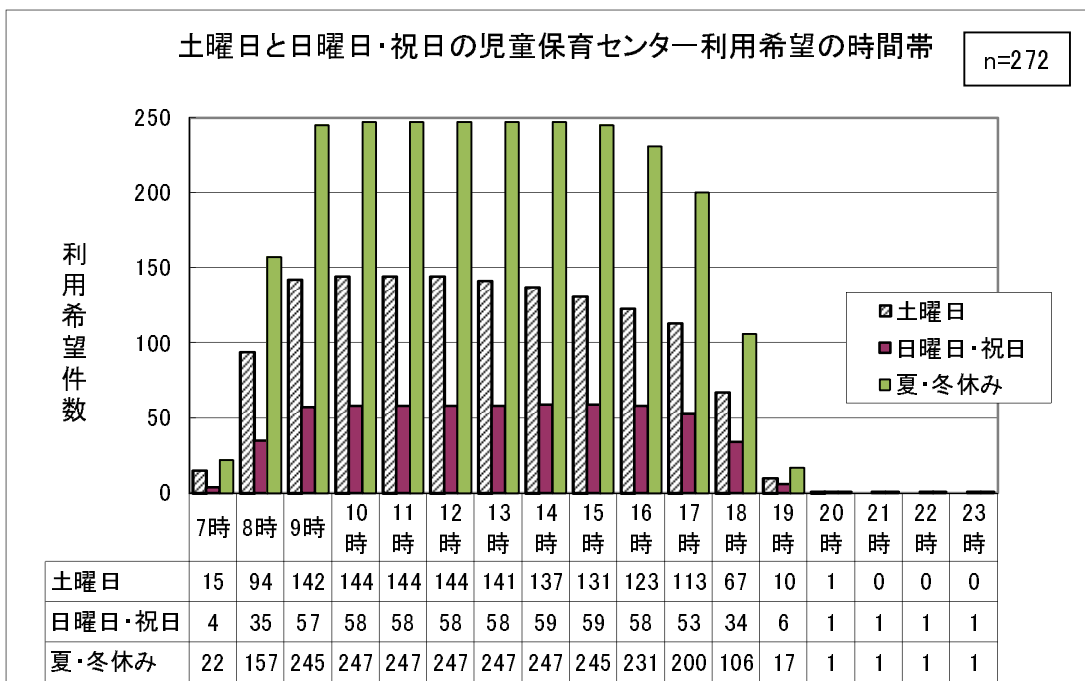
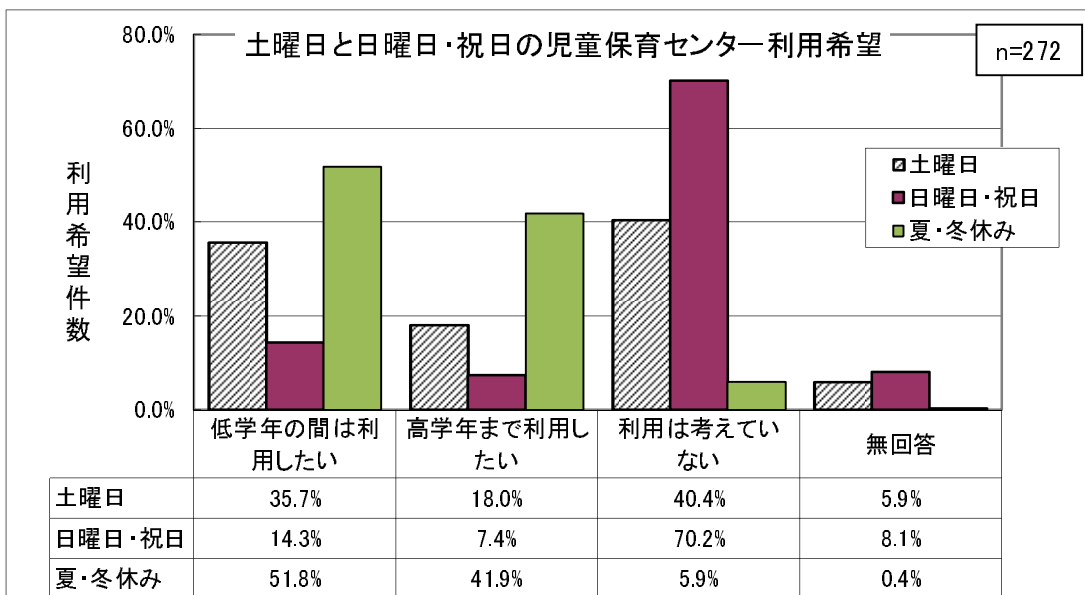
問 25-1 何年生まで利用を希望しますか？

「6年生」までと回答した人が 32.7% (89人) と最も多く、次に「3年生」 30.1% (82人) が多くなっている。



問 26、27 土曜、日祝日、夏休み等の長期休暇中に児童保育センターの利用希望はありますか？

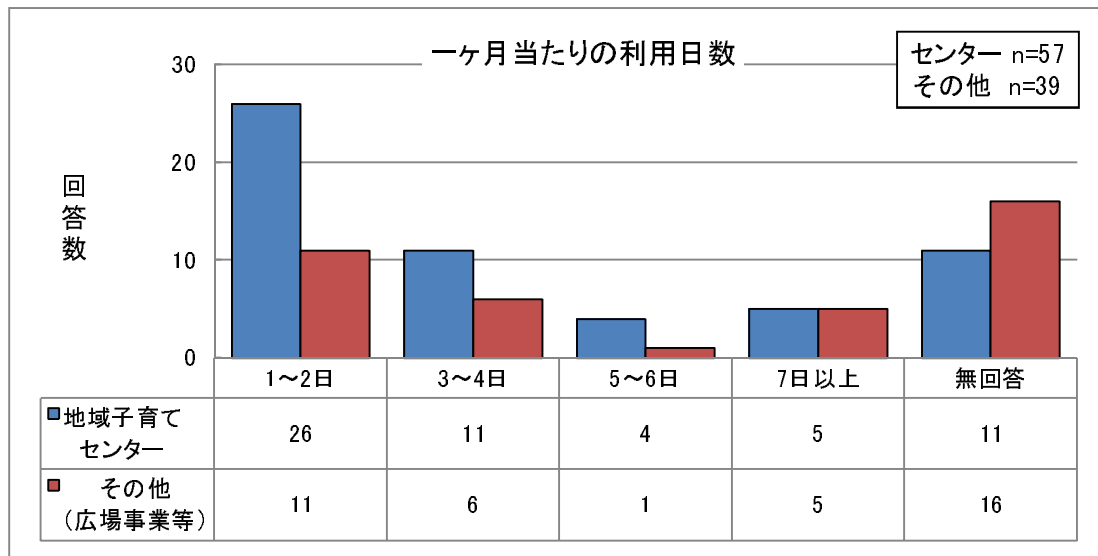
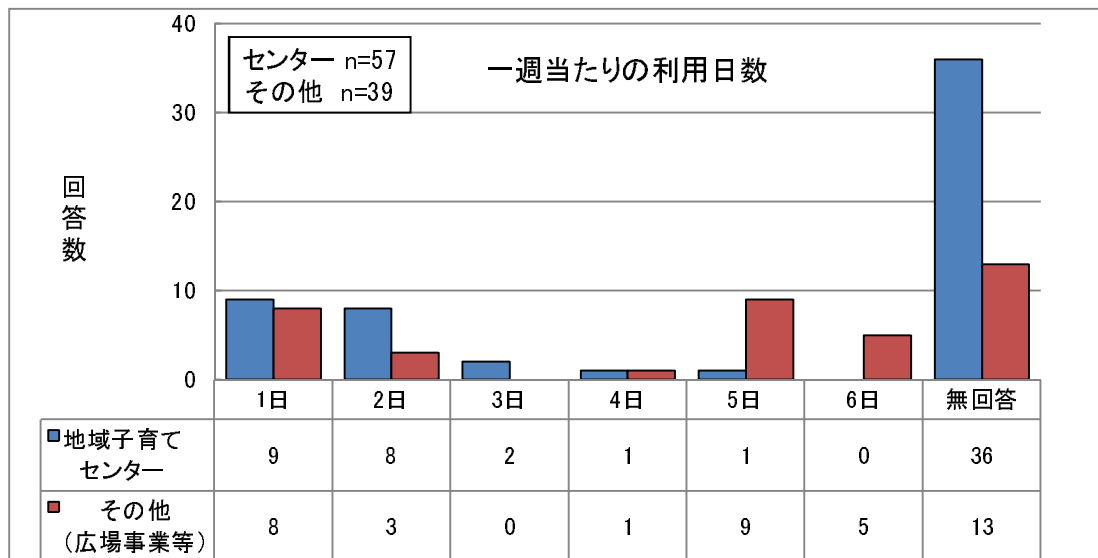
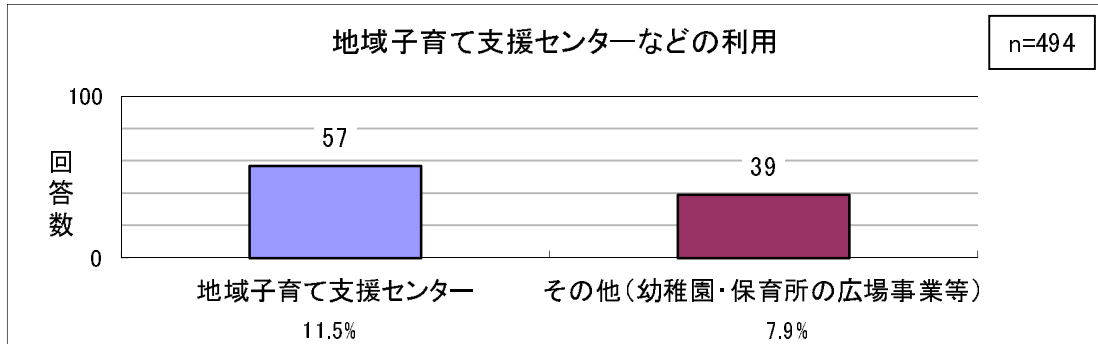
高学年までの利用より、低学年までの利用を希望する割合が高い。



## I. 地域の子育て支援事業の利用状況について

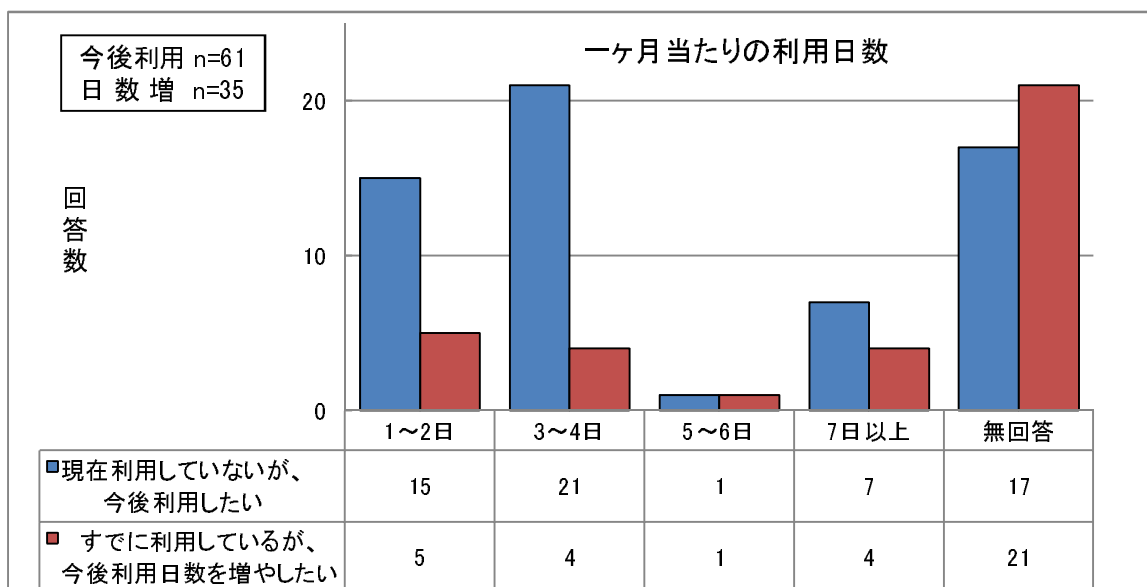
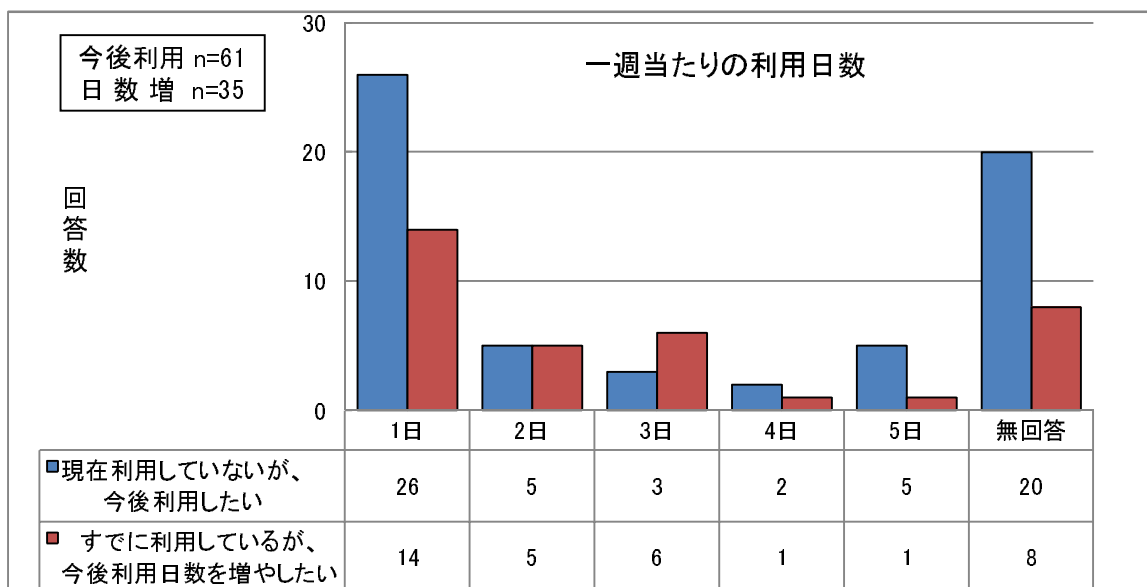
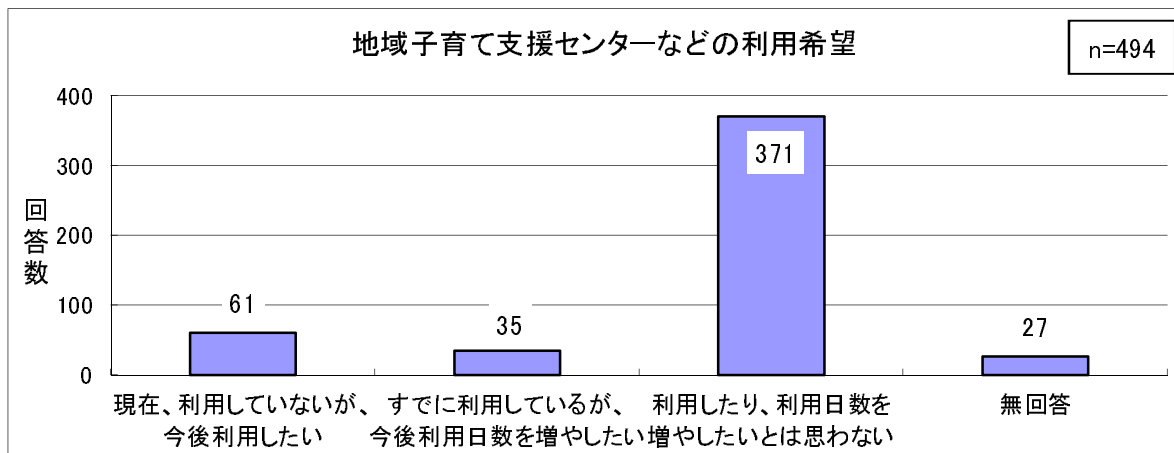
### 問 28 地域子育て支援センターなどの利用状況について（複数回答）

地域子育てセンターや幼稚園の広場事業などを「利用している」と回答した人は 96 人、割合で 19.4%となっている。



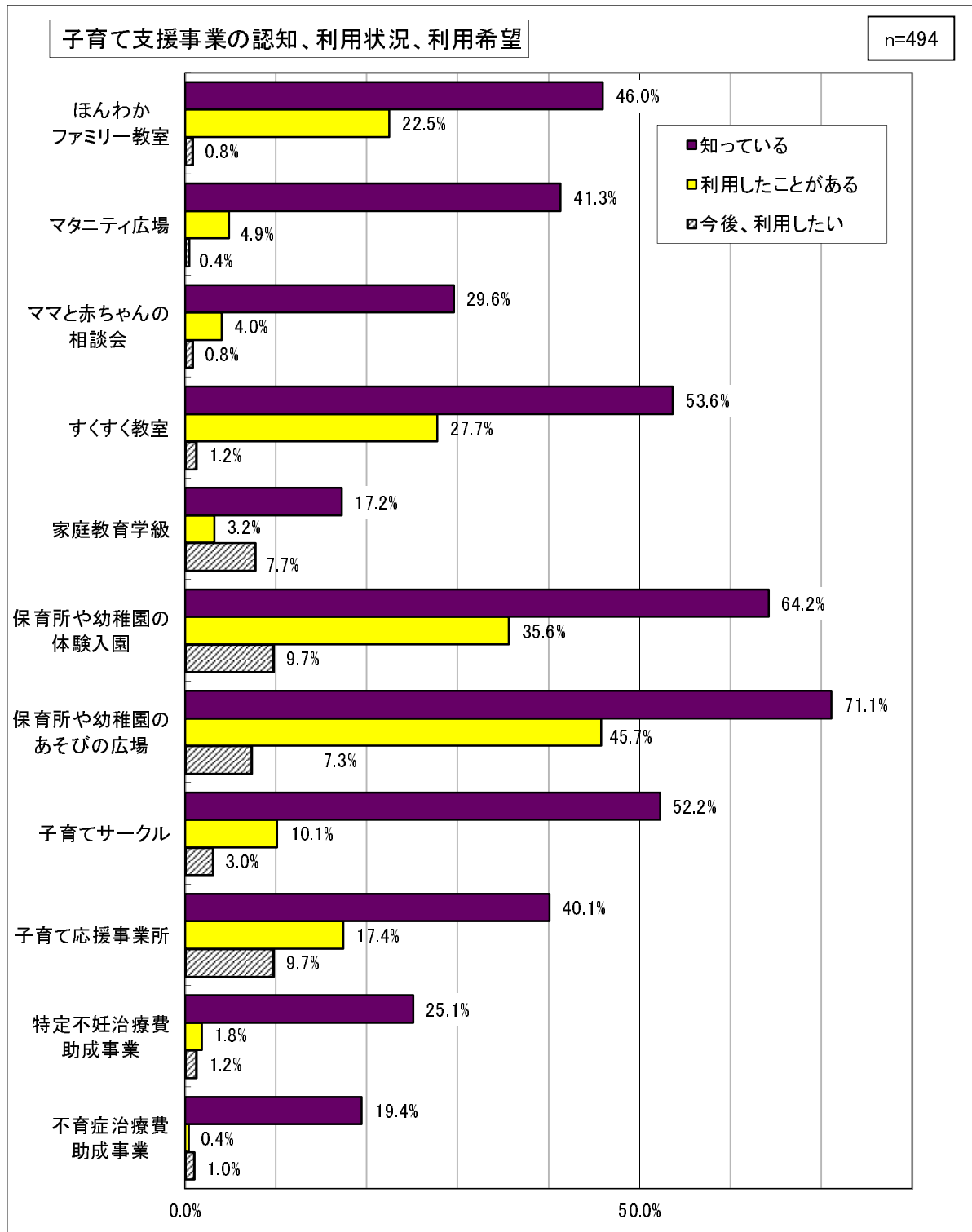
## 問 28-1 地域子育て支援センターなどの今後の利用希望等について

地域子育てセンターや幼稚園の広場事業などを「今後利用したい」と回答した人は 61 人、「今後利用日数を増やしたい」と回答した人は 35 人となっている。



問 29 子育て支援事業について知っているか、利用したことはあるか？（複数回答）

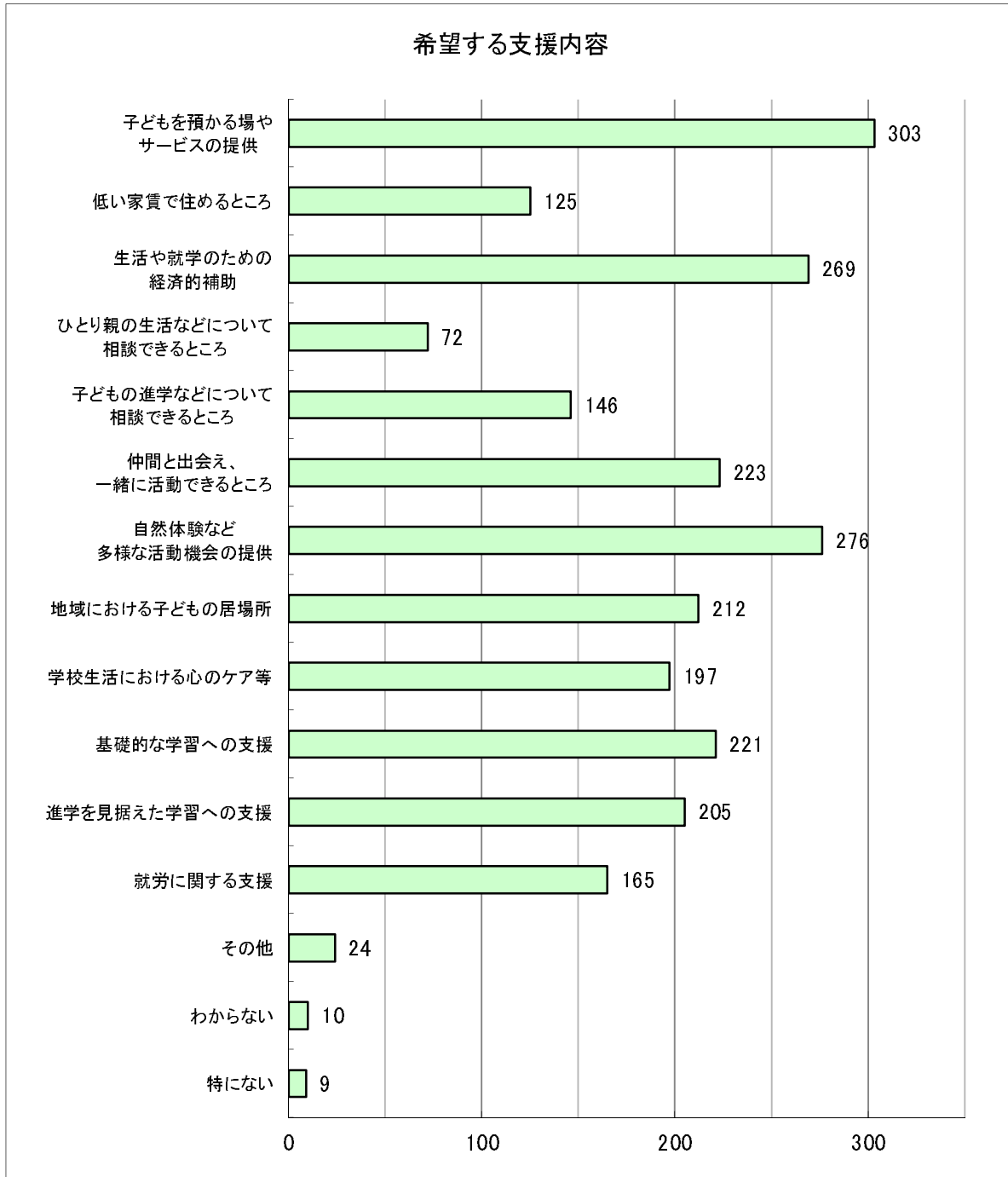
子育て支援事業のうち、「すくすく教室」や「保育所・幼稚園の体験入園」や「あそびの広場事業」を「知っている」と回答した人が 50%を超え、そのうち半分以上の人が「利用したことがある」と回答している。



## J. 子育てに関する公的支援について

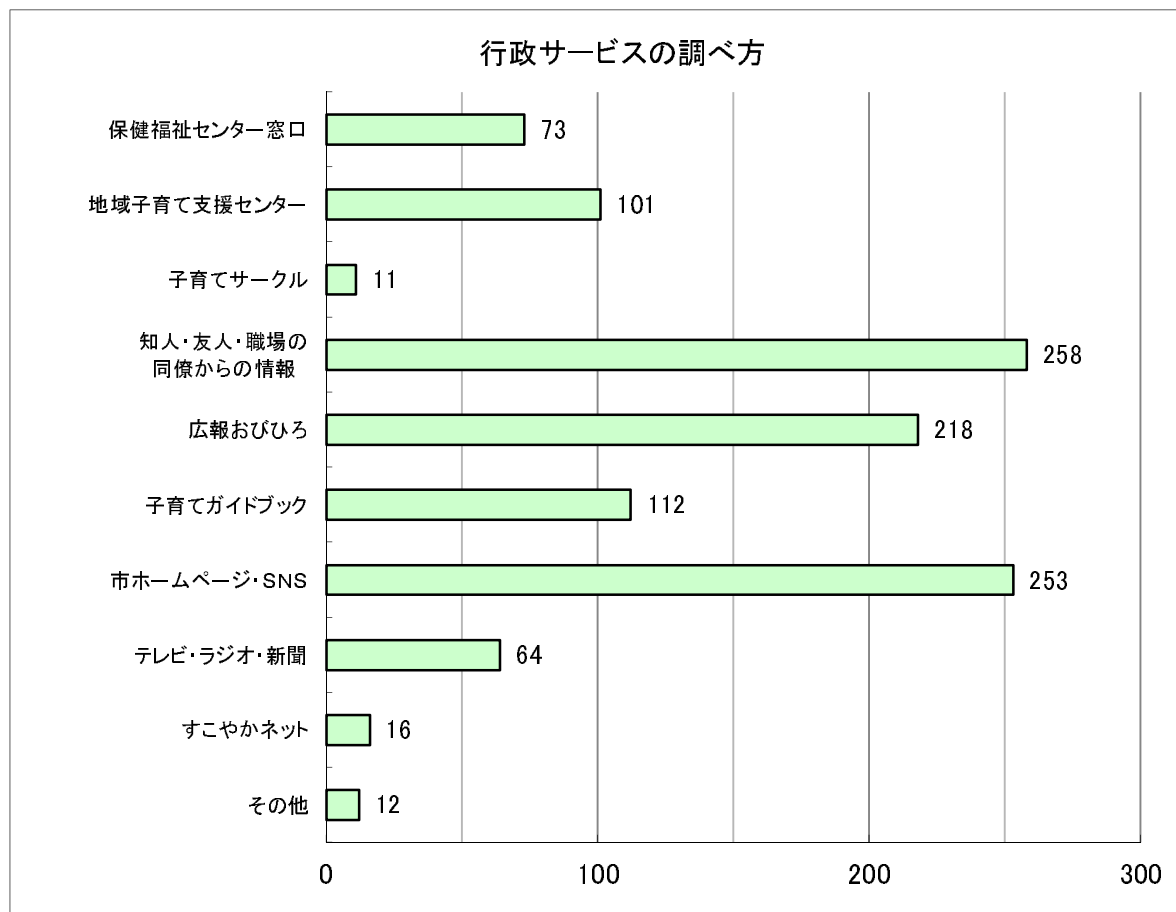
### 問 30 お子さんにとって、現在または将来的にどのような支援があるとよいですか？（複数回答）

「子どもを預かる場やサービスの提供」が 303 件と最も多く、「自然体験など多様な活動機会の提供」、「生活や就学のための経済的補助」と続く。



### 問 31 事業や行政サービスをどのように調べますか？（複数回答）

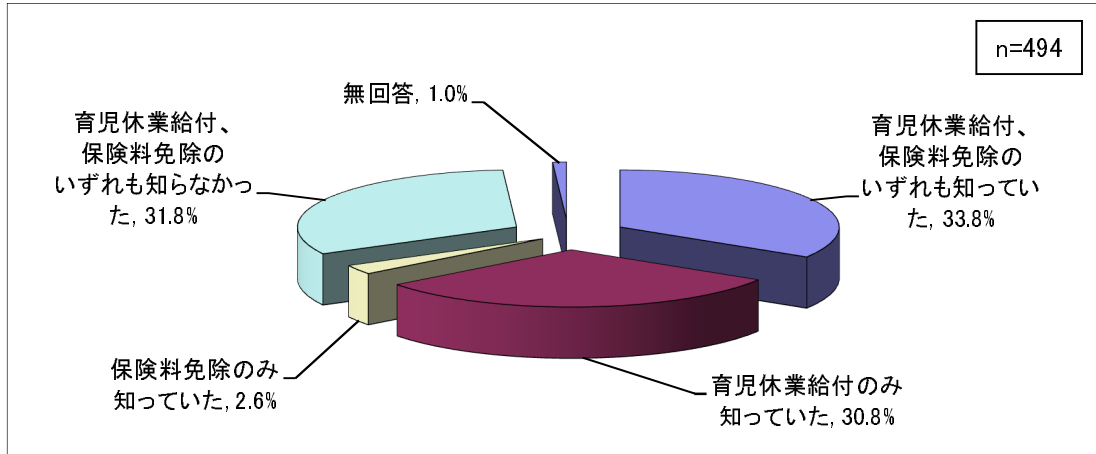
「知人・友人・職場の同僚からの情報」が 258 件と最も多く、「市ホームページ・SNS」、「広報おびひろ」と続く。



## K. 育児休業や短時間勤務制度などについて

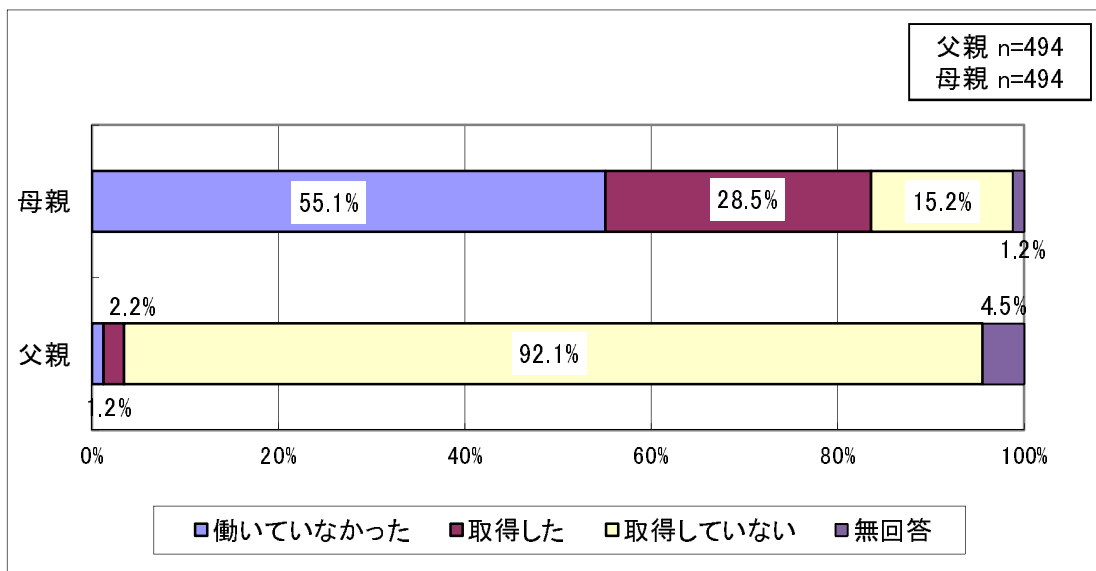
### 問 32 育児休業給付や保険料免除をご存知でしたか？

「いずれも知っていた」が 33.8% (167 人)、「いずれも知らなかった」が 31.8% (157 人) となっている。



### 問 33、34 母親又は父親が育児休業制度を利用しましたか？

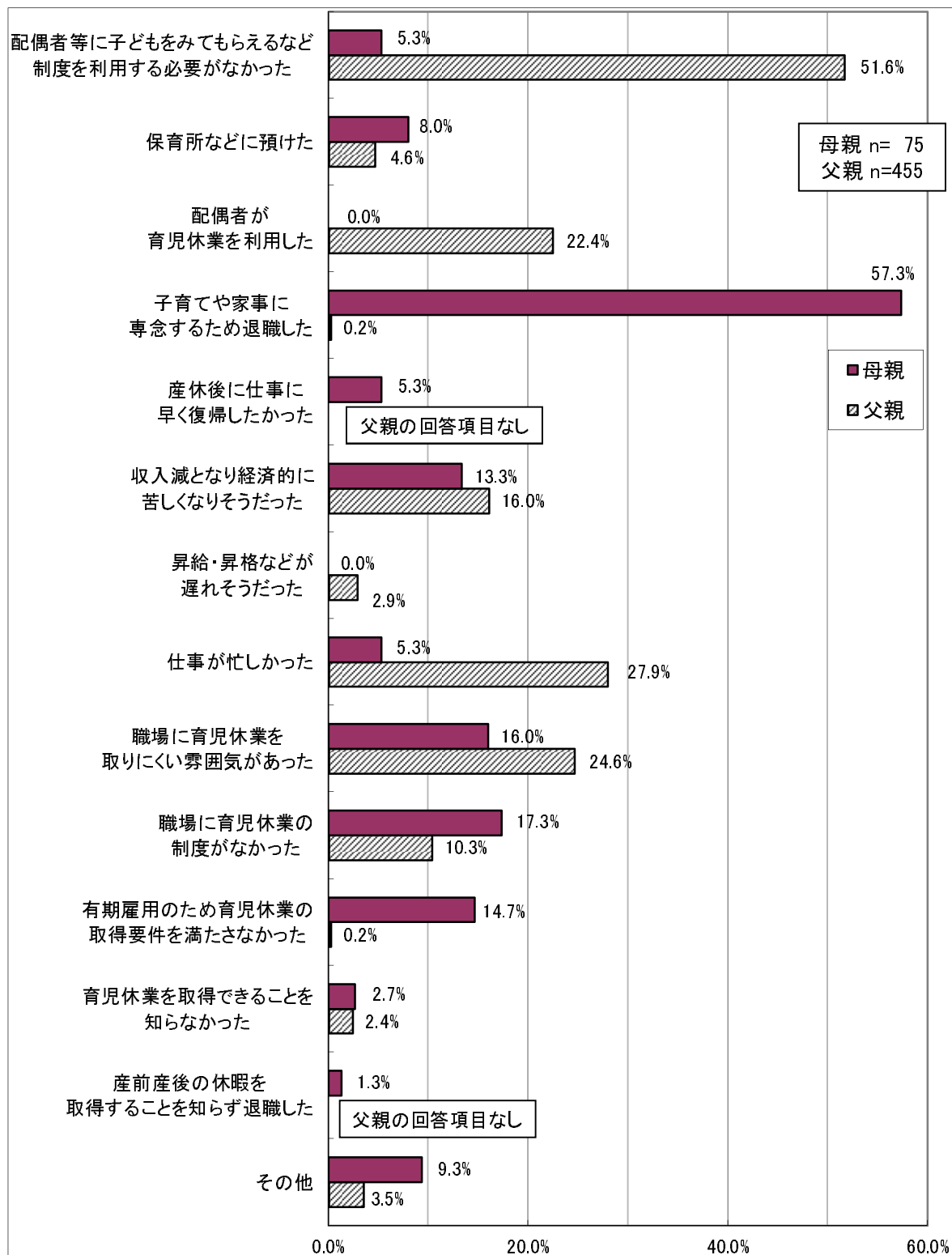
母親が「取得した」と回答した人が 28.5% (141 人)、父親が「取得した」と答えた人が 2.2% (11 人) となっている。



		働いていなかった	取得した	取得していない	無回答
母親	件数	272	141	75	6
	割合	55.1%	28.5%	15.2%	1.2%
父親	件数	6	11	455	22
	割合	1.2%	2.2%	92.1%	4.5%

問 33、34 母親又は父親が育児休業を取得していない理由はなにか？（複数回答）

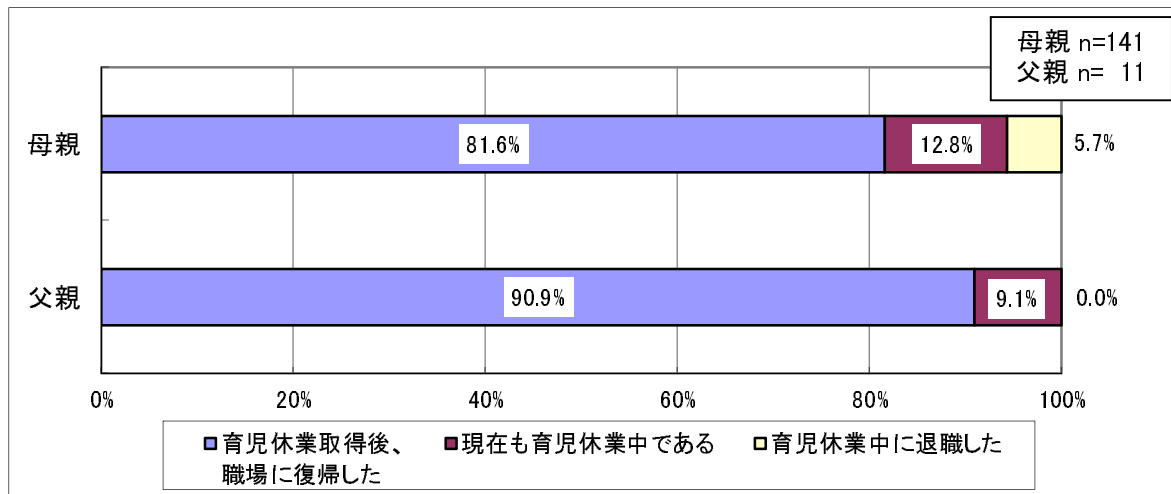
母親では「子育てや家事に専念するため退職した」と回答した人が43人、割合で57.3%と最も多く、父親では「配偶者等に子どもをみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」と回答した人が235人、割合で51.6%と最も多くなっている。





### 問 33-1、34-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか？

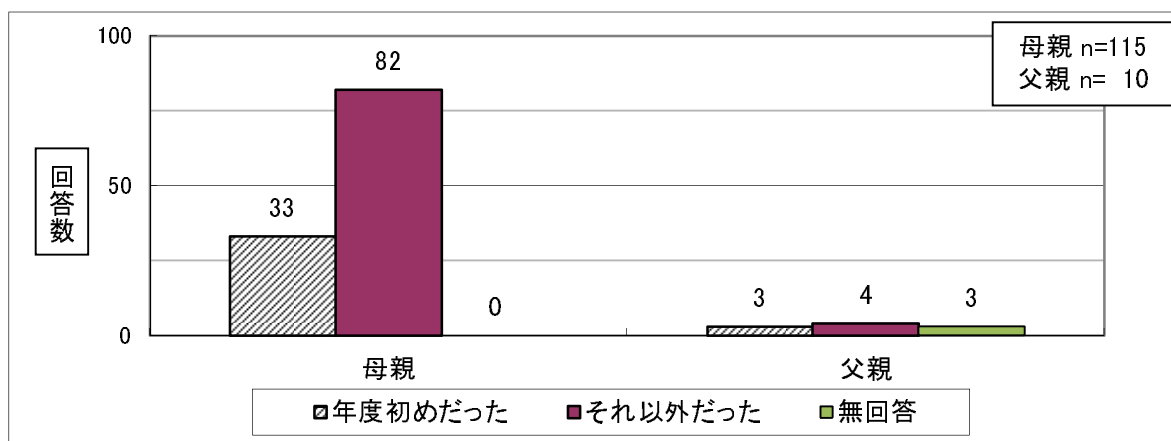
母親は、育児休業を取得した 141 人中「職場に復帰した」と回答した人は 81.6% (115 人)、父親は、育児休業を取得した 11 人中「職場に復帰した」人は 90.9% (10 人) となっている。



		育児休業取得後、職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に退職した
母親	件数	115	18	8
	割合	81.6%	12.8%	5.7%
父親	件数	10	1	0
	割合	90.9%	9.1%	0.0%

### 問 33-2、34-2 育児休業から職場に復帰したのは年度初めでしたか？

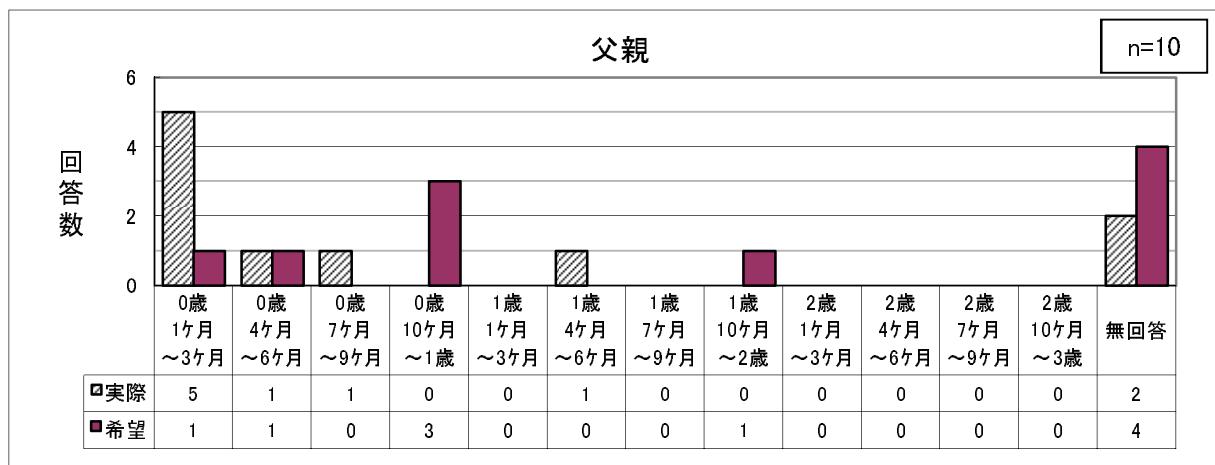
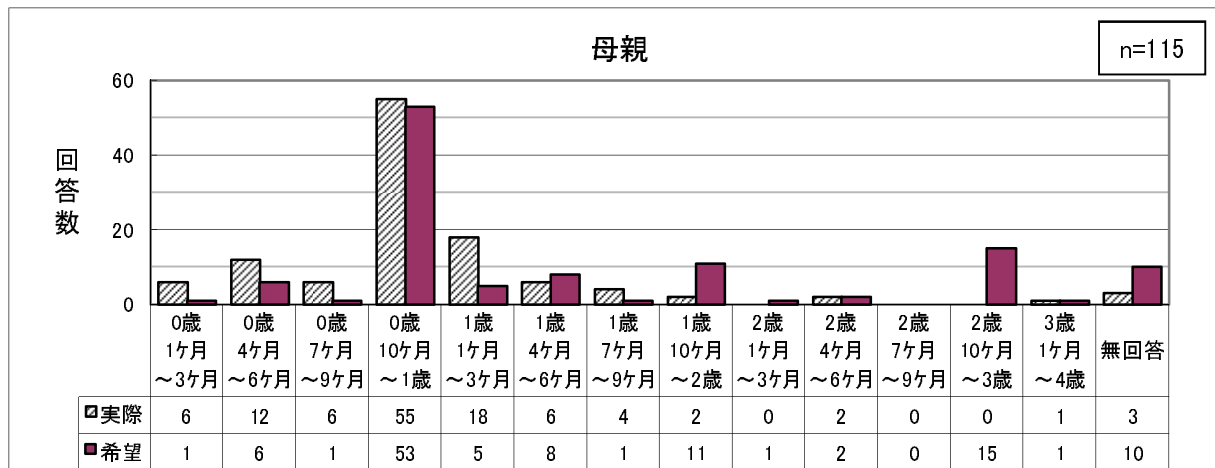
「年度初めに職場に復帰した」と回答した人は、父親と母親を合わせて 36 人となり、「年度初め以外に職場に復帰した」と回答した 86 人の半数以下となった。



		年度初めだった	それ以外だった	無回答
母親	件数	33	82	0
	割合	28.7%	71.3%	0.0%
父親	件数	3	4	3
	割合	30.0%	40.0%	30.0%

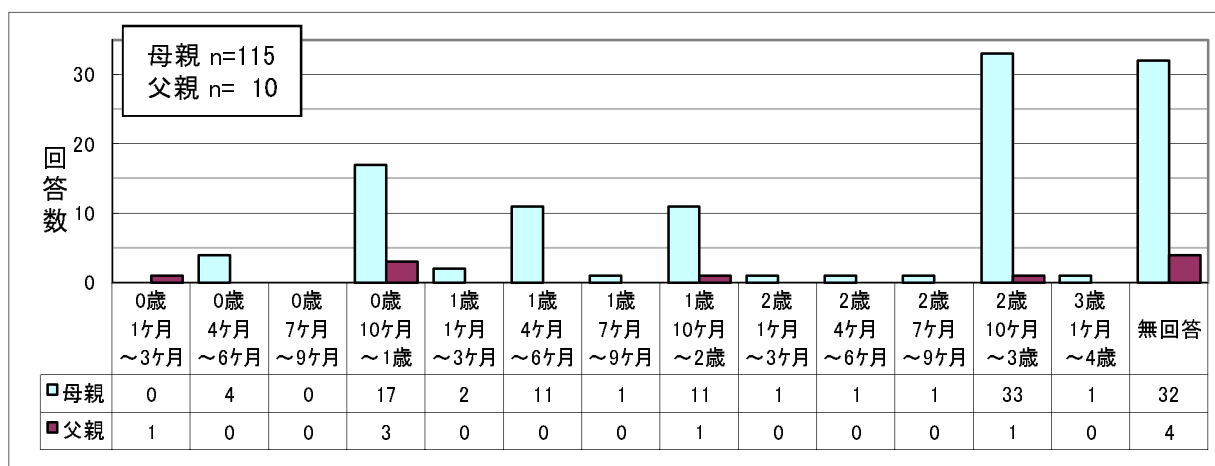
問 33-3、34-3 育児休業から職場に復帰したのはお子さんが何歳何ヶ月のときでしたか？  
また、希望は何歳何ヶ月まで育児休業を取りたかったですか？

母親では実際と希望とも「0歳10ヶ月～1歳」が最も多く、父親では実際が「0歳3ヶ月まで」、希望が「0歳10ヶ月～1歳」が多くなっている。



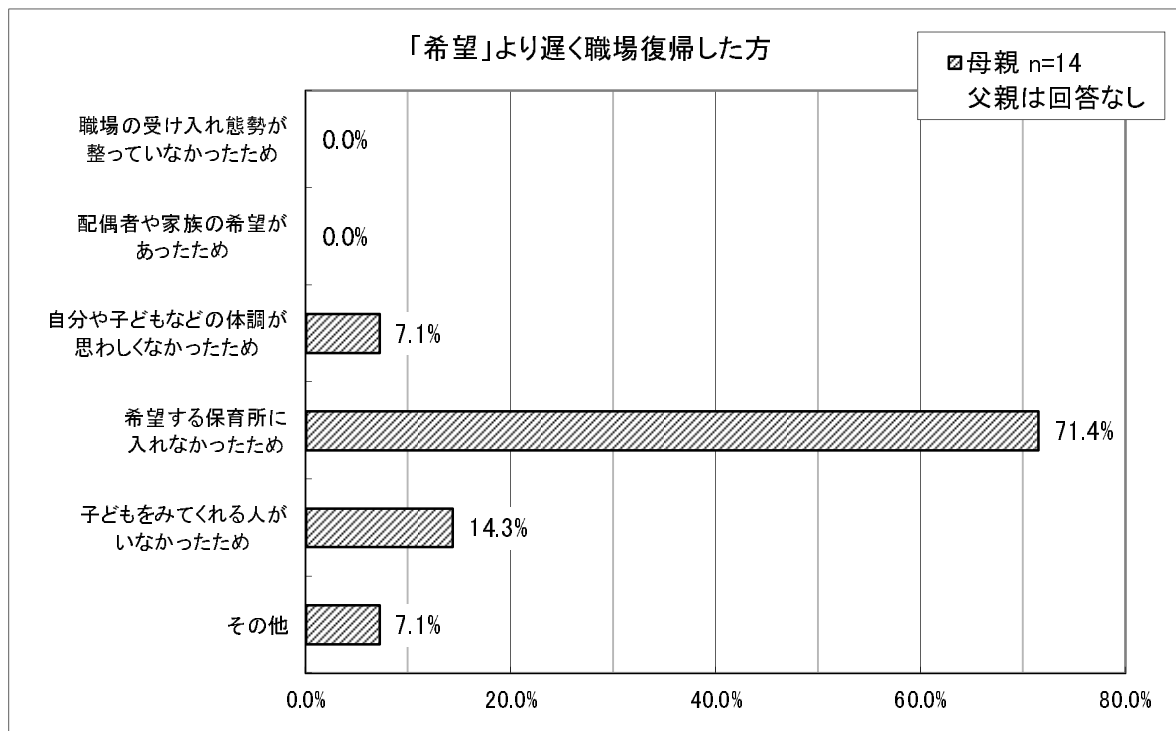
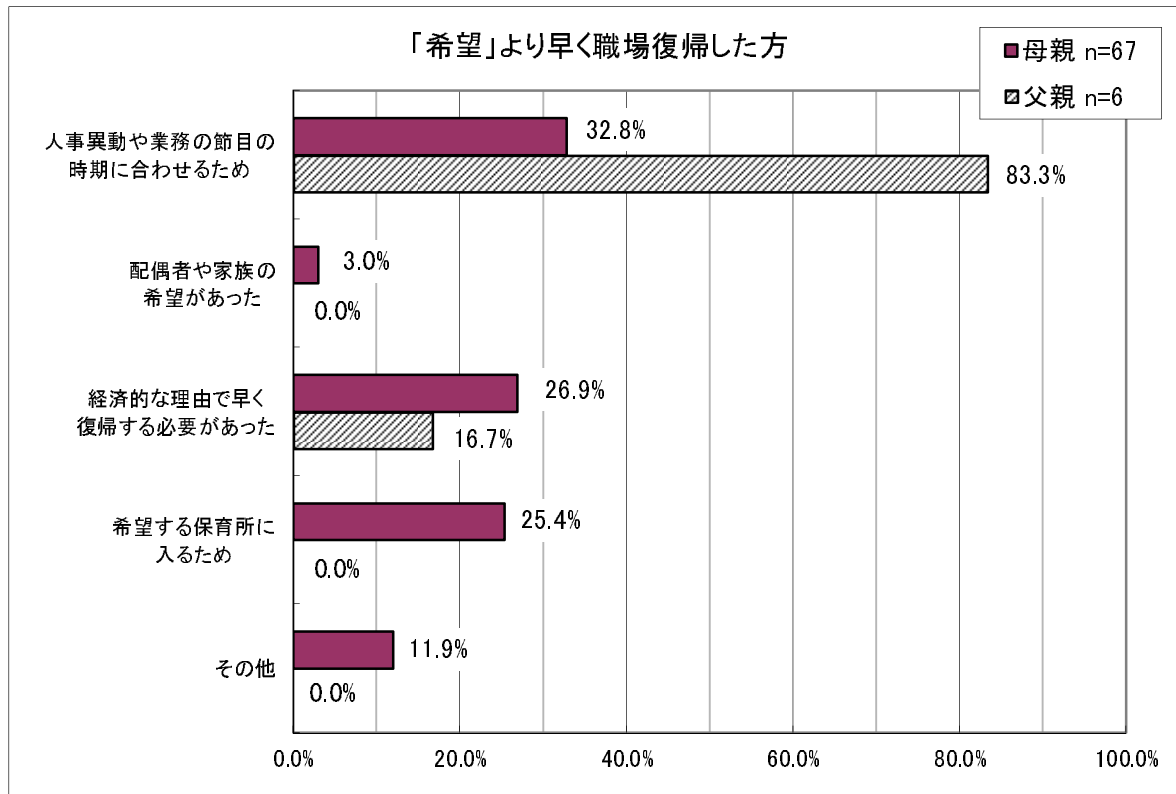
問 33-4、34-4 育児休業が3歳まで取得できる制度があった場合、何歳何ヶ月まで育児休業を取りたかったですか？

「2歳10ヶ月～3歳」と答えた人が母親と父親を合わせて34人となっている。



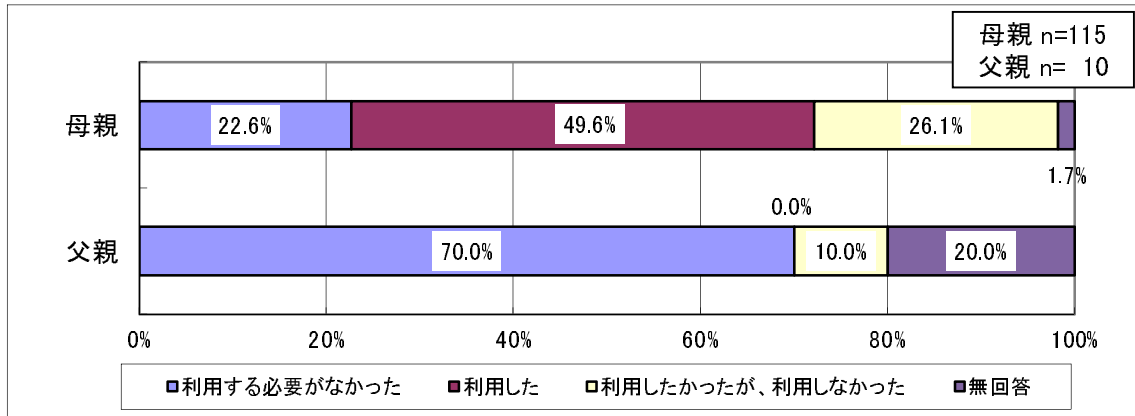
問 33-5、34-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか？（複数回答）

「希望」より早く職場復帰した方では、「人事異動や業務の節目に合わせる」母親で 32.8%（22 件）、父親で 83.3%（5 件）となっている。「希望」より遅く職場復帰した方では、母親は「希望する保育所に入ることができなかったため」が 71.4%（10 件）となっている。父親からの回答なし。



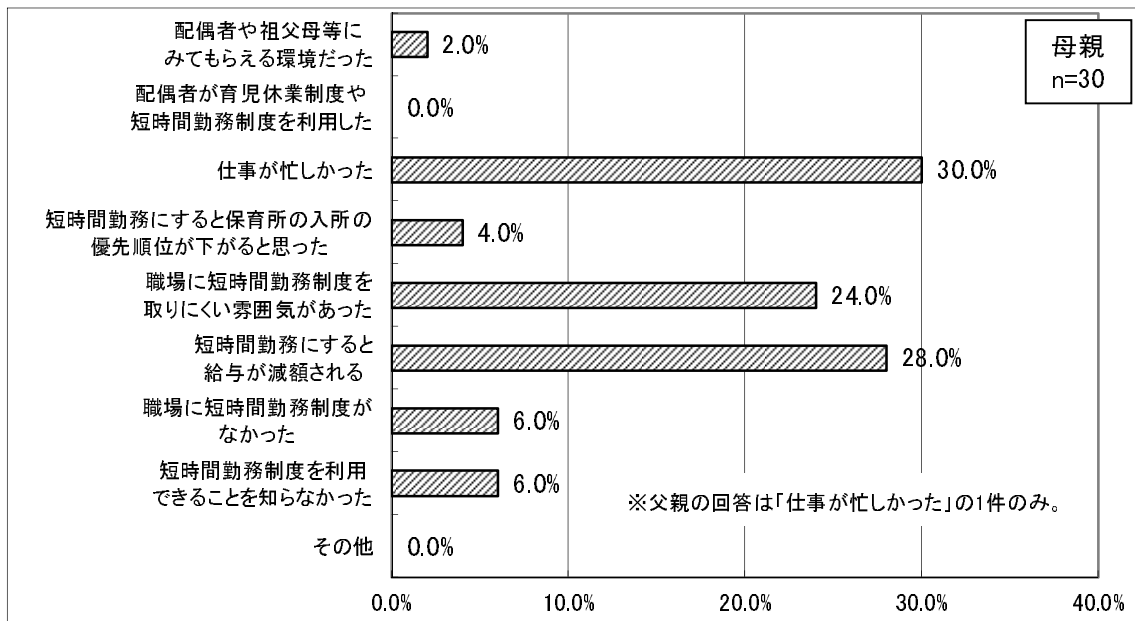
問 33-6、34-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか？

母親において「利用した」と回答した人は、49.6% (57 件) となっているが、父親においては利用希望の有無に係らず「利用した」と回答した人は0件となっている。



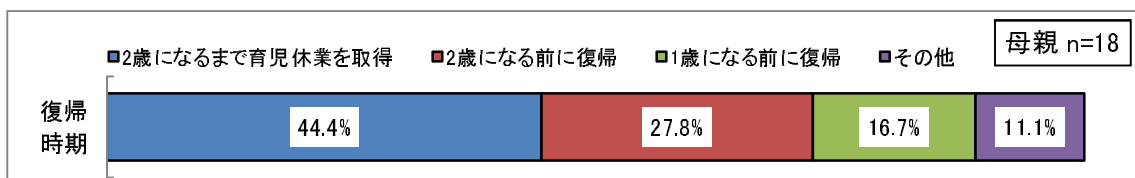
問 33-7、34-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由は？（複数回答）

母親において「仕事が忙しかった」と回答した人は、30.0% (15 件) が最も多く、「短時間勤務にすると給与が減額される」が28.0% (12 件) となっている。



問 33-8、34-8 お子さんが2歳になったときに確実に利用できる保育施設などがあれば1歳になるまで育児休業を取得しますか？それと2歳になる前に復帰しますか？

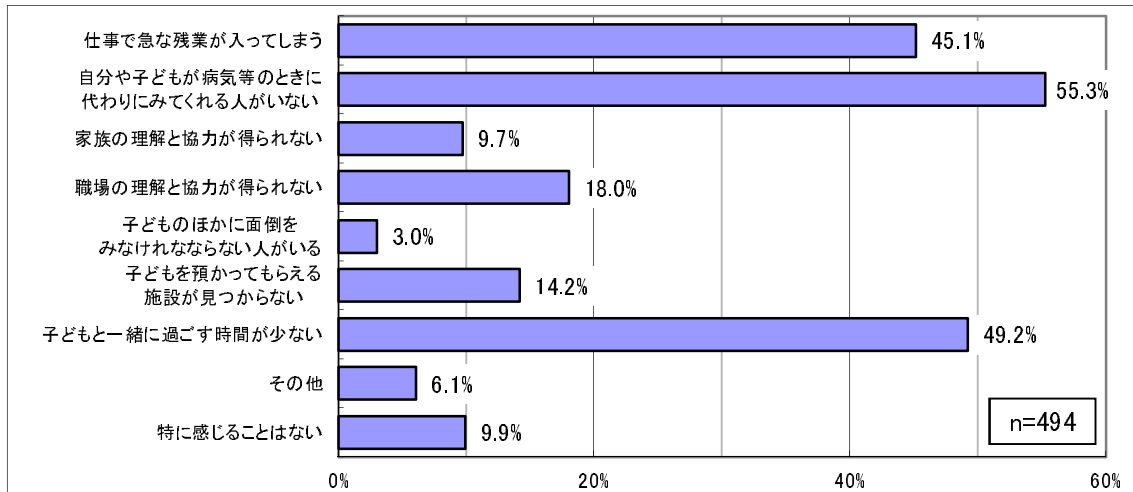
母親において「2歳になるまで育児休業を取得」と回答した人は44.4% (8 件) と最も多い。



## L. 帯広市の子育て支援について

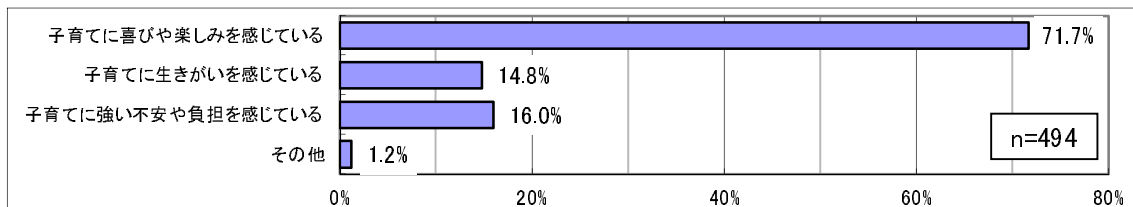
### 問 35 仕事と子育てを両立するうえで大変だと感じることは何ですか？（複数回答）

「仕事で急な残業が入ってしまう」、「自分が病気・ケガをしたときや子どもが急な病気になったときに代わりにみてくれる人がいない」、「子どもと一緒に過ごす時間が少ない」と感じている人が50%程度ある。



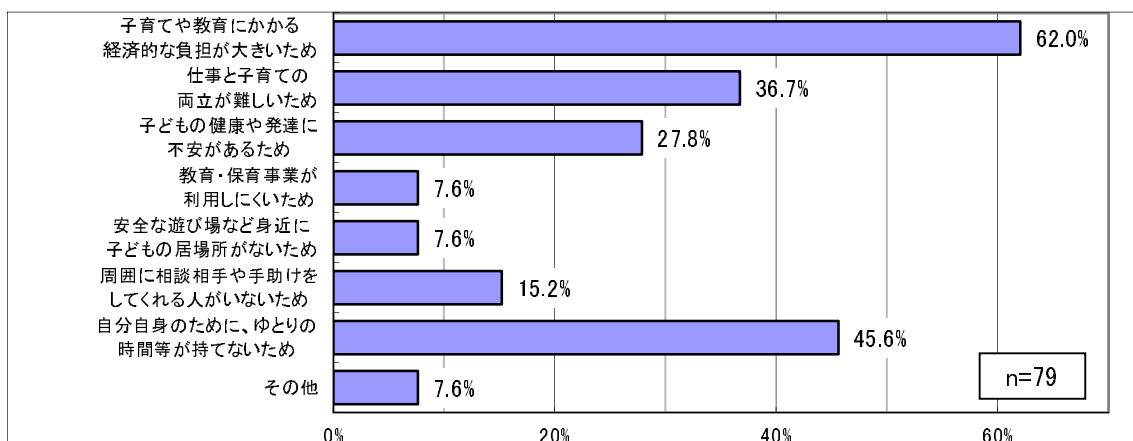
### 問 36 現在の子育てについてどのように感じられていますか？（複数回答）

「子育てに喜びや楽しみを感じている」と感じられている人は71.7%となった。



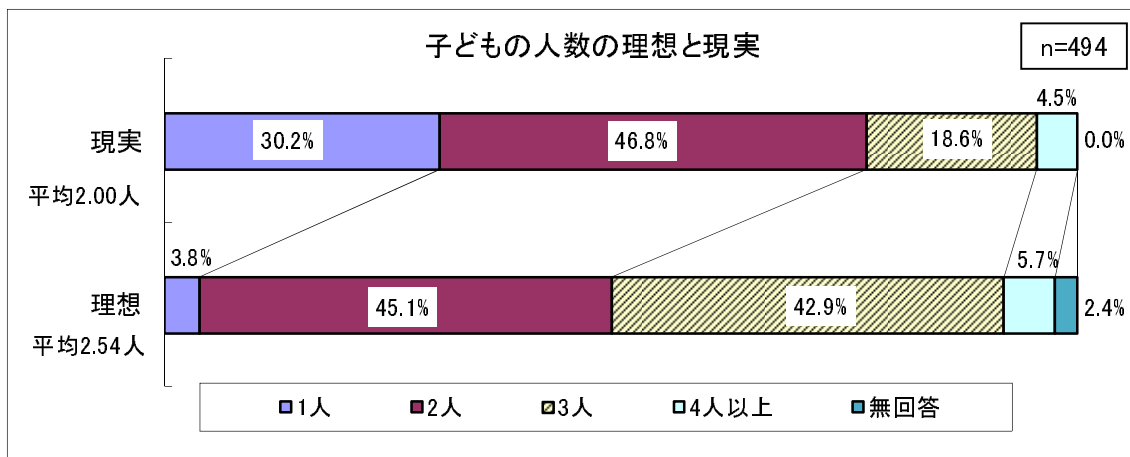
### 問 36-1 どのような理由で強い不安や負担を感じますか？（複数回答）

「子育てや教育にかかる経済的な負担が大きい」と回答した人が62.0%（49件）と最も多く、「自分自身のために、ゆとりの時間等がもてない」と回答した人が45.6%（36件）が続く。



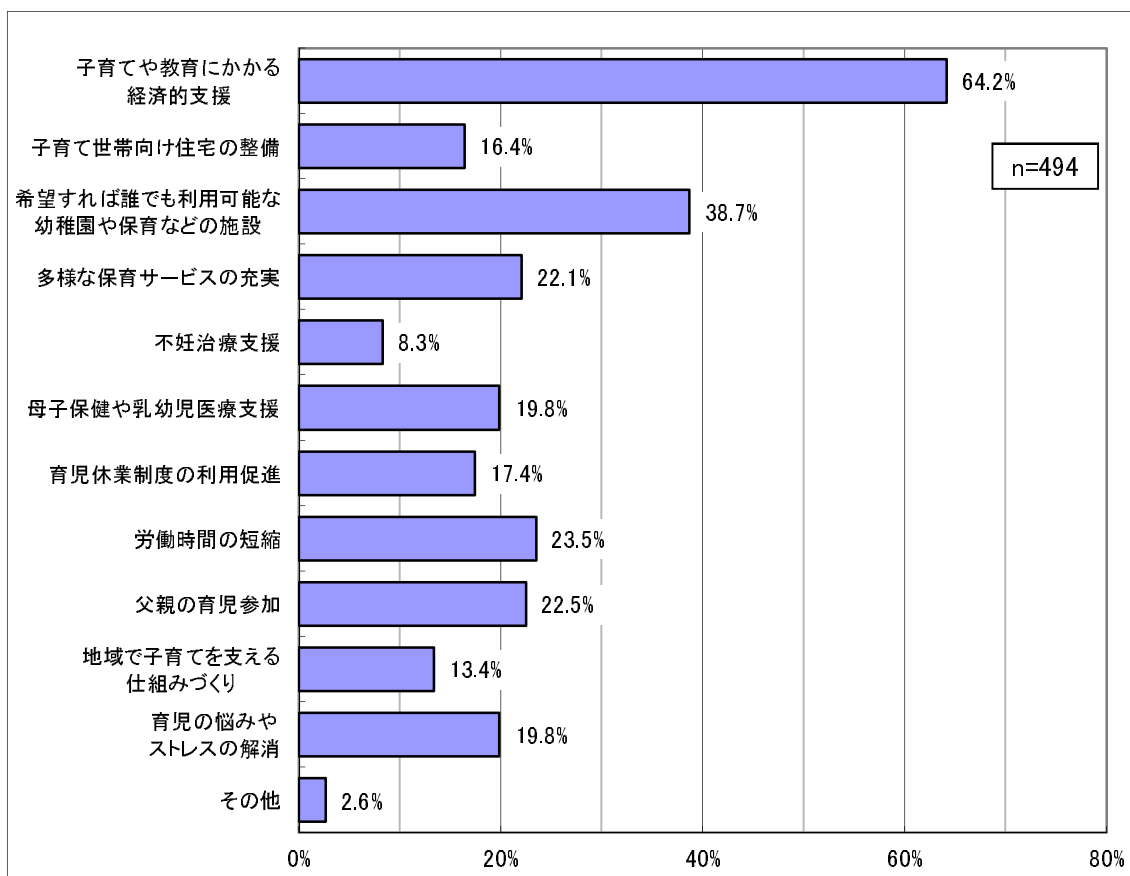
### 問 37 お子さんの理想の人数と現実の人数は？

平均人数において現実とは2.00人、理想は2.54人となっており、0.54人の開きがある。



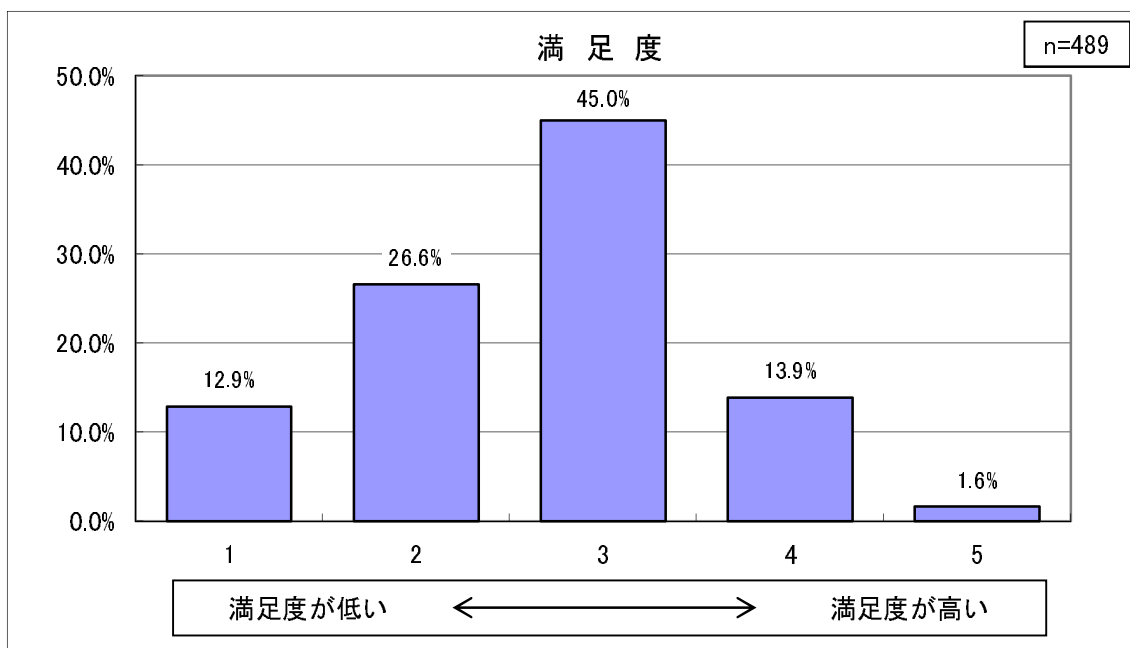
### 問 37-1 理想と現実の差をなくすため、解決しなければならない課題はなんですか？ (複数回答)

「経済的支援」と答えた割合が64.2% (317件) と一番多く、次いで「誰でも利用可能な幼稚園や保育などの施設」が38.7% (191件) で続いている。



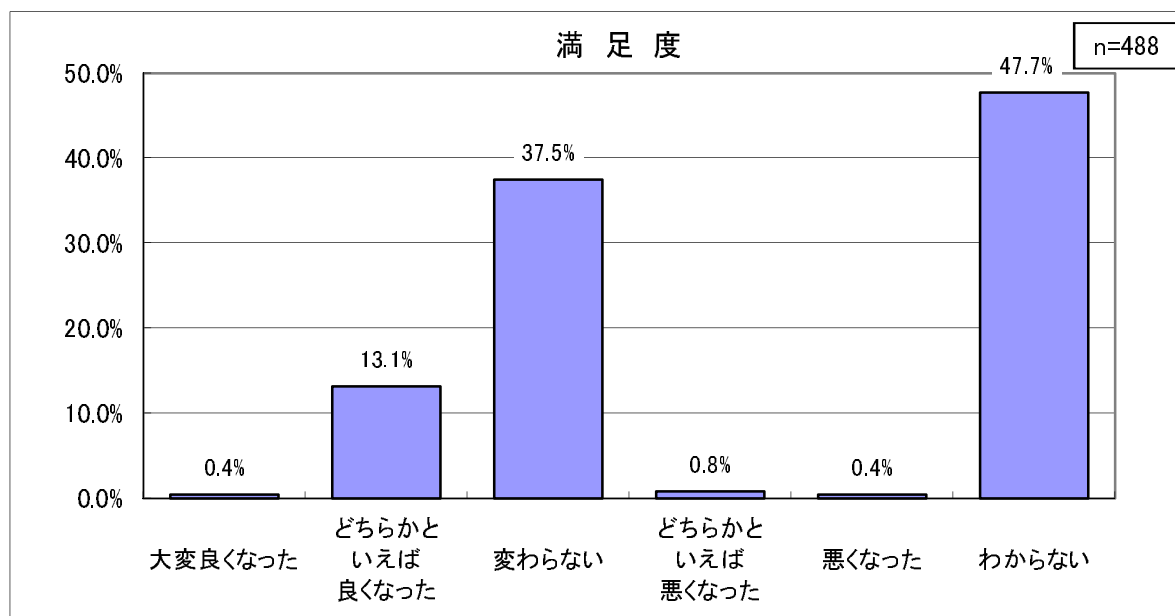
問 38 帯広市における子育ての環境や支援への満足度について

満足度の平均は 2.65 となり、中位をやや下回っている。



問 39 以前（3年～5年前）と比較し、帯広市の子育て環境は良くなったと思いますか？

「わからない」を除くと「変わらない」が 37.5%（183 件）、続いて「どちらかといえば良くなった」が 13.1%（64 件）となっている。



## 問 40 帯広市の子育て支援に関わる意見について

「医療費助成の拡大」が 69 件と最も多く、「雨天時や冬季等に遊べる施設の充実」が 49 件、「幼稚園等の利用料無償化・軽減」、「一時保育の充実」が 27 件と続く。

<b>幼稚園・保育所などのサービスについて</b>	<b>130</b>
教育や保育の質の向上	8
利用料の無償化・軽減	27
施設や保育枠の増・利便性の向上	20
保育や預かり時間の延長	5
病児・病後児保育の充実	8
休日保育の充実	6
一時保育の充実	27
幼稚園の預かり保育の充実	5
子育て支援センターの充実	11
児童保育センターの充実	9
ファミリーサポート事業の充実	4
その他（教育・保育関係）	2
<b>労働環境について</b>	<b>15</b>
育児休暇制度の充実	3
労働時間の短縮	2
父親の制度利用の促進	2
働きやすい環境への理解	6
賃金改善	2
その他（労働環境関係）	0
<b>生活環境について</b>	<b>79</b>
道路の整備	4
公園の整備	12
交通機関の充実	1
施設の充実（屋内施設）	49
学校の環境整備	10
住宅環境の充実	3
その他（生活環境関係）	0
<b>経済的支援について</b>	<b>98</b>
児童手当の見直し	3
児童扶養手当の見直し	1
医療費助成の拡大	69
妊婦検診等の助成	4
予防摂取等の補助	4
その他（経済的支援）	17
<b>その他、子育て支援の取組み等について</b>	<b>76</b>
子育て支援全般	8
発達や障害に対する支援	8
ひとり親家庭への支援	5
相談体制の充実	9
地域の支援・風土	7
学習支援の充実	2
イベントの充実	6
文化・スポーツに対する支援	4
情報の充実・発信方法の改善	15
自分の時間の確保	5
その他	7
<b>合 計</b>	<b>398</b>